

# 仮面絶唱シンフォギアR

翔斬

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

那奈「あれから数年、激しい戦いは終わり平和に過ごしていたら謎の敵が現れた。私達、家族で闇を撃つ！」

## 目次

第1話思い出を浸るそして新たな敵が現れる！	1
第2話敵の目的？そして新たな力！	6
第3話力の暴走そして目覚める王の力！	13
第4話ジオウの力そしてアーマータム	19
第5話失った変身そして謎の女性	25
第6話作られたオーブそして集結する娘と息子達	33
第7話闇のシンフォギア装者VS祥平達！そして新たな覚醒！	38
第8話打ち勝て！エボルトの最後！	49
第9話天才と筋肉馬鹿そして取り戻す力	55
第10話謎の事件そしてコピーされた悪の零達！	62
第11話幻想郷から来た祥平そして集まる戦士達！	67
第12話可能性は無量大！そして現れたバーコードライダー	76
第13話キーラの最後！そして開いた闇の暴走！	88
第14話闇の世界の母体！？そして最悪な敵の復活！	96
第15話止まらない崩壊！？敵の総攻撃！	101
第16話VSダーズ！そして最後の決戦！	106
第17話那奈を狙う者	115
第18話古代の仮面ライダーその名はクウガそして狙われる破壊兵器	120
第19話祥平を助ける者達の集結そして運命	126
第20話とんでもない戦いそして意外なタッグ!?	137
最終回 いつもの日常そしてさようなら	150

## 第1話思い出を浸るそして新たな敵が現れる！

皆、久し振りだな！高田 祥平だ！俺は今、ゼロさんとパラド、アーナスと共に調べ事をしている。と言ってもセレナ達と一緒に住んでいる場所で調べている。それがこのウオッチとクリスタルだ。

祥平「んー……やっぱり分からないな」

パラド「このウオッチはビルドの顔だよな？」

後ろからウオッチを持ち、それを見るパラド。こいつは俺から生まれたバグスターである。

祥平「うん、俺にも分からないんだ」

アーナス「分からないって？それにこのクリスタルもでしょ？これってゼロと同じウルトラマン？」

こっちはアーナス。俺と利奈姉さんから生まれたバグスターで今は一緒の仲間だ。

ゼロ『ああ、それはウルトラマンタロウとウルトラマンギンガって言うウルトラマンだ。』

そしてウルトラマンゼロさん。この人は俺の命の恩人でパートナーである。

祥平「ゼロさん以外にもウルトラマンっていたんですね」

ゼロ『ああ、まだ他にもいっぱいいるぜ？……あれから結構たったな』

祥平「ですネ……」

そう、あれから数年たっていた。那奈と刀は翼に特訓されてるもんな。大丈夫だよな？あ、これ……

祥平「懐かしいな」

そこには小さい頃的那奈や刀、夏目、ユウそして他の娘達が写っている。あれから元気だよな。さてと少しだけ俺やセレナ達の思い出ひたろうかなつと！休憩にしてそうするか！

祥平「パラド、アーナス、ゼロさんちよつと懐かしい物でもどう？」

アーナス「それってなに？」

祥平は何かの機械を持っている。

祥平「これは今までの戦いや思い出が詰まってるんだ。」

と言う訳で皆を集めた、と言っても兄さんや貴利斗兄さん達はいないけどね。

リビング

翼「ここに皆を呼ぶとは一体なにかあるのか?」

祥平「ん?あー、思い出を浸ろうかなと思ってさ、俺が那奈や刀それに夏目とユウにも父さん達の戦いを参考に出来ると思ったんだけど、どう?」

マリア「何か、私はあまり見られたくはないわね、最初が……」

ああ、確かにそうかもしれないけど勿論!拒否権なんてありませんからね!

未来「私ってあんまり関わり最初なかったよね?」

祥平「そんな事はないって!確かに関わりなかったけどさ!未来や皆のお陰でもあるんだ!あの時に俺を受け入れてくれたじゃないか!」

未来「そう……だよね!うん!なんかごめんね!」

よし!気を取り直して!スタート!最初は此処だな、やっぱり

映像開始

祥平「何で俺がこんな目にあうんだよ!糞!うわ!つうく!やばいな囲まれたな……」

ごめんなセレナ、俺、死ぬかもな、お前の顔をもう一度見たかったよ……もう駄目だよな、俺なんか助からないよな、けど……諦めたくない!諦めたくないんだ!こんな所で死んでたまるかよ!

その時、俺は思い出した、セレナに貰ったマイティアクションXガシャットを取り出してドライバーも腰につけた、あの時セレナに教えて貰って良かった!行くぜ!

『マイティアクションX!』

そうこれが俺の初めての变身だったなあ、懐かしいけどこの後が大変だったんだよな!

エグゼイド「ん?あぶな!何をするんだよ!」

翼「何故貴様が生きている!ゲナム!」

この後、翼に攻撃をされて誤解を解くのも大変だった、いやまじで右肩が死ぬかと思ったわ。まあそれで未来も助けられたんだもんな。

映像終了

祥平「これが父さんと翼との出会いだ」

刀「お母様って、何故見た目で判断を」

翼「ま！待ってくれ！確かにその時の事はある事で水に流した！」

翼さん！顔を赤くしてそれを言わないで欲しかったよ！確かに皆と付き合ってセレナの次だったのは分かる！だけど！このタイミングでは止めて！

奏「つーばーさー！それっていつだ？」

翼「そ！それは！………秘密でお願い」

マリア「それは無理ね♪」

ああ、あの笑顔のマリアは止められないからこのまま再開だ！

映像開始

んーと、ここら辺は確か……あー、リディアン編入だったなあ、優奈との再開でもあったけど

エグゼイド「いきなり何だよ！」

『ガシヤコンブレイカー！』

ブレイブ「エグゼイド！貴様を殺す！はあ！」

『ガシヤコンソード！』

この激突で俺は一回自分の意思ではなくて優奈を攻撃したな、そうアーンズのガシヤットギアデュアルZのフランドール・スカーレットの力を使つて暴走だったよな？あれは？

祥平「……変身♪」

『デュアルガシヤット！ガチャーン！デュアルアップ！触れれば破壊！フランドール・スカーレット！きゅっとしてドカーン！』

これを名付けるならエグゼイドフランゲーマーレベル50だな、まあ、あの後に弦十朗さんにパンチされて正気には戻ったけどな。おっと！警報だ！この辺で思い出るのはストップだ！

映像終了

祥平「皆行くぞー！」

那奈「お父さんは戦えるの?」

祥平「ゼロさんがいるから一応大丈夫だよ、それよりお前らのサポートに今回は入るからな?」

刀「お父様がサポートなら安心出来ます!」

それなら!行くか!

リディアン付近

那奈「確か反応はここら辺だよ?」

刀「ですが: : 何もいない?」

どういう事だ?確かにここら辺で: : : : :!

祥平「セレナ!皆!どくんだ!ぐ!あああああああ!」

謎の電撃でお父さんが謎のシールドに囲まれた!

???「この男は我々の計画に必要な存在だ、貫うぞ!」

セレナ「そんな事はさせない!祥平を返して!」

成る程な、それほど価値があるのだな?なら尚更だ!

???「俺を倒せれば、返してやろう」

そう言う男はエボルドライバーを取り出した!

那奈「それってエボルドライバー!」

『コブラ!ライダーシステム!エボリューション!アークユーレディ?』

「変: : 身!」コブラ!コブラ!エボルコブラ!ふっはははは!』

???は仮面ライダーエボルになり攻撃を仕掛けた!

那奈「変身!」

『ラビットタンクスパークリング!イエイ!イエーイ!』

夏目「変身!」

『割れる!食われる!砕け散る!クロコダイルインローグ!オーラー!』

刀「変身!」

『カチドキアームズ!いざ出陣!エイエイオー!!』

3人は変身してエボルトに攻撃をするが

3人『きゃー!』

セレナ「那奈!」

翼「刀!」

奏「夏目！」

エボル「この程度か？なら「逃がさない！」ほお？」

セレナ「光の力をお借りします！」

『仮面ライダーオーブスペシウムゼペリオン！』

セレナはオーブスペシウムゼペリオンになりエボルトに蹴りを入  
れるが全くダメージがなかった！

エボル「ほらよ！」

オーブ「くっ！強い……」

オーブから変身が解けてしまい気絶をした！

マリア「セレナ！」

エボル「ではこれで」

エボルは祥平をそのまま連れて消えた。

See you end game



## 第2話敵の目的？そして新たな力！

一度、家に戻りセレナの手当てをしているが那奈は悩んでいた。

那奈「お父さんが計画に必要なって言うってたけどあれって……兄さん」

ユウ「なんだ？「なんであるの時フォーゼにならなかったの？」父さん達と思いい出を浸る前に調整していったんだ、そしたら案の定だ、くそ！調整を早く終わらせればこんな事には！」

翼「落ち着きなさいユウ、気持ちは私達も同じだ。あの時にシンフォギアを身に纏えたのに何も出来なかった……また助けられないのか！私達は！」

……父さん絶対に生きていてくれよ

???

祥平「……ん？此処は？……！手足が！」

エボル「お目覚めだな？」

こいつは！エボル！

祥平「何が目的だ！これを外せ！」

エボル「それは断る、今からこいつでお前の頭の中を全て読み込ませて貰うぜ？」

祥平「ふざけるな！おい！外せ！」

俺の頭に何かの装置のヘルメットを被らされた！何も見えねえ！

エボル「それじゃあ、開始だ」

祥平「あ！ぐ！あああああああ！」

なんだ！これ！頭が！ぐ！あああああああ！

高田家

ユウ「ん？これって確か父さんが調べてたクリスタルとビルドウォッチ？」

そしてクリスタル2つとビルドライドウォッチが飛んで行く！おい！待ってくれ！

リビング

調「エボルトが祥平を……何で連れてたのかな？」

未来「分からない、だけど何とかして助けないと！」

未来さん達もやっぱり不安もあるんだよね、お父さんをどうやって助ければ良いの？それにエボルトをどうやって倒す？私達3人でもやられてお母さんも1発で気絶させるなんてあいつは何者？あれ？あのビルドライドウオッチって？

未来「これって確か祥平が調べてた物だよな？」

未来がそれを手に取った瞬間！ジクウドライバーとジオウライドウオッチが現れた！

マリア「これは？ドライバー？それにこれはビルドとは別の物？」  
奏「ウオッチが未来を選んだのか？ん？翼、マリア。お前達の所にあるのって？なんだ？」

2人『え？』

2人の前にも宙に浮いていたのはウルトラマンタロウウクリスタルとウルトラマンギンガクリスタルが浮いていた！それを2人は手に取りしたらルーブジャイロとクリスタルを入れる入れ物が現れた。

マリア「これって？」

翼「ドライバーなのか？」

ユウ「やっぱり此処だったんだ」

そこにユウが部屋からリビングに戻って来ていた。

セレナ「どうして2人に？」

ユウ「分からないけど急に飛んで行ったら……この爆発音は何だ！」

更に未来の所にビルドライドウオッチを手に持っていた！

未来「ねえこれって「小日向！行くぞ！」はい！」

ユウ以外は爆発音がした所に向かった。

元リディアン付近

翼「ここは……元リディアンだった、そしてカデインギルが使われた場所「貴様達がシンフォギア装者と仮面ライダーか？」貴様は何者だ！」

いきなり現れたフードを被った男が聖剣を持っていた。

奏「あれって何の聖物だ？」

??? 「貴様達は此処で死んで貰う！」

な！早い！こいつは一体！

奏 「こんのお！」

奏はガングニールを身に纏ってアームドギアを構え攻撃をするが  
聖剣で防がれた！

奏 「な！」

フードの男 「この程度か！はああ！」

奏 「うわぁー！」

聖剣をひと振りて奏を吹っ飛ばした！

翼 「奏！」

マリア 「皆！やるわよ！」

マリアはガングニールを身に纏って槍で攻撃を仕掛け、翼のアーム  
ドギア剣で男を刺したと思ったがフードだけであった！

翼 「何処に！……刀！後ろだ！」

男の服は全身黒色のスーツを着てそのまま、娘達とセレナはライ  
ダーになったが刀の後ろにいつの間にかいた！

鎧武 「え？く！」

ビルド 「良くも！」

『マックスハザードオン！』

ハザードトリガーを起動させラビットタンクスパークリングフル  
ボトルを取り出しハザードスパークリングフォームになる

ビルド 「はあ！」

男 「遅いぞ！」

聖剣でビルドを連続で切りそのまま蹴り飛ばす！

オーブ 「那奈！これなら！スペリオン光輪！」

ノコギリの形の物で男にやるがそれを聖剣で叩き落とされ凄く早  
さでオーブに攻撃をするがオーブはハリケーンストラッシュになりそ  
れをストラッガーランスで防ぐ！

男 「何！」

オーブ 「これでどうですか！トライデントストラッシュ！」

3回レバーを入れて連続で切るがそれを全て避けられた！

男「確かに強いが無駄だ！」

オーブ「く！」

攻撃を防ぐが後ろにおされてオーブはしゃがんでしまう。

男「やはり弱い………終わりだ！エクスー！」

男は聖剣を上に向けて何かをやろうとしていたがオーブは動けなかった！

オーブ「力が入らない………けど！こんな所で負けられない！」

男「これを避けても良いが！街は綺麗に吹っ飛ばす！カリバーー！」

そしてそのまま下に振り落としレーザー砲見たいなのをオーブを襲う。

オーブ「私は！………負けられない！ビッグバンスラスト！」

スラッガーランスを前に構えてエクスカリバーを止めるが力の差がありすぎてオーブはおされている！

オーブ「く！このままじゃ！「はああああ！」え………」

男「な！エクスカリバーを書き消したのか！貴様はなんだ！」

目の前にいるのは謎の女性であった。

女「大丈夫？」

オーブ「それってシンフォギア！響さんの GANG ニールと同じ形状？」

金髪のポニーテールで眼鏡をかけている女性は響と同じ GANG ニールを身に纏ってるが色はオレンジの所がシアンプルーになっていた。そしてマフラーは首に巻くっている（IF 響と同じ風に巻いています。）

女「ちよつとね？それより休んでて♪………こんな女の子をいじめた楽しいのかな？」

男「貴様は何者だと聞いているのだが？」

女「私は夏希。この人達があの伝説の仮面ライダーエグゼイドもとい高田祥平様の家族だからね！それを助けに来たんだよね！」

成る程、こいつも目的は一緒らしいな………なら！

夏希「いきなり剣を置いてどうしたの？」

男は正座をした。

男「まずは謝らせてくれ、俺は確かめたかったんだ」

セレナ「確かめたかったんだってどういう事？」

ユウキ「その前に俺はユウキ。あんた達の大切な人を助けるのにちよつと試したんだ、本当にその気持ちがあるなら……その目は本気らしいな」

夏希「それは私も同じ、それに私はこの時代の人間だからね♪」

え？じゃあなんで GANG ニールがあるの？それに夏希さんは私達の事を知ってるの？

未来「あの、ユウキさんに質問なんですけどこれって知ってますか？」

ユウキ「それって……ビルドライドウォッチ！って事はこの時代の

ジオウは君なのか！」

セレナ「ジオウ？」

那奈「それってなんですか？」

夏希「確かに」

ユウキ「これに変身する事には君には覚悟してくれ」

未来「覚悟？」

ユウキが言う覚悟とは一体そして祥平の方では……

祥平「ああああああああ！あ！う！ああああああああ！」

エボル「こいつは凄いで！こんなやばい存在もいるんだな、それにこいつの力は使えそうだな」

まだ祥平の今までの戦闘データの記憶を見ていたエボルトは機械を止めた。

エボル「少し休ませてやるぜ？」

祥平「はあ…はあ…エボルト！これを外せ！」

俺はエボルにそう言うがやはり無理だと思っていた。

エボル「駄目だな♪お前はもう少し記憶を見させて貰うぜ？そんなじゃあ、後でな♪」

くそ！……セレナ、皆……那奈。お前らは絶対に来るって信じてるからな。ん？身体から何か出て来た？

アーナス「やつと出られた、パラドはまだ無理そうね」

祥平「その声はアーナスか？」

アーナス「祥平！大丈夫！」

祥平「それより、これを外してくれるか？」

アーナス「分かった」

頭のヘルメットを何とか取り外して貰った。

祥平「アーナス助かったよ」

アーナス「後は手足のだけを取れば「ばれてるぜ？」！エボルト！  
なんで！分かったの！仕方ない！

アーナス「え？きやー！ー！」

アーナスは穴に落とされてしまった。

祥平「アーナス！………エボルト！アーナスは何処に！」

エボルト「あいつは元の場所に落としたのさ、お前らの仲間の所にな  
♪」

くそ！俺はまた記憶を読み込まれてしまう、セレナ、皆！俺は信じ  
てるからな！あああああああ！

街中

ユウキ「風鳴翼、マリア・カデンツァ・イヴ貴女達にその力を  
使える用にして欲しいんだ」

マリア「もしかしてこれの事を知ってるの？」

ユウキ「ああ、知ってる、だからだ！あいつを助けるには仮面ライ  
ダーの力も必要になる」

翼とマリアはお互いに頷いたその時にアーナスが落ちて来た！

アーナス「いてて………此処は？………それより祥平！」

セレナ「アーナス！祥平を知ってるの！」

アーナスはさっきの出来事を話そうとしたがその穴から更に落ち  
て来たのは！

祥平「よ、皆、無事だったか？」

そこにはエボルトに捕まっていた祥平が現れたのだが

セレナ「祥平！エボルトから逃げて来れたの！「セレナ待って」アー  
ナス？」

アーナス「あんた、祥平じゃないでしょ？」

祥平「何を言ってるんだよ、アーナス。俺は俺だぞ？」

確かに祥平なのだがアーナスには分かっていた。

アーナス「じゃあ！なんで！そんなドライバを着けてるの！エボルト！」

マリア「確かにあれはエボルトのベルト……まさか！」

誰もが信じられなかった、いや、信じたくなかった事が起きてしまった。

祥平「まあ、良いか、それじゃあ！」

『コブラ！ライダーシステム！エボリユーション！アーユーレディ？』

祥平「変身♪」

『エボルトコブラ！ふははははは！』

エボルト「さあ！始めようか！」

その瞬間皆の怒りが込み上げていた！

那奈「エボルトー！ー！」

See you end game

### 第3話力の暴走そして目覚める王の力!

那奈「エボルトーイー!」

『ラビットタンクスパークリング! イエイ! イエイ!』

スパークリングフォームになり、ドリルクラッシャーを手に持ちエボルトに攻撃をするが…

ビルド「な!」

防がれていてた!

エボルト「その程度か? はあ!」

ドリルクラッシャーを弾き飛ばしてそのままビルドを蹴り飛ばした。

ビルド「あう……」

セレナ「那奈! 許さない! 変身!」

『仮面ライダーオーブ! サンダーブレスター!』

セレナはオーブサンダーブレスターになるのだがマリアが止めようとする!

マリア「セレナ! 貴女はまだ! それを使えないでしょ! 変身を解除しなさい!」

オーブ「邪魔をするな!」

その勢いでマリアに攻撃をするオーブ!

マリア「くっ!」

槍で防御をするが流石に力が違い過ぎてその反動で後ろに飛ばされた!

マリア「やっぱり厄介ね、サンダーブレスターは……なら!」

この力なら! セレナを止められるかもしれない!

マリア「やってみるしかない! 私色に染めなさい! ルーブ!」

ルーブジャイロを取り出して腰に着ける! そしてタロウクリスタルを出した。

マリア「クリスタルセレクト!」

『ウルトラマンタロウ!』

マリア「纏うは火! 紅蓮の炎!」



腰に着けたループジャイロを3回引つ張りそして

『仮面ライダーロツソフレイム!』

マリアの姿は仮面ライダーロツソの姿に変わった! (姿はウルトラマンロツソになります、腰にループジャイロを取り付けたロツソですのでご了承下さい。)

エボル「ほお?」

翼「あの姿はそれに……あれはやはりドライバーなのか? なら! 私色に染めろ! ループ!」

翼もループジャイロを腰に取り付けてクリスタルを手を持つ。

翼「クリスタルセレクト!」

『ウルトラマンギンガ!』

翼「纏うは水! 紺碧の海!」

『仮面ライダーブルアカア!』

翼も仮面ライダーブルアカアになった!

エボル「面白くなりそう! 何だお前は?」

エボルトが2人に驚いて面白そうだと思つて攻撃を仕掛けようとしたが

ユウキ「悪いがそいつを返して貰うぞ! エボルト! お前は俺の世界に戻るべき存在だ!」

エボル「貴様は! 悪いが身体の相性が良いからな♪こいつはまだ借りるつもりだぜ♪「エボルト……!」おっと♪暴走してるなあれは……! 何だ! 身体が!」

BGM (ウルトラマンゼロビヨンドのテーマを聞きながら読む事をお願いします)

いつまでも! 人の身体を使えると思うなよ! 俺は結構前にノイズバグスターや破壊兵器の力で色々あったからもう! 簡単には! 動かないぞ!

エボル「こ! こいつ! 何故だ!」

エボルトは身体を無理矢理、動かそうとするがそう簡単には扱える訳ではない! そう! 彼は!

オーブ「はああああああ!」



エボル「こい！返り討ちにしてやるよ！」

エボルは鎧武を蹴り飛ばしてローグを投げ飛ばす！

奏「夏目！」

奏は娘が吹っ飛ぶのを受け止めるがそのまま壁に激突する！

ブル「刀！夏目！奏！良くも！」

ブルはルーブスラッガーを手に持ちエボルを切ろうとするのだが当たらなかった！

エボル「遅いぞ？はあ！」

ブル「が！」

エボルがブルをパンチして吹っ飛ばした！

祥平「くそ！皆………やっぱり俺も！」

俺はエグゼイドゼロになろうとしたがまだ身体がまともに！

エボル「無駄だぜ？貴様達じゃ勝てないぞ！」

エボルは衝撃波で皆を吹き飛ばす！

ロツソ「く！つ！強い！だが！」

ブル「このまま負ける訳には！」

ビルド「いけない！『マックスハザードオン！』これで！」

フルフルラビットタンクフルボトルを取り出した、ビルドは降り始めた。

『ラビット！』

そのままドライバーに取り付けレバー回した。

『紅のスピーディージャンパー！ラビットラビット！ヤベーイ！ハ

エーイ！』

ビルドはラビットラビットフォームになった！

祥平「あれは！「祥平？」セレナ！」

俺は何とかセレナの所に向かうが倒れる。

ビルド「お父さん！」

鎧武「お父様！」

ローグ「私達でエボルトを止めるわよ！」

鎧武は無双セイバーを使って立ち上がる鎧武はエグゼイドロックシードを取り出した。

鎧武「ですね！」

『エグゼイドアームズ！患者の運命を変えろ！』

ガシャコンブレイカーを持ちエボルに攻撃をするが抑えられる。

エボル「そんなんじや勝てないぞ？」

ビルド「はあ！」

ビルドはフルボトルバスターブレードモードでエボルに攻撃をするが避けられた！

エボル「こんな物か？お前達のライダーシステムって言う奴は！」

ビルド「うわあー！」

祥平「みんな！く！く！くそおお！」

俺はまだ頭がぐちゃぐちゃして来るが那奈達のピンチなのに！くそ！俺は何も出来ないのかよ！セレナの所にすら行くのにこんな！

エボル「さてと……祥平、お前はまた連れて行くぞ」

祥平「ふざけるな！俺は！もう！」

エボルは俺を掴もうとしたが未来が俺を抱き締めた勢いで俺は吹っ飛ぶ。

エボル「ほお？変身も出来ないお前さんが何が出来るんだ？」

未来「確かに私は皆、見たいに仮面ライダーの力はないけど！私は覚悟をしてる！」

エボル「死ぬ覚悟か？」

未来「違う！」

そう言った未来はビルドライドウオッチじゃないライドウオッチを取り出した！

祥平「未来……それって！「私は祥平や響に皆に助けられた、けど！

………今度は私の番！」……俺は未来を信じるぞ！」

そして未来はドライバーを腰に巻き付けてウオッチを回して音声がなった。

『ジオウ……』

祥平「ジオウ？」

そしてジオウライドウオッチをベルトの右に取り付け、真ん中のスイッチを押しそして

未来「変身！」

『ライダータイム…カメンライダー…ジオウ…』

未来の姿が仮面ライダーの姿に変わった！

エボル「何だそれは？」

???「私はジオウ…仮面ライダージオウ！」

S e e   y o u   e n d   g a m e

## 第4話ジオウの力そしてアーマータイム

ジオウ「ジオウ…仮面ライダージオウ！」

祥平「未来……………」

エボル「そんなのは無意味だろうな！」

エボルがジオウに攻撃を仕掛けたが

ジオウ「……………遅い！」

エボル「が！」

一瞬だった！エボルの攻撃を避けてパンチをしエボルを吹っ飛ばした！

エボル「ぐ！この！小娘が！」

怒りにレバーを回す！不味い！

『レディゴー！エボルテックアタック！チャージャー！』

祥平「未来！避ける！」

ジオウ「大丈夫だよ」

未来……………！やっぱり！黙ってられるかよ！

ビルド「お父さん！無理をしないで！」

エボル「これでも喰らえ！」

エボルのキックはジオウに向かうが俺はそんなのやらせるか！

祥平「うおおおおお！」

『エグゼイドゼロモード！』

俺はエグゼイドゼロになるが身体に電撃が走り俺は倒れ掛け変身が解けてしまった！

ジオウ「祥平！「余所見をするところなるぜ？」うぐ！」

エボルはジオウを後ろから蹴り飛ばす！後からビルドラビットラ

ビットフォームのスピードでエボルを攻撃する！

ビルド「エボルト！私は許さない！お父さんと私達！家族の絆をなめるなあああ！」

エボル「な！なんだこの力は！ぐあ！」

ビルドのパンチを防いだつもりだったエボルは吹っ飛ばす！

エボル「人間ごときが！」

ジオウ「那奈ちゃん……一緒に！」

ビルド「はい！未来さん！」

ブル「私達を忘れないで貰おうか！」

ロツソ「皆でやるわよ！」

鎧武「はい！」

ローグ「お母さんも行ける！」

奏「当たり前だ！」

皆！それじゃあ！これで決めよう！

ロツソ「翼！」

ブル「ああ！」

2人のループスラッガーの攻撃でエボルは倒れて立ち上がろうとするがローグと鎧武と奏の同時攻撃が迫る！

奏「夏目！」

ローグ「分かっている！あわせるよ！」

鎧武「これで！」

エボル「ぐあ！」

な！何故急にこんなにハザードレベルが！やはり人間は危険だ！

ジオウ「逃がさない！」

ビルド「このまま倒す！」

エボル「ふぎけるなあ！俺が人間にやられるなんて洒落にならないな！」

皆……俺はこんなんで役にたてないのかよ！くそ！どうしたら！『ならお前にこれを預ける』誰!?『俺は万丈龍我だ。お前のゼロって奴から連絡が入ったんだ、アイコンは戦兔がやつてくれた！』ん？これか！『ラブ&ピースの為に戦え！お前の家族と共に！』

祥平「万丈さん……ありがとうございます！ゼロさん！行きますよ！」

ゼロ「ああ！」

俺はエグゼイドゼロになりそして新たなアイコンが追加されていた。使わせて貰います！

エグゼイドゼロ「こいつだな……頼むぜ！」

エグゼロスマホのクローズのアイコンとエグゼイドのアイコンを  
選ぶ！

『クローズモード！マイティアップバーニング！ゲットエグゼイドク  
ローズ！イエーイ！』

エグゼイドの装甲にクローズのアーマーが手足と身体と頭につけ  
られた！

エグゼイドクローズ「……………」

エボル「それは！万丈の力！」

ジオウ「祥平……………」

ビルド「お父さんのあれは？」

皆は驚いているがエボルは攻撃を仕掛けて来る！

エグゼイドクローズ「ふ！は！」

エボル「なんだ！このハザードレベルは！」

この溢れる力って？けど今はこいつを何とかしないと！

ジオウ「ハザードレベル？」

ビルド「嘘！お父さんにハザードレベルあったの！」

調「それなら！」

『ウエイクアップ！クローズシウルシャガナ！アークユーレディ？』

調「はあ！」

『ウエイクアップシンフォギア！ゲットクローズシウルシャガナ！  
イエーイ！』

調のシウルシャガナの姿だがクローズのアーマーが手足、身体に取  
り付けられていた。

調「今の私は負ける気はしない！」

ビルド「調さんがクローズの力をシンフォギアにつて…………え？どう  
なって？」

ビルドの姿から那奈に戻りかけているがビルドに直ぐに戻る。

エグゼイドクローズ「今のは？はあ！」

ビートクロウザーでエボルを攻撃をし吹っ飛ばした。

エボル「流石に分が悪そうだな、じゃあな♪」

エボルは姿を消し、皆は変身を解除した。



祥平「……………皆、ありがとう。」

那奈「お父さん、無事で良かった」

祥平「ああ、それより大丈夫か？ 那奈」

那奈「うん」

さっきのは一体何だったんだ？ それに未来のあの仮面ライダーは一体？……………一旦戻るか。その時、俺にはまだこの時、未来が変身するジオウが大変な者だとはこの時は思っていなかった。

自宅

祥平「……………「祥平」ん？ どうした未来さん」

未来「ちよつとお願いがああるの」

祥平「お願い？」

俺はトレーニングルームに未来と2人きりで始める。

祥平「本当にやるんだな？」

未来「うん」

祥平「分かった……………」

ゼロ『祥平……………今回は？』

祥平「俺、1人で頑張りますよ」

俺はゲーマドライバーを付けてガシヤットを取り出した。

祥平「……………ユウキ、もう一度だけ力を借りるぞ」

『マイティアクションX！ マザーズロザリオユウキ！』

祥平「大変身！」

『ガシヤット！ ガチャーン！ レベルアップ！ マイティアクションX！ アガツチャ！ 受け継がれるスーキル！ マザーズロザリオユウキ！ ガシヤコンブレイカー！』

エグゼイドの隣にユウキの幻影が現れその幻影がエグゼイドと1つになる。姿はマイティクリエーターVRXの姿だがユウキのカラーに変わった！

未来「ユウキさんの久し振りに見たね」

『ジクウドライバー！』

『ジオウ！』

ライドウオッチをベルトに付けて真ん中のボタンを押して

未来「変身！」

ドライバーを回転をした！

『ライダータイム！仮面ライダー！ジオウ！』

未来は仮面ライダージオウに変身し武器を取り出した。

『ジカンギレード！ケン！』

ジオウ「はああ！」

エグゼイド「は！」

2人の剣がぶつかりあうがエグゼイドの動きはいつもと違って鈍かった！

エグゼイド「え？何で力が……「余所見はあぶないよ！」く！はあ！」

ガシヤコンブレイカーで防ぐが何ださつきから！

ジオウ「はあ！」

エグゼイド「ぐあ！」

何ださつきから？力が安定しない？どうなってる？

ジオウ「祥平、さつきから様子がおかしいよ！大丈夫なの！」

那奈の時もだ、何か力が！………う！

エグゼイド「力が安定しない？」

『ガチョーン！ガツシューーン！』

俺は変身を解除した。

ジオウ「一体何が起きてるの！」

分からないけどこれは嫌な予感しかしない。

祥平「ん？何だこの反応は？」

エグゼロスマホで何かの反応がして映像を見たら何だこいつ！

ジオウ「行こう！」

祥平「だな！」

俺是那奈に声をかけて未来と3人で向かった。

海の砂場

???「うがあ……」

祥平「何だよあれ！」

そこにいたのはビルドに似ていた怪人が人を襲っていた！

未来「ビルドに似てるけど？」

那奈「あんなのビルドじゃありません！変身！」

『ラビットタンクスパークリング！イエー！イエー！』

祥平「だな、人を襲うなんて許せないな！変身！」

『レベルアップ！マイティアクションX！アガツチャ！受け継がれる  
スーキールー！マザーズロザリオウキー！』

未来「私達で止めよう！変身！」

『ライダータイム！仮面ライダー！ジオウ！』

3人は変身を完了するが未来の持っていたビルドライドウオッチ  
が光っていた！

ジオウ「これって？」

エグゼイド「ビルドライドウオッチが光ってる……」

ビルド「やっぱり私も力が安定しない？」

どうなってるんだ？それにあの怪人を倒さないと！

エグゼイド「はああ！な！ぐは！」

『ガツシューン！』

ガシャコンブレイカーを弾かれた俺は謎の怪人にやられ変身が解  
けてしまった。

ジオウ「祥平！……やるしかない！」

『……ビルド！』

ビルドライドウオッチをジクウドライバーの左側に付け、回転をさ  
せた。

『ライダータイム！仮面ライダー！ジオウ！アーマータイム！ベスト  
マッチ！ビールドー！』

ジオウの上からビルドのアーマーを取り付けられた瞬間、ビルドか  
ら変身が解けてしまった那奈

那奈「変身が！何で！」

祥平「あ！ぐ！…あれはビルドなのか？ぐ！」

See you end game

## 第5話失った変身そして謎の女性

祥平「あれはビルドなのか？」

那奈「お父さん大丈夫？」

俺是那奈の肩を借りて起き上がるが何で那奈からビルドが強制的に変身が解けたんだ：

ジオウ「はああ！」

右手のドリルでビルドの怪人に攻撃をしたらダメージはあった！

祥平「攻撃が効いてるのか！」

那奈「未来さんまだ立ち上がります！」

那奈ちゃんは教えてくれたけど私はこの怪人を倒せば良いのかな？

アナザービルド「ふあー！」

兎の力でジャンプしてその勢いでジオウをパンチする。

ジオウ「きや！」

ジオウから変身が解けた！不味い未来はビルドが長く使えないのか？てか考えてる場合じゃない！

祥平「やらせるかよ！変身！」

『ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！マイティ・マイティアクションX！』

祥平は怪我があってもエグゼイドになりアナザービルドに攻撃をする！

エグゼイド「おら！な…ぐ！」

攻撃はやはり効いてなくてそのままカウンターパンチを喰らってしまう！

那奈「お父さん！」

未来「祥平！」

駄目！お父さんを殺させない！だけど私からビルドが消えて変身が出来ない！どうすれば……『那奈！俺の力を使え！』ゼロさん！分かりました！

那奈「私に力を借ります！遊鬼さん！永流さん！」

2人『行くぜ！おう！』

那奈「お父さん！健介さん！」

2人『負けない！共に行くぜ！』

ネオクロストライバーにカプセルを2本入れてジードライザーにウルトラゼロネオアイを取り付けそのままスキャンした！

『ネオクロスアップ！』

那奈「私達に限界はない！はぁー！」

『NEWジェネレーションズカプセル！Σ！Z！仮面ライダーゼロビブrost！』

那奈の姿から仮面ライダーゼロビブrostに変わって2人の前に高速で動いてアナザービルドを吹っ飛ばした！

祥平「ゼロビブrost！何でだ？ん？」

あれ？確かカプセルは閉まった筈だったけど何でだ？……もしかして！

ゼロビブrost「お父さんは未来をお願い！」

『ガンガンセイバー！ガシャコンブレイカー！』

中に浮かぶアイコンを選択して二刀流にしてアナザービルドに攻撃をするがやはりダメージはなかった！

アナザービルド「うあ！」

そのまま蹴り返されて態勢が少し崩れる。

ゼロビブrost「く！」

こいつはビルドの攻撃なら行けるけど私はビルドが使えないし倒せないと考えるしかないの！

祥平「那奈……やっぱりこいつの出番だな」

俺は赤と青のガシャットを取り出し起動した。

『仮面ライダービルド！』

祥平「変身！」

『ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！ラビットタンク！ウサギと戦車！ベスト・ベストマッチ！イエー！』

その姿は他のレジエンドライダーと同じくビルドの姿になり右手にはドリルクラッシュャーを持っていた。

エグゼイド「ノーコンティニューの法則を見付けるぜ！はあ！」  
俺はビルドに似た怪人にドリルクラッシュヤーで攻撃をした。そしてたらダメージが入った！

エグゼイド「これなら行ける！おらあ！」

アナザービルド「ぐあ…」

よしこれで止めを…！ぐ！

エグゼイド「ガシヤットでも駄目なのか？ビルドガシヤットの力が安定しない？く！」

アナザービルドの不意打ちでビルドガシヤットが抜けてしまいレベル2に戻ってしまい防戦一方だった！

未来「祥平！早く何とかしないと！」

ゼロビブロスト「未来さんは無茶しないで下さい！怪我がまだ！」

未来「それでも…：私は守りたい…：…：那奈ちゃんや祥平、皆が今まで頑張ったのに私だけ見てるのは…：…：辛いよ」

未来さん、そこまでして…：お父さんのサポートしないと！

???'「それでこそジオウです」

いつの間にか後ろから現れたのは女性だった。

ゼロビブロスト「誰？」

私はライオンソードを持って未来さんの前に立つ。

???'「私はジオウの継承者を見に来たのです、魔王様はどうしたいのですか？」

女性は未来にそう聞く。

未来「魔王様ってどういう事なんですか？」

???'「簡単に言うと最低、最悪の魔王様に未来ではなっているのですよ」

ゼロビブロスト「嘘だ！未来さんがそんなのになる訳ない！」

私は胸ぐらを掴んで反論してる間お父さんが吹っ飛ばされて変身が解けた！

祥平「あいつ強い…」

ゼロビブロスト「お父さん大丈夫？今度は私が！はああ！」

ライオンソードを持ちながらアナザービルドに突っ込んで向かう

ゼロビブロストである。

祥平「那奈…駄目だ！戻れ！」

あの怪人を倒す方法って他にないのかよ！てかその人誰だ？それより！

祥平「ぐ！動けねえ…」

もうどうすれば良いんだよ！まじでもう無理な気がするんだけど……いや諦める訳には行かないな！

未来「祥平…一緒にやろう」

祥平「……………未来、無茶するなよ」

『マイティアクションX！』

未来「うん！」

『ジオウ…』

2人『変身！』

2人はジオウとエグゼイドになりゼロビブロストの助けに入る！

アナザービルド「うぐ！」

ゼロビブロスト「お父さん…未来さん…」

エグゼイド「ここで終わらせる！未来！ビルドライドウォッチを使ってくれ！こいつはビルドの攻撃なら効く筈だから！」

ジオウ「分かった！」

『ビルド…』

そしてベルトにライドウォッチを入れてビルドアーマーに変わりそのまま攻撃をする！

アナザービルド「俺がビルド…エグゼイドもベストマッチ…」

エグゼイドに抱き付こうとするがそのまま蹴りを入れて転ばせた。

エグゼイド「お前とはベストマッチはしねえよ！」

そんな事を言って更に攻撃をしジオウはライドウォッチのスイッチを押してベルトを回転させる！

ジオウ「これで止めだよ！」

『ボルテックタイムブ레이크！』

そのままアナザービルドにライダーキックを決めそのままアナザービルドは爆発して中から人が出て来て驚いた！

エグゼイド「人…どうして中から人が……」

ゼロビブロスト「分からない」

『クロスアウト……』

ゼロビブロストから変身を解除した那奈は俺にカプセルとネオクロスドライバーを返そうとしたが俺は横に首を降った。

エグゼイド「那奈…暫くはお前が持つてろ、お前は今、ビルドに変身出来ない状態だ。お前ならそれを絶対使いこなせると信じてる」

那奈「お父さん……うん…分かった。」

さてとこれからどうするか？あのビルドに似た怪人は何なのか？それにエボルトは何故俺の記憶を読んだんだ？皆の戦闘データが必ず要なのか？

祥平「わかんねえ………」

刀「お父様！」

祥平「刀！」

刀と合流したがさつきから俺の嫌な予感がするのは何故？

那奈「！…お父さん！後ろ！」

祥平「が！エボ…ルト！」

俺の後ろから不意打ちで斬られ振り向いたらエボルトがいた！

エボルト「ふふふ……この時を！待っていたぞ！はああ！」

エボルトは謎の機械を俺の身体に埋め込みやがった！

祥平「が！何だよ！こ…れ…は！ぐ！」

那奈「お父さんに何をしたの！」

刀「お父様から離れなさい！変身！」

『エグゼイドアームズ！患者の運命を変えろ！』

エグゼイドアームズになりエボルトにガシャコンブレイカーで攻撃するが抑えられた！

エボルト「悪いが俺の相手はお前じゃないぜ？」

鎧武「何を！きや！」

鎧武に謎の攻撃を喰らってしまい吹っ飛ばされて立ち上がるが振り向いたらそこには黒いオーブがいた！

鎧武「え？」



那奈「黒いオーブ……」

そこに立っていたのは仮面ライダーオーブの黒い姿の戦士がいた。  
オーブ? 「……………」

祥平「ぐ! セレ: ナ: ……なのか! あぐ! ああああああああ!」  
俺の中から何かが抜けてしまった。そのままエボルトに機械を取り外され投げ飛ばされてしまった!

エボルト「これで全てが揃った♪「させないわよ!」何!?ぐ!」

祥平「マリア……「大丈夫か?」翼: 助かった」

ロツソとブルになっていた翼とマリアが俺を抱えてくれて立ち上がった。

ロツソ「それよりあの黒いオーブは一体何?」

祥平「分からない: 「祥平!」セレナ! じゃあ、あのオーブは何者なんだ?」

黒いオーブはオーブカリバーを構えてロツソとブルに攻撃してきた!  
ブル「こいつは我々が狙いか!」

ロツソ「ならやるわよ! セレナは祥平を!」

セレナ「うん! 「させるか!」エボルト! 光の力お借りします!」

『仮面ライダーオーブスペシウムゼペリオン!』

オーブスペシウムゼペリオンになったセレナはエボルトの攻撃から祥平を守ったが流石に力の差はあった!

オーブ「祥平には指一本触れさせない!」

エボルト「なら♪変身:」

『エボルトコブラ! ふはははは!』

エボルトはエボルトコブラフォームになりオーブに攻撃をする!

オーブ「スペリオンスライサー!」

右手でエネルギーをエボルトに放って撃つが全く効いてない!

オーブ「それなら! タロウさん!」

『ウルトラマンタロウ! はあー!』

オーブ「メビウスさん!」

『ウルトラマンメビウス! セア!』

オーブ「熱い奴お願いします！」

『クロスアップ！仮面ライダーオーブ！バーンマイト！』

スペシウムゼペリオンからバーンマイトに変わった。

祥平「あれって初めて見る姿……」

セレナが使ったカードは俺も初めて見た物だ。一体いつ手に入れたんだ？

オーブ「紅に燃えます！」

エボル「そんなの無駄だぜ？」「はあ！」ぐお！」

炎のパンチでエボルを吹っ飛ばした！凄いパワーだ！

エボル「流石に分が悪いな」

そのままエボルは撤退した……それより黒いオーブだ！

ロツソ「こいつ……強い……翼！クリスタルチェンジよ！」

ブル「ああ！」

2人が光輝きクリスタルを互いに入れ替えた。

『仮面ライダーロツソアクア！仮面ライダーブルフレイム！』

祥平「俺も……ぐ！」

鎧武「お父様は休んで下さい……那奈！」

那奈「ごめん！今、ビルドの力がなくなっって変身出来ない……」

え？それってどういう事なんですか？お父様も知ってそうな顔をしているのですか？

祥平「刀……俺も良く分からないんだがビルドと似た感じの怪人のせいなのか分からないが今は変身が出来ない状態なんだ」

鎧武「それなら私が何とかします……」

ガシャコンブレイカーを持ち黒いオーブを攻撃しロツソとブルと共にやるがオーブカリバーのひとふりし3人を吹っ飛ばした！

祥平「翼！マリア！刀！」

俺はゲーマドドライバーとガシャットを取り出してエグゼイドになろうとしたが

祥平「……ぐ！」

パラド「祥平！」

アーナス「どうしたの！」

俺の身体からパラドとアーナスが出て来たが俺は一気に吐き気を  
して倒れた：

ロツソ「祥平！どうしたのよ！」

く！このオーブ強い！けど祥平を何とかしないと！

那奈「お父さん！しつかりして！どうしたの！」

鎧武「那奈はお父様を病院に連れて行って下さい！」

那奈は祥平を運んで行こうとするが黒いオーブが邪魔をしようと  
してきた！

ロツソ「く！やらせないわよ！翼！セレナ！刀！同時攻撃よ！」

頷くが黒いオーブはオーブカリバーを回転させた。

『オーブダークブリザカリバー！』

オーブ？「……」

皆の足が氷った！不味い！

未来「変身！」

『仮面ライダー…ジオウ…』

ブル「小日向が仮面ライダーに！」

ロツソ「どういう事よ！」

皆が驚いてる中さっきの女性が見ていた。

???'「始まります、ジオウの戦いが」

See you end game

## 第6話作られたオーブそして集結する娘と息子達

ジオウ「行きます！はあ！」

『ジカンギレード！ケン！』

黒いオーブに攻撃仕掛けるがオーブカリバーで防がれる！

ジオウ「このパワーは……闇？それなら！」

『ビルド……』

ロツソ「あれってビルドライドウオツチ!？」

ブル「使いこなせるのか？小日向は？」

2人は未来が初めて仮面ライダーになるのを2回目だがビルドライドウオツチは初めて使うのを見る。

『仮面ライダー……ジオウ：アーマータム！ベストマッチ！ビールドー!』

ジオウ「行くよ！」

右手のドリルで攻撃をするがオーブカリバーで防がれた！

オーブ？「……………」

あんなにでかい剣なのに早い！

ジオウ「やっぱり強い……」

未来さん1人じゃ危ない！

鎧武「行きます！はあ！」

『バツコーン!』

ガシャコンブレイカーをハンマーモードにし黒いオーブに攻撃したがそれを防がれる！

鎧武「な！く！」

ジオウ「きや！」

黒いオーブはオーブカリバーひとつりで2人を吹っ飛ばした！

祥平「未来！刀！この野郎！」

『マイティアクションX！ガシャコンブレイカー!』

俺は怒りに任せてエグゼイドになり黒いオーブに攻撃を仕掛けるが……

エグゼイド「はあ！」

ガシヤコンブレイカーソードモードで黒いオーブに攻撃するがまた防がれるのかよ！かは！

ブル「祥平！」

ロツソ「良くもやったわね！」

『ウルトラマンゼロ！』

ルースラツガー二刀流を出したロツソはウルトラマンゼロクリスタルを入れて4回降って必殺技を出した。

ロツソ「ゼロツインスライサー！」

両方で上から下に下げる方法で黒いオーブに当てたがびくともしなかった！

ブル「あれを止めるのか！それなら此方もだ！」

『ウルトラセブン！』

ブルもルースラツガーを出して大剣を手に持ちウルトラセブンのクリスタルを入れて4回降った。

ブル「ワイドスラツガーショット！」

黒いオーブに近づきそのまま上から斬りに入ったがそれを見破られそのまま黒いオーブの一撃を喰らってしまった！変身が解けて黒いオーブはそのまま翼に止めをさすつもりだった！

エグゼイド「止めろおとおお！」

俺はもう駄目かと思ったその時…黒いオーブを一撃で吹っ飛ばした！

エグゼイド「え？今は……」

???「たく、父さんはそこで諦めるちゃうのか？」

そこにいたのは白いジャケットを来た男は俺の息子、高田リヨウ。因みに優奈との息子だからな？

エグゼイド「リヨウ！お前戻ってたのか！」

リヨウ「まあね！俺だけじゃないよ！」

リヨウの後ろから謎のオーラが現れたのは数人の男女が現れた。

鎧武「貴方達は！」

那奈「皆！」

女性「お待たせ！」

ユウ「姉さん達遅いぜ？全く……やるぞ姉さん！兄さん達！あの黒いオーブを倒すのを！」

それぞれベルトを着けた！

夏目「行くよ！『デンジャー！』変身！」

『クロコダイル！割れる！食われる！砕け散る！クロコダイルインローグ！オーラ！』

???「そうだな！行くぜ！ベルトさん！」

クリム『OKだ！流星！スタートユアエンジン！』

流星「変身！」

『ドライブタイプスピード！』

優奈「流星……」

???「私達の家族を泣かせる奴は私が許さない……『ジョーカー！』変身！」

『ジョーカー！』

ジョーカー「さあ……貴方の罪を数えなさい……」

調「紗奈……」

???「たく母さんは人使い荒いんだからな……変身……」

『ドライバートップリーズ……』

キャロル「うるさいぞ、レン」

レン「へいへい……変身！」

『フレーム……プリーズ……ヒーヒーヒーヒー……』

ウィザード「さあ……シヨウタイムだ……」

???「お母さんあれだよな？」

サンジェルマン「ええ、そうよ。由香。」

由香「うん、変身！」

『カメンライド……ディケイド！』

???「母さん達には指一本触れさせないよ！」

ロツソ「ユリ！」

ユリ「お母さんは休んでて……変身……」

『シグナルバイク！ライダー！マッハ！』

マッハ「追跡！撲滅！いつでも！マッハ！仮面ライダーマッハ！

！」

それぞれ娘と息子達は仮面ライダーに変身をした！そしてリョウも仮面ライダーに変身した！

『カイガン：…オレー！レッツツゴウ覚悟！ゴゴゴゴースト！』

エグゼイド「サンジェルマン！キャロル！ありがとなー！」

俺は2人に礼を言ってセレナが聞いた。

オーブ「どういう事なの？」

エグゼイド「あの2人には娘達を頃合いだと思って迎えに行かせたんだ：それぞれの仮面ライダー達の先輩の力を受け継いでな」

そういう事だったんだね、だけどこの黒いオーブは強いけど大丈夫なの？

ドライブ「んじゃ！黒いオーブ！一走り付き合えよ！」

ドライブはそのまま走って行く！

エグゼイド「流星待て！そいつの強さは！」

何かハンドルだけど剣の物で攻撃したがやっぱりか！

ドライブ「まじで？ぐ！『流星！それならマックスフレアだ！』OK！」

『タイヤ交換！マックスフレア！』

炎のパンチをするがやっぱり硬いのかよ！なら！

『ドライブ！タイプワイルド！タイヤ交換！フッキングレッカー！』

ドライブが赤から黒に変わった！

ウィザード「こっちもいるぜ！『バインド：プリーズ！』はあ！」

鎖で黒いオーブを押さえたのか!?

オーブ？「！……」

ディケイド「此方もこれで！」

『アタックライド：ブラスト！』

連射して黒いオーブを撃ちまくり追い討ちでマツハとゴーストの同時攻撃が入り黒いオーブは消えた。

エグゼイド「消えた……」「父さん」お前達……」

マツハ「お父さん……」

それぞれライダーから変身を解除したが紗奈とユリは抱き付いて

来た。

祥平「紗奈、ユリ、流星、リヨウ、レン…元気だったか？」

流星「当たり前だよ」

レン「仮面ライダー達の先輩達に特訓つけられて死にかけた」

まあ、だよな。それにエボルトは本当に何が狙い何だ？あの黒いオーブは一体…

エボルトの基地

黒いオーブ「…」

黒いオーブは変身を解除した。仮面を着けた女性に変身をしていった。

エボルト「ご苦労様だ「これで良いの？」ああ、準備もこれで完璧だからな…：さてと、行くとするかなパラレルワールドのマリア・カデンツァヴナ・イヴよ！」

仮面を着けた女性は何と別世界のマリアであった！そしてエボルトの狙いは何なのか!?

See you end game



第7話闇のシンフオギア装者VS祥平達！そして新たな覚醒！

トレーニングルーム

祥平「さてと！お前達の力！見せて貰うぜ！」

レン「父さん直々の特訓とはな……行くぜ！」

『フレームプリーズ…ヒーヒーヒー…コネクトプリーズ！』

『マイティアアクションX！ガシャコンブレイカー！』

2人はライダーになって互いに武器をぶつけあう！

エグゼイド「流星はレンだ…だが！がら空きだぞ！」

俺は蹴りを当てようとしたが後ろにジャンプして避けられた！

ウイザード「そんなの師匠に教わったからね！」

エグゼイド「流石だな…それなら」

『パッくんアドベンチャー！』

俺はパッくマンの絵が書いてあるガシャットを入れた。

エグゼイド「大大大変身！」

『ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！マイティアアクションX！

アガツチャ！パクパクパッくん！アドベンチャー！（ヨー！）パク！

パク！パッくマン！』

ウイザード「え？何それ！そんなの始めて見るけど手加減はしない

ぜ！」

ウイザードソードガンをガンモードにして撃とうとしたけど

エグゼイド「に…逃げろー！」

エグゼイドはウイザードから離れて全力で走って逃げた。

ウイザード「は？逃がさないぞ！」

そのままエグゼイドを追い掛ける中、皆はトレーニングルームの2人を見ていた。

紗奈「お父さんってあんな風に逃げて戦うの？」

調「紗奈…誤解しないでね？祥平のあのガシャットは私も始めて見るから多分それだと思う」

皆はちよつと自分の父親があんな人？なのと思つていた中、紗奈は調に質問をした。

紗奈「お母さん……」

調「何？」

紗奈は私に真剣な顔をしていて聞いて来た。

紗奈「お父さんの強さの秘訣を教えて欲しいんだけど……」

那奈「どういう事？」

紗奈「私はお父さんがこの世界を救つたのは聞いてるけど……本当に強いのか？」

紗奈が言いたいのは今、特訓でふざけてる用に見えるけど、あれでも祥平は強く成長してて優しい人だから私は……好きになつただと思う。

紗奈「お母さん？」

調「紗奈、それならやれば解るよ？」

お母さんがそう言うけど……他の仮面ライダーの人達は真面目なのにお父さんは……

レン「父さん強いや……紗奈の番だぞ？」

紗奈「うん……」

私は確かめたい！お父さんが何であんなガシヤットを使つて戦えてるの？ふざけて戦うなんておかしい！

エグゼイド「お？紗奈が相手か？」

紗奈「お父さん……行くよ『ジョーカー！』……変身！」

『ジョーカー！』

私は仮面ライダージョーカーに変身をしてパンチをしようとしたけど

エグゼイド「悪いがパツクンアドベンチャーはそう言うゲームだからな……逃げる！」

！……絶対に逃がさない！あんなふざけてやるなんて！はあああ

エグゼイド「うおっ！あぶな！」

俺は紗奈のパンチや蹴りをギリギリ避けてるけど普通にやばいな

……それに何かこのガシャットじゃ不満そうだな

エグゼイド「よっ！なら……」

『シャカリキスポーツ！』

エグゼイド「大大大变身！」

『マイティアクションX！アガツチャ！シャカつと！リキつと！シャカリキスポーツ！』

俺はスポーツアクションゲーマーになり右肩のタイヤを取り外し投げた！

ジョーカー「自転車……ふぎけないですよ！そんなのに！うぐー！」

避けたと私は思っていたけど後ろからタイヤが来ていて当たった

！

ジョーカー「何で………」シャカリキスポーツを甘く見ない方が良  
いぜ？」そんな物で！」

紗奈は何か怒っているのか？そんな覚えないけど………おっと……

エグゼイド「紗奈？どうしたんだ？」「何で！そんなふぎけた物で！」  
よつと………まじでどうしたんだ？」

俺は紗奈のパンチを右手で掴んで聞くが蹴りを貰ってしまう！

ジョーカー「仮面ライダーが自転車やあんな逃げて戦うなんておか  
しいよ！お父さんは何でそんなに強いのか！何でふぎけてられるの！」

紗奈が怒っているのはそう言う事か………確かにふぎけてるが俺はそ  
んな風には思っていないけど、紗奈にとってはふぎけてる用に見えたん  
だな。

エグゼイド「紗奈………」今のは聞き捨てなりませんよ！紗奈！」刀  
………」

ジョーカー「刀お姉ちゃん………だけど！」「だけどじゃないわよ！」！  
………」

あんな怒った刀は始めて見たがどうするんだ？ん？那奈？

那奈「紗奈………お父さんに謝って！」

ジョーカー「那奈お姉ちゃん………何で！」

那奈「お父さんはふぎけていない！真面目に戦って来たんだよ！お  
母さんや私達を守ってくれた！自分を犠牲にしてまで守ってくれた

！そんなお父さんは私は大好きなんだよ！」

那奈：お前そんな事を思ってたのかよ……ありがとうな

刀「紗奈には確かにふざけて見えるかもしれないけど！お父様は自分の事より他人を守る事をした！」

ジョーカー「だったら……私にそれを証明してよ！」

構えるって事は紗奈はまだやるのか？……なら仕方ない

エグゼイド「分かった……ただし今からしらないからな？」

俺はスポーツアクションゲームからレベルダウンさせた。

『ガチョーン！ガツシユーン！ガチャーン！レベルアップ！マイティジャンプ！マイティキック！マイティ・マイティアクションX！』

俺はアクションゲームレベル2になり構えた。

刀「お父様……」

エグゼイド「心配するな、レベル2だけど、これでも真面目だって証明するんだよ。」

何でレベル2に？……だけどそんなので私は負けないよ！は！

ジョーカー「え……止められた！……きゃ！」

私はパンチをしたけど簡単に止められて投げられた……

エグゼイド「紗奈、俺は確かにお前から見たらあれはふざけてるかもしれないけど……俺は真面目だ。あれでも使える力だ。ただお前には俺がどれだけ真面目なのか今から見せるよ……はあ！」

く！さつきより強く感じる！……それに隙がないけど……負けない！

ジョーカー「はあ！」

俺は紗奈の蹴りを防いでそのまま投げ飛ばした。

エグゼイド「紗奈一度特訓終了だ……まだ！」紗奈……仕方ない」

『マイティブラザーズXX！』

俺はダブルアクションゲームレベルXXになった。

エグゼイドL「アーナス……紗奈を任せて良いか？」

エグゼイドR「うん、解った……」

俺は一度アーナスに任せて後ろに下がった。

ジョーカー「ふざけないでよ！」

『ジョーカー！マキシマムドライブ！』

ジョーカー「ライダーキック！」

大きくジャンプした紗奈はエグゼイドRにライダーキックを決めたと思っただが吹っ飛ばされた。

エグゼイドR「ごめんね…『ガチョーン！キメワザ！』これで終わりに…！…警報！」

その時翼がトレーニングルームに入って来て俺達を呼びに来た。

翼「皆！急いでくれ！」

エグゼイドL「翼があんなに慌ててるって事はまじで大変な事が起きたのか？」

俺達は急いでその場所に向かったがとんでもない光景だった。

レン「父さん…あれって母さん達だよな？」

祥平「どうなってんだよ…」

俺達、皆は驚いた理由はそこには街で暴れていた、セレナ達装者がいた。

セレナ「何で私達が！「来たね」貴女は私なの…」

白いアガートラムは黒色だった、イグナイトを使ってる訳ではないのはすぐに分かる。

祥平「だけど街で暴れる何て許せるかよ！やるぞ！皆！」

皆『変身！』

それぞれシンフォギア、仮面ライダーになり黒いセレナ達と戦う事になるが特に俺はやりにくかった。

エグゼイド「はあ！」

俺はパンチして黒いセレナを吹っ飛ばし追い詰めたと思っただが

セレナB「痛いよ…祥平…」

俺はガシャコンブレイカーで決めようとしたが…出来ない！

エグゼイド「…甘いね！」ぐあー！」

俺はアガートラムの短剣で斬られて転ばされた。

オーブ「祥平！「がら空きだぜ！」くー！」

黒いクリスさんのガトリングで撃ちまくられて更に追い討ちで黒い響さんが拳でパンチをしてきた。

響B 「何だ、その程度なの？」

オーブ 「それなら！」

『仮面ライダーオーブ…ハリケーンスラッシュ！』

オーブスラッガーランスを持って攻撃をするけど防がれた！

響B 「はあ！」

いきなり走って来た黒い響さんは私のお腹をパンチして私は倒れかけた！

オーブ 「かは！…はあ…はあ…」

『クロスアウト！』

オーブから変身解除してしまったセレナは気絶をしてしまった！

マリア 「セレナ！ 遅いデスね！」 く！」

やはりガングニールではきついわね…：：：なら！

マリア 「クリスタル！ セレクト！」

『仮面ライダーロツソ！ フレイム！』

私はロツソになり黒い切歌に攻撃をする！

ロツソ 「はあ！」

パンチで吹っ飛ばすけどやっぱり強いわね…

切歌B 「ぐ！ このぐらい！」

耐えられた！ 流石に参ったわね。ぐ！ 後ろから攻撃！

調B 「1人だと思ったら間違いだよ」

黒い調まで！ つくづくむかつくわね！ だけど負けられない！

ロツソ 「貴女達こそ！ 舐めないでよ！」

マリアと黒い切歌、調で戦うがレン達は物凄くやりにくかった。

ウィザード「母さんの偽者いないのは良かったけど！ やっぱりやりにくい！」

それぞれまだ残っていた母さん達の偽もんに苦戦をする俺達だ。

ドライブ 「確かに…：：：ぐ！」

ハンドル剣で翼さんの剣で防ぐが強いぞ、これ！

翼B 「やはりその程度だったな！」

その言葉に言われるがあまり否定は出来ないが…

ジョーカー 「そんなのやって見ないと分からないでしょ！ はあ！」

私は黒い翼さんにパンチをしたけど剣で見えない攻撃をされて倒れた。

エグゼイド「紗奈！「行かせないよ！」ぐ！君も同じセレナなら止めてくれ！」

俺は黒いセレナの短剣の刃先を思い切り掴み聞く。

セレナB「同じじゃない！私は憎しみで生まれた！セレナ・カデンツアヴナ・イヴ。光を求めては駄目なんだよ！」

く！やっぱり駄目だ！セレナに攻撃何て俺には！

セレナB「死になさい！」  
しまった！

アーナス「はあ！」

私は黒いセレナに蹴りを入れて吹っ飛ばしたけど、何なの本当に！

エグゼイド「アーナス！」

アーナス「祥平は休んでて……」

そう言ったアーナスはゲームドライバーとガシヤットギアデュアルZを取り出してルミナスになって攻撃を仕掛ける。

ルミナス「はあ！」

ガシヤコンレーヴァティンで連続で斬っていくけど………流石にやりにくいね。

エグゼイド「何か方法はないのか？ぐ！」

俺は黒いセレナ達を見て何か方法がないのかを考えていたら後ろから攻撃を喰らってしまう！

エグゼイド「黒いオーブ：それにエボルト！」

エボル「よお？どうだい俺からのプレゼントは？」

そう言ったエボルトの言葉に俺はあそこにいる黒いセレナ達を見た。

エグゼイド「エボルト！何が目的なんだ！」

俺はガシヤコンブレイカーソードモードでエボルトに攻撃をするが防がれた！

エボル「全てはお前の娘達を消す為だ！」

エグゼイド「ぐあ！」

那奈達を消す為だど？……許さねえ……許さねえ……絶対に許さねえぞ！

エグゼイド「そんな事させると思うと思ってるのか！はあ！」

エボルトに蹴りを入れるが止められ言い返された。

エボル「出来るんだよ！」

拳に不気味な黒色のオーラを纏った手でパンチをしてきたが俺は防ごうとしたがやられた。

エグゼイド「ぐあああああ！」

強力なパンチを俺は喰らい変身が解けてしまった！

祥平「あ！く！……くっそ！」

不味い！お父様が！

鎧武「お父様！『カチドキ！』はっ！」

『カチドキアームズ！いぎ！出陣！えいえいおー！』

刀はカチドキアームズになり火縄橙DJ銃と無双セイバーを合体させて大剣にさせてエボルトに攻撃しようとするが黒いマリアが黒いオーブになった！

『仮面ライダーオーブダーク……』

オーブダーク「行かせないわよ？」

鎧武「そこを退いて下さい！」

大剣でオーブダークに攻撃するがオーブダークカリバーで防がれ蹴りを喰らい吹っ飛ばす鎧武は変身が解けてしまった！

那奈「刀！」

那奈は刀の所に行こうとするがジオウビルドアーマーの未来が止めに入った。

ジオウ「那奈ちゃん！待って！今の貴女は変身出来ないんだよ！」

そんなの解ってる！だけど……私は……

那奈「例え！仮面ライダーに変身出来なくても！私は……仮面ライダービルド！皆の姉さんなんだよ！」

私は未来さんの手を弾いてそのまま刀の所に走る！

ジオウ「那奈ちゃん……後ろがから空きだぞ！ジオウ！」く！黒い翼さん……紗奈ちゃんが相手をしてた筈！」



黒い翼のアームドギア剣を右手のドリルで防ぐ！

翼B「あんな奴は他の者に任せてある……そして私はあそこにいる、風鳴翼の憎しみの存在だ！」

どうして憎しみから生まれるの……あの響も憎しみからなの？く……

翼B「終わりだ……小日向よ！な！」

……いつまでも翼Bが未来を刺さなかったのは何故なのか目を疑った！

エボル「何！」

憎しみの存在だとしてもあいつにとっては陽だまりなんだ……ありがとな黒い響！

響B「……」

翼Bは後ろに下がり響Bに聞いた

翼B「立花……裏切るのか！」「私は未来を見捨てる事なんて出来ない……」なら2人まとめて斬る！」

未来に攻撃しようとするが響Bが翼Bの前に立ち向かう！

響B「……」「響！」……大丈夫だよ、未来は早く行きなよ、私は翼さんを止める！」

ジオウ「……うん！」

私は黒い翼さんを黒い響に任せて那奈ちゃん達の所に向かう。やっぱり響は響で変わらないんだね……ありがとう響……

エボル「何故だ！何故！憎しみの奴が相手を助けるんだ！」「それが解らないならお前は俺達には勝てない！」……なら！このまま！」

俺だつて！諦めたくないんだよ！こんな所で……終わらせちゃ！駄目なんだ！

エボル「死ねえ！」

エネルギー弾を撃ってきて俺は立ち上がろうとしても力が入らなくて無理だった。

祥平「くそおがぁ！動けよ！俺の身体！頼むから！」

もう駄目かと思つたが……那奈、刀！

刀「お父様！大丈夫ですか！」

祥平「刀：お前は大丈夫なのか？「今は何とか」そうか」

那奈「お父さんは休んでて……」

そう言った那奈と刀は立ち上がりエボルトの前に向いた。

エボル「ほう？死にに來たのか？」

刀「違います！貴方を倒す為に來ました！」

俺をか？ははははは！傑作だな？父親と同じく頭が悪いのかね？

那奈「これ以上誰かの悲しむ顔を見たくない！だからエボルト！貴方を倒す！」

エボル「だが！お前達はぼろぼろじゃないか？そんなんでは俺は倒せないぜ？」

確かに私達はぼろぼろだけど！そんな事で諦めない！

那奈「私は……私達は諦めない！どんなピンチでもそれを乗り越える！」

刀「私達はお父様！高田祥平の娘です！舐めないで下さい！」

2人とも……なら頼む！皆さん！2人に力をかけて下さい！

エボル「なら此処で父親と同じく死んで貰おうか！」

『レディーゴー！エボルテックアタック！チャージャー！』

エボルは走ってライダーキックを私達にしてくるけどそんな時に光の壁が私達を守ってくれた。そしてそのまま新たなフルボルトとロックシードが生まれた！

那奈「これは……刀！」

刀「分かりました！」

2人『変身！』

エボル「何！」

2人は変身をしたが見た事ない姿のフォームになった！

『平成パワー！ロックオーブン！極アームズ！大大大大將軍！』

『掴み取れる未来！フューチャーズ！ビルド！とれえ！とれるぜえ！』

鎧武「此処からは！」

ビルド「勝利の法則の！」

2人『ステージを見付ける！』

S  
e  
e  
  
y  
o  
u  
  
e  
n  
d  
  
g  
a  
m  
e

## 第8話打ち勝て！エボルトの最後！

鎧武「此処からは！」

ビルド「勝利の法則の！」

2人『ステージを見付ける！』

那奈と刀の諦めない気持ちに奇跡を起こしてくれたのか？けど……エボルトを倒せるかはお前達にかかっているぞ！那奈！刀！頼むぞ！俺は……あのセレナと語り合って見せる！

エボルト「お前達がどんな力を手にしたとしても！俺には勝てないぜ！」

赤いエネルギー弾を2人に撃つがそれを避けてエボルト目掛けて走って行く2人！

ビルド「はあ！」

私はエボルトに蹴りを入れてパンチもしダメージを与えた。

エボルト「く！人間ごときが！」

エボルトの攻撃に鎧武が武器を召喚した！

『ライドブツガー！ドア銃！』

鎧武「喰らいなさい！」

私は銃系の武器を召喚し撃ちまくってエボルトは倒れかけた！

エボルト「ぐ！うが！このお！」

俺を舐めるのもいい加減にして貰うぞ！

他の皆の方では黒いセレナ達に苦戦はしていた！

ドライブ「くっそ！それなら！」

俺はベルトのキーを回してシフトスピードのレバーを3回倒してシフトアップさせた！

『スピー！スピー！スピード！』

スピードを上げて黒い奏さんを攻撃し夏目が追い撃ちをかけた。

ローグ「貴方は母さんであって……母さんじゃない！だからここで！終わらせる！流星行くよ！」

『クラップアップファイニッシュ！』

ドライブ「了解！」

『ヒツサーツ！フルスロットル！スピード！』

奏B「ぐあああああ！」

俺達は黒い奏さんを何とか倒したけど後味、悪すぎだろ。他の皆も頑張れ！

ゴースト「はあ！」

ガンガンセイバーで俺は未来さんに攻撃するが流石は鏡獣神を使う未来さんだ！

未来B「く！早く倒れて！」

やば！あのレーザーは避けないと！

ゴースト「よっ！こいつで！」

『カイガン！ムサシ！決闘！ズバツと！超剣豪！』

俺はムサシ魂になり、ガンガンセイバーを二刀流にして攻撃をする！

ゴースト「はあ！」

ガンガンセイバー二刀流モードで攻撃したが避けられた！

未来B「その程度では倒せないよ！」

くっ！やっぱりレーザーを何とかしないと接近出来ない………なら！力を借りるぜ！エジソン！

『カイガン！エジソン！エレキ！閃き！発明王！ダイカイガン！オメガシユート！』

未来B「きゃあああああ！」

オメガシユートで未来Bを撃って爆発して消えた。

エグゼイド「く！止めるんだ！ぐあ！」

俺は憎しみのセレナの攻撃を防ぐがやっぱり出来ない……

セレナB「そんなので私は止められない！さあ！やってみなさいよ！」

アガートラムの短剣で攻撃するがそれを俺は防ぐ！

エグゼイド「君も同じセレナだ！俺は戦いたくはないんだ！」

セレナB「そんなの本当に世界を救った仮面ライダーなの！それでも仮面ライダーエグゼイドなの！」

！………このセレナはもしかして、憎しみに染まっただけなのか？

エグゼイド「……………「お前もか！」！いつの間に！」

エボルトは黒いセレナの後ろに瞬間移動をして俺は驚きを隠せなかった！

エグゼイド「な！」

ロツソ「セレ……………ナ……………セレナ！」

エボルトは黒いセレナを刺してそのまま倒れるのを俺は変身を解除して受け止めるがエボルトが邪魔をしようとしたが那奈達が食い止めに来てくれた！

ビルド「早く行つて！」

鎧武「ここは私達に任せて下さい！」

2人とも……………ありがとう！

祥平「とどつ……………けえええええ！」

俺は黒いセレナを抱き抱えて転がって岩にぶつかったが俺は自分の事よりセレナに声をかけた！

祥平「おい！しっかりしろ！」

セレナB「なん……………で……………助けた……………の？」

祥平「そんなの関係ない！お前もセレナだ！愛してる奴と同じ姿で死ぬのなんて俺は許さないぞ！」ポロポロ

こんな憎しみの私でもそんな風に思ってくれる何て……………やっばりあなたも変わらないのね……………う！

祥平「大丈夫か！『きやあああああ！』那奈！刀！」

エボル「そいつは失敗作だ！そのままそいつはスクラップだ！」

こいつ！許さない！セレナ達は憎しみから生まれたかもしれない！だからつて！

祥平「このセレナはお前の道具じゃないんだぞ！」

エボル「いやいや？道具だぜ？お前達の娘を消す為のな！はははははは！」

……………もう我慢出来ない！こいつだけは！

翼「今のは許せないぞ！私達の憎しみから産んどいてその言い方があるか！あの私達には命があるのだぞ！それをそんな風に！クリスタル！セレクト！『ウルトラマンギンガ！』纏うは水！紺碧の海！」

『仮面ライダーブルー！アクア！』

ディケイド「そんな勝手な人は絶対に倒す！」

それぞれ黒い装者達からエボルトに目を向ける！

ジオウ「そんなの許せない！」

響B「……………」

やっぱりなんだね、それがエボルトのやり方なんだね……………

祥平「…………絶対にしなせない……………アーンナス、パラド…………やるぞ！皆！」

それぞれが領きエボルトに攻撃をし俺はアクションゲーマーレベル2になってエボルトに向かっていった！

エグゼイド「エボルトおおおお！」

『ジャッキーン！』

上からガシャコンブレイカーを振り下ろしてエボルトを斬ろうとするが抑えられた！

エボル「その程度じゃ！効かないと言っただろ！」「それはどうかない！何！ぐ！」

後ろからドライブとウィザードの攻撃を同時に喰らいエボルトは飛ばされて倒れる。

エボル「ぐ！くそが！」

エボルトは立ち上がりとしたがジョーカーがそのままキックをしてきた！

ジョーカー「はあ！」

エボル「ぐは！」

人間ごときが俺を倒そうとするなんて！認めるかあああああ！

ディケイド「はあ！」

ライドブツガー銃モードでエボルトを連続で撃つ！

エボル「ぐあ！」

この人だけは許せない！絶対に！

ロツソ「翼！」

ブル「ああ！」

2人『フレイムアクア！ハイブリッドパンチ！』

2人の炎と水のオーラを纏った拳でエボルトを殴り吹っ飛んだエボルトの身体は電撃がバチバチしていた。

ジオウ「はあ！」

エボルトにドリルで攻撃するがそれを蹴られてしまうジオウは飛ばされた。

エグゼイド「未来！「がら空きなんだよ！」ぐ！」

こいつのパンチが重い！だけど……負けられない！

エボル「お前の力はこの程度か！」

んな訳ないだろ！那奈達の前で俺はもう！負けられないんだ！

エグゼイド「確かに俺は限界かもしれない！けどな！1人で俺は戦っていないんだ！だから！俺は負ける気がしないんだよ！」

俺はエボルトを吹っ飛ばして更に那奈と刀が同時にキックをエボルトに直撃させた！

2人『はあ！』

エボル「ぐあ！」

鎧武「お父様！」

ビルド「お父さん！」

エグゼイド「決めろ！2人とも！」

2人はお互い見つめて頷きそれぞれジャンプして必殺技を発動させてエボルトにライダーキックをかました！

『レディゴー！フューチャーズフィニッシュ！』

『ソイヤッツ！極スパークキング！』

2人『はあああああ！』

エボル「ぐ！俺がこんな所で！ぐ！う！ぐあああああ！」

ライダーキックがエボルトを貫通し爆発した！

フォーゼ「終わったのか？」

ドライブ「なら良いんだけど」

エボルトは爆発して消滅したのかは解らないがエボルトに生み出されたセレナ達も消えていた。悔しいがあれがあいつらの運命なのかは解らないけど俺はまた何処かで会える気がする。それからエボルトとの戦いから3日が過ぎた。



3日後

那奈「……………」  
「那奈どうしたの？」  
刀、ううん…………ちよつと考え事してた。」

刀「考え事？」

私「あのフューチャーズフルボトルが消えたけどビルドにはやっぱりなれなかった事が解ったけど」

那奈「あれが何で私達の前に現れたのか、考えてたんだよね」

刀「そうなんだ」「そう言えば今更だけど」なに？」

那奈「刀が敬語使わなくなったなと思ったけど何で？」

刀「多分あの時のロックシードかもしれない」

そう、私はエボルトとの戦いで私のはあのロックシードを使って敬語は少しずつ何故かなくなつて言っていた。

刀「それでも私は変わらないよ♪」

刀は笑顔でそう言つてそのまま出掛けた。

那奈「大丈夫だね？」

そして更に1週間がたち紗奈はお父さんとあの時に特訓で使ったガシャットの事を仮面ライダーの先輩達に聞いて何とか仲直りは出来たけど……………私はどうすればビルドの力が戻るのかな？

???「あれが祥平の娘か？」

???「ああ、あいつだ。前に1度この世界に迷い混んだからな」

謎の2人は何処から来たのかは不明そして何者なのか？

See you Next Game

## 第9話天才と筋肉馬鹿そして取り戻す力

エボルトとの戦いが終わってあれから平和に暮らしていたが流星達はまたすぐに旅に出てしまったが俺は止めなかった。あいつらはあいつらの考えがあるのだと…

祥平「んー！あれから平和になったな…：良しちよつと調べるかなつと…：どうしたの祥平？」ん？アーナス、実は那奈がビルドに何で変身出来なくなったのか調べようとしたんだよ。」

確かにそれはどうしてなのかは調べとかないと…：しかしジオウ…：ちよつとあの人聞いて見るか。

那奈の自室

那奈「……………」

私はハザードトリガーを見つめていた。もしかしたらこれを使って変身出来るんじゃないのかを考えただけ…：…怖かった、自分の意識がなくなって目の前の物を破壊するまで止まらない。もしかしたらお父さんやお母さんに攻撃してしまうと考えたら恐怖も感じた。

那奈「コントロール出来る用にフルフルラビットタンクフルボトルでコントロールは出来るけど…：やっぱり怖いな…：…」

暴走して大切な家族に攻撃なんて、私は絶対に耐えられないって言えると思っいたら景色が変わった！え？何処なの!?

???'「よっ！久し振りだな」

那奈「万丈さん…：お久し振りです、えつとそつちの人は？」

万丈さんの後ろからもう1人男性が歩いて来た。

万丈「こいつは仮面ライダービルド。桐生戦兎だ。」

戦兎「始めましてだね？高田那奈さん。」

なんで私を知ってるの？と疑問はしたけどお父さんと関係あるのかな？

那奈「そうですね？なんで知ってるんですか？」

私は戦兎さんにそう答えるのか聞いてみた。

戦兎「万丈から聞いたんだ、彼の娘が俺と同じビルドになっただってな」

そう言う事だったんだ……それより本題に入らないと……  
戦兎「それじゃあ……実験を始めようか？」

実験って何の!?

祥平の部屋

祥平「はい、はい……ありがとうございます！」

そうか！だからなんだな！そうしたら急いでやらないと！「祥平！ん？翼？」

祥平「どうした？」

翼「大変だ！謎のエグゼイドが現れた！」

何だと！そうしたら行くしかないな！俺は翼と一緒に向かったが公園で暴れていた！

公園

祥平「あれもあの時のアナザーライダーなのか？」

それより人を襲うなんて許せない！俺と同じエグゼイドの力を！

『マイティアクションX！』

祥平「大変身！」

『マイティ・マイティアクションX！』

俺はエグゼイドになりガシャコンブレイカーソードモードを手にとって俺はアナザーライダーに攻撃をする！

エグゼイド「あの時のビルドと同じなのか？だけど効いてるのか？なら！」

俺は連続で斬って行くがだんだん異変に気付いた！

翼「祥平！身体が！」

エグゼイド「はあ！ぐ！」

その瞬間俺はエグゼイドから変身が解除され頭から全て消えていってしまった……

翼「祥平！大丈夫か！」

アナザーライダーが消えて翼は祥平に近付き聞くが大丈夫そうだった。

祥平「翼どうしたの？」

翼「いや、何でもないがそれよりあのエグゼイドを倒さないとな」

私はそう言っていたら祥平が聞いて来た。

祥平「えつとき、翼、エグゼイドってなに？」

な！忘れたのか！何故だ！それにあのエグゼイドも消えている！

翼「何故忘れているんだ！」

翼が俺の肩を掴んで揺さぶるが何の事か分からなかった。

祥平「翼、痛いから離して」

翼「それはすまなかった……」

これは非常に不味いな……あのアナザーライダーを倒すには確か小日向にも聞いたが同じ仮面ライダーの力じゃないと倒せないと……小日向の所に行くか。

アーナス「これは非常に不味い……祥平のエグゼイドの力が消えたって………だけど信じてるよ」

そのままアーナスは消滅してしまい、同じくパルドも消滅してしまった。街ではどんどんクリア出来ないゲームが広がりアナザーエグゼイドは暴れている！

アナザーエグゼイド「うがああ！」

人々がどんどん倒れていってしまうがセレナとマリアがオーブとロツソになってアナザーエグゼイドを攻撃するがやはり効いてなかった。

オーブ「これ以上やらせない！」

ロツソ「セレナ！行くわよ！」

2人がアナザーエグゼイドをまだ攻撃をするがやはり効いてなかった！

アナザーエグゼイド「ふっ！」

凄いジャンプ力！あれが本来のエグゼイドなの！

オーブ「きゃあ！」

ロツソ「く！」

あれがアナザーエグゼイドの力なの？けど負けない！

『仮面ライダーオーブエメリウムスラッガー！』

オーブ「治癒創成……光となりて！」

頭のスラッガーを手に持ってアナザーエグゼイドを連続で斬って

倒すが復活をした！

オーブ「嘘！」

ロツソ「それなら！フレイムスファイアシュート！」

炎の光線でアナザーエグゼイドを倒すがやはり復活をした！

オーブ「きりがないよ…」

セレナの体力もそろそろやばいけど私も辛いわね………こんな時に祥平は何を！

ロツソ「いいえ！そんな事で倒れないわよ！クリスタルセレクト！」

『仮面ライダーロツソアクア！』

ロツソ「ループスラッガー！」

このエグゼイドは私達じゃ倒せないのは解るけど……街の人達を守る！

謎の空間で戦兎は何か那奈との実験を終えた。

那奈「これで終わりなん……ですよね？」

戦兎「ああ、後は急いで行け！」

私はそのまま送り返されたけど何かエグゼイドの化物がお母さんとマリアさんと戦ってる！どうなってるの！

那奈「取り敢えず………変身！」

『鋼のムーンサルト！ラビットタンク！イエー！』

特訓の成果見せてやる！勝利の法則を見付けるよ！はあ！

ロツソ「く！倒せない！ぐあー！」

私はロツソから変身が解けてしまいアナザーライダーにやられると思っていたけどドリルクラッシュャーで吹っ飛ばされた！

ビルド「お母さん！マリアさん！大丈夫！」

オーブ「もしかして那奈！」

どうして変身が出来てるの？それにあいつをどうやって倒せば！

ビルド「2人は休んでて！『マックスハザードオン！ラビット！』ビルドアップ！」

『紅のスピーデージャンパー！ラビットラビット！ヤベーイ！ハエーイ！』

私はラビットトラビットフォームになりアナザーライダーに攻撃してダメージはあるけど止めは無理だと思ってるけどやらないといけない時が私にはあるんだよ！

その頃那奈達とは別で未来はジオウビルドアーマーになってゲイツと戦っていた！

ジオウ「く！」

私は多少避けられるけど攻撃の隙がなくて苦戦している。

ゲイツ「どうした？その程度か！」

重い一撃を防げなかった未来は吹っ飛ばされ変身が解けてしまった。

ジオウ「きやあああああ！」

ゲイツ「ふっ…これで終わりだ！小日向未来！」

私は此処で終わっちゃうの？そんなの嫌だよ…祥平、助けて…

祥平「らあ！」

俺は赤い奴に蹴りを入れる！

ゲイツ「く！何者だ！」

ん？こいつは！

祥平「未来に何するんだ！」

ゲイツ「未来の為だ、そいつには死んで貰う為だからな！」

こいつ…絶対に許せない！

祥平「うおおおおお！」

俺はパンチをするが赤い戦士に防御せれて俺は吹っ飛ばされる。

祥平「あ！ぐ！」

未来「祥平！「お前はそのまま消えて貰う！」く！」

未来に…！手を出すんじや！

祥平「ねえええええええ！」

その瞬間、祥平の身体が光輝き始めた！

ゲイツ「この光は「うあああああ！」ぐ！」

こいつ！生身なのにこの威力は！くそ！

祥平「逃げるな！ぐ！………」

ゲイツを撤退して未来はそのまま離された！

未来「けほけほ！祥平！」

私は祥平を家に連れて運ぼうとしたけど地面が揺れた！

未来「何これは！「我が魔王」貴女この間の？」

私の前に現れたのはまたあの女性だった……

???「私はウイズです。それよりこの現象はかなり厄介になります。」  
紫のローブで茶髪の女性はウイズと教えてくれるけど厄介な事つて何なの？

ウイズ「高田祥平、仮面ライダーエグゼイドに過去が改変されてます。」

これは彼の初めて仮面ライダーエグゼイドになった時のお話に戻ります。

『ガシヤット！レッツゲーム！メツチャゲーム！ムツチャゲーム！ワツチャネーム！アイムアカメンライダー！』

エグゼイド「すげえ！変身出来た！よーし！ノーコンティニューでクリアしてやるぜ！」

本来は翼達3人がいなかった。タイムジャッカーのウールは翼に近付いてアナザーエグゼイドにしてしまった。

エグゼイド「よーし！今度は大へ……」

いきなりエグゼイドから変身が解けてしまった。

祥平「あれ？俺は此処で何を？……まあいつか……」

祥平はそのまま何処かに行ってしまう

ウール「これで今日から君が仮面ライダーエグゼイドだ！」

アナザーエグゼイド「これで奏を助けられる！」

と此処までが大きな影響です。果たして我が魔王はこの運命を変えられるのか楽しみですね。そして此処から大変な事件になっていきますからね♪

別の場所での零達は崖の所にいる。

ブレードソウル「く！うわあ！」

謎のレーザー砲で零はフィギュアにされてしまった！

クリス「零！ぐああ！」

レーザーターボ「一体なんなんだよ！うわあ！」

響「貴利斗さん！皆！」

それぞれ台座のフィギュアにされてしまいそのまま消えてしまっ  
た。

See you Next Game



## 第10話謎の事件そしてコピーされた悪の零達！

翼「私は……………」

あの時の男が私に何か身体の中にあのウォッチは何だったの？  
だけど……………奏を…

祥平「翼どうしたの？」

俺は翼が最近調子が悪そうだったから声をかけたのだが手を弾かれた…

翼「……………す！すまない！」

翼はそのまま走って行ってしまった……

祥平「翼……………」  
「祥平どうしたの？」  
未来、実はいま翼が心配で近付いたら手を弾かれたんだ……………  
やっぱりあのライブの時に奏さんが死んだからなのか……………  
デリカシーないな俺は……………」

祥平のせいじゃないのに私や皆も同じだよ……………

未来「心配しないで、私が何とかするから」

祥平「未来……………ありがとう」

そのまま未来は走って行くが俺のポケットにはエグゼイドライドウォッチを取り出して見つめていた。

祥平「やっぱりこれって……………うわあ！」

いきなり謎の時空間に俺は吸い込まれた。  
エグゼイドライドウォッチはそのまま落としてしまった。

刀「あれ？これってエグゼイド……………お父様は？」

私はエグゼイドライドウォッチを手に持つてお父様を探しに出掛けました。

その頃セレナ達の方はアナザーエグゼイドに苦戦してしまっている。

ビルド「やっぱりエグゼイドの力がないと倒せない……………」

ドリルクラッシュャーを手に持ちアナザーエグゼイドに攻撃をしようとしたけど！

オーブ「消えた……………」

私達はそれぞれ変身を解除するけどどうやってアナザーエグゼイ

ドを倒せば。

マリア「1度戻り…！2人とも下がりな！」

謎のレーザー砲がマリアを当ててそのままファイギュアにされた！

セレナ「マリア姉さん！那奈！逃げて！」

私はオーブになり構える！

那奈「お母さん！早く！」…ごめん！」

私はホークガトリングになりそのまま振り向かないで撤退をした！絶対に助けるから待ってて、お母さん！

調「何でなの！切ちゃん！私が何をしたの！」

私は仮面ライダークロースの力でシウルシャガナを仮面ライダーギアにしてビートクロージャーで防ぐ！

切歌？「黙れデス！」

あの切ちゃんは何で私に攻撃してくるのか分からなくて苦戦してしまい…謎のレーザー砲にやられてしまった。

調「ごめん…皆…」

そのままどんどん翼、祥平、刀、那奈、未来以外は全てやられてしまいファイギュアにされてしまっている。

那奈「どうしてこんな事に…それにあの空に浮いていた奴は一体…」

刀「確かに…：：：そう言えばお父様は？」

那奈「え？見てないけど…」

え？では一体何処に？お父様…：：：助けて下さいよ  
???

祥平「いてて…：：：此処は？」

俺はあたりを見渡すが廃墟か？それにここって…

利奈「無事で良かったわ、祥平…」

祥平「姉さん一体此処は何？」

利奈「此処は亜空間の狭間、私達はここでの調査をしていたのよ」

亜空間の狭間？それに私達って？

玲奈「祥平元気にしてた？」

祥平「玲奈さん久しぶり振ります、そう言えば調査って何をしてたの？」  
俺は2人に聞いたがこの後、とんでもない事を言われた。

利奈「零や貴利斗や他の皆が何者かにやられた…」

祥平「え？兄さん達が！」

玲奈「それに行方不明なんだよね」

誘拐なのか？それに行方不明って兄さん達が簡単にやられるなんて考えられない！それに俺は……………これは？

玲奈「それはクラツシユバンダイクーガシャツ、難易度が鬼畜なゲームガシャツを檀黎斗が残した物だよ」

え？ガシャット？ゲーム？何の話し？それに檀黎斗？誰なの？

祥平「う！頭が！ぐ！あああああああ！」

祥平はいきなり頭を抑えてしやがみこんだ！

利奈「祥平！」

玲奈「いきなり何があったの！」

祥平「ぐ！あ！ああ！……………」

え？倒れるの！取り敢えず祥平を運ばないと…

未来の方

未来「零さん達？それに響！」

私は響達に声をかけようとしたけどいきなり攻撃をされた……

未来「え？響何をするの！」

響？「未来を倒す…」

ガングニールでパンチや蹴りをしてくるけど私はジオウライド  
ウオッチを取り出した！

『ジオウ！』

未来「変身！」

『ライダータイム…仮面ライダー…ジオウ！ジカンギレード！ケン  
！』

ジカンギレードケンモードで防ぐけどやっぱり響に攻撃なんて出  
来ない！ぐ！

零？「変身…」

『レベルアップ！黒の剣士キーリトー！』

二刀流で連続でジオウを斬っていく！

ジオウ「2人とも止めて下さい！きや！」

どうしたらいいの？こんなの……………

ジオウ「信じたくないよお！うわああああ！」

『フイニツシユタイム！タイムブレーク！』

そのまま2人にライダーキックを喰らわせて倒したけど……………え？

ジオウ「金の砂？これは一体どういう事なの？」

私はこれを持って帰ろうとしたけど……………ゲイツ

ゲイツ「悪いが死んで貰うぞ！」

『ジカンザツクス！オーノー！』

オノの攻撃をジカンギレードで防ぐけどやっぱり強い！一体どうすれば！

???「はあ！」

2本の探検でゲイツを切り裂く物が現れた。

ゲイツ「ぐ！何者だ！」

???「俺か？俺は仮面ライダークロースだ……」

何？だが仮面ライダークロースは確かもう……………いやそんなのは関係ない！

クロース「悪いがこの子は俺が守らせて貰うぞ？『ボトルバーン！

クロースマグマ！アューレディ？』クロースアップ！」

『極熱筋肉クロースマグマ！アーチチチチ！アチー！』

クロース「力がみなぎる！魂が燃える！俺のマグマはほとばしる！」

いきなり現れたクロースはクロースマグマにフォームチェンジをしてゲイツを殴り飛ばした！

ゲイツ「ぐ！流石に仕方ない…………」

ゲイツはそのまま撤退しクロースマグマから変身を解いたのは誰もが知っていた人物であった。

祥平「大丈夫か？」

変身を解除したのは万丈と同じ服装の祥平だった！

未来「祥平！「ちよつと待ってくれ俺はこの世界の者じゃないん

だ。」え？それじゃあ？」

祥平「この世界ではアリスやアリスがお世話になったよ」

え？それってアリスさんが言っていた祥平が目を覚ましたって事！

祥平「それよりこの世界でもあいつが復活してしまったんだな」

未来「あいつって何者なんですか？」

祥平「……………かつて、俺は紫によって仮面ライダークロース、オーズ、エグゼイドになってそいつを倒したんだがあああの爆発でこの世界に移動したって紫や霊夢に聞いたんだ。」

それってさっきの響と零さんとか関係あるのかな？

祥平「さてと、君は俺の事を知ってそうだったけどもしかしてこの世界でも俺がいるの？」

未来「はいいるんですが、物凄く同じ顔だから見分けるのが大変かも……」

んーそうになると服装はやっぱり万丈さんと同じ服装のままでもいいかもな

祥平「まあ、それだところから急いで移動しよう」

See you Next Game

## 第1話 幻想郷から来た祥平そして集まる戦士達！

祥平異世界「へえ、この世界の俺は未来や他の装者と結婚してるんだな？」

未来「そうなんですけど……」  
「ん？なんか元氣ないけど、どうしたんだ？」

祥平異世界「どうしたの？」

未来「あの時の響達は何者だったのかを考えてました。」

それだとやっぱりそうなるな。この事件の根元はやっぱりあいつだな。

祥平異世界「やっぱりこうなったか。小日向さん！気を付けて！」  
そして目の前に現れたのはセレナとマリアだった！

未来「セレナちゃん！マリアさん！駄目だ！あの2人もだ！」  
それって響と零さんと同じ？」

祥平異世界「そう言う事だね。ここは俺に任せて行け！」

『ウェイクアップ！クロースドラゴン！』

ビルドドライバーにクロースドラゴンをセットし俺は仮面ライダークローズに変身して2人を誘き寄せた。

未来「急がないと！」

私は急いで祥平を探しに向かおうとしたけど、また！

ゲイツ「言った筈だ！お前を倒して未来を変えろと！」

『ジカンザックス！ユーミー！』

ジカンザックスユミモードにして未来を狙い撃つがそれを何とか避けてジクウドライバーを取り出しジオウになる！

ジオウ「貴方に構ってはられない！」

『ジカンギレード！ジュウ！』

ジカンギレードジュウモードでゲイツを撃ちまくるがやはり苦戦はしてしまう！

ジオウ「それなら！」

『ケン！』

ゲイツ「こっちもだ！」

『オーノー!』

両方とも近距離武器に切り替えそのままぶつかり合うが吹っ飛ばす!

ゲイツ「くっ!流石はジオウ……なら!」

『ゴースト!』

ゴーストライドウォッチをジクウドライバーの左から入れてドライバーを回転させた。

『ライダータイム…仮面ライダーゲイツ…アーマータイム!カイガン…ゴースト!』

ゲイツはゴーストアーマーになりパーカーでジオウに攻撃をする!

ジオウ「くっ!」

これは不味い…うっ!

ゲイツ「はあ!」

ゲイツは容赦なくジオウに連続でパンチをする。

ジオウ「私だつて……負けられない………祥平に助けられてばかりにはいかない!」

『ビルド…ライダータイム…仮面ライダージオウ…アーマータイム…ベストマッチ…ビルド!』

ジオウはビルドアーマーになりドリルでゲイツを攻撃する!

ゲイツ「ぐ!さつきより強くなってるだど?ぐあ!」

ゲイツはそのまま吹っ飛ばされゴーストライドウォッチが外れてアーマーは解除された。

『フィニッシュタイム!ビルド!…ボルテックタイムブ레이크!』

色んな数式が出て来てそのままゲイツを挟み技を当ててゲイツはそのまま倒れた。

ジオウ「……勝てたの?」

そのままジオウから変身解除をしゲイツに近付いた。

ゲイツ「なんだ…俺を笑いにでも来たのか?」

未来「ううん、違うよ。実は今の事件を解決するのを手伝って欲しいの」

こいつ何を言ってるんだ？まあ、だがこの事件は厄介だからな。仕方ない。

ゲイツ「まあ良いだろう……ただし！俺は手伝うのはこの事件だけだからな！」

そのままゲイツは何処かに行き、未来も祥平を探しに向かった。一方那奈と刀の方はエグゼイドライドウオッチを持ったまま祥平を探していた。

那奈「見つからない……」

刀「お父様は一体何処に……」

私達が悩んでいたら未来さんが来ていた。

未来「2人とも大丈夫！」

那奈「大丈夫だけど？どうしたんですか？」

私達は未来さんに事情を全て聞いた。未来から来た仮面ライダーゲイツは未来さんを倒す為に来たけど、負けてこの事件の解決を手伝う事になったけどお父さんの行方がわからないままなのが嫌だな。

刀「それにしても響さんや皆さんが謎の敵にやられてその偽者と戦わせるなんて最低ですね……」

那奈「それはどうしようもないけど、問題はアナザーエグゼイドの正体だよ！」

アナザーエグゼイドの正体はまだ私にもわからない状態だったのを考えてたら現れた！

アナザーエグゼイド「奏を……この手で！」

アナザーエグゼイドの攻撃を避けて未来はジクウドライバーを取り出し腰につけジオウライドウオッチを取り出したが考えた。

未来「奏さんって……もしかして翼さん？貴方は翼さんなんですか！」

その攻撃は一瞬止めアナザーエグゼイドから信じられなかったがあの翼だった。

刀「お母様？何ですか？何故そんな物に！」「貴女の事は知らないわ」え？」

その言葉で刀は言葉は出なかった。その事に対して、那奈は睨ん



だ。

那奈「翼さん…なんで自分の娘の名前を！刀を忘れてるの！」

翼「？、よく解らないが貴女達の生命力を貰うわ！」

『エグゼイド…』

翼はアナザーエグゼイドになり3人を襲うが未来はジオウに変身しジカンギレードで防ぐ！

ジオウ「翼さん！何故貴女がこんな事をするんですか！」

ジカンギレードでアナザーエグゼイドを斬るがダメージはほぼない。

アナザーエグゼイド「貴様に何が解ると言うのだ！」

ぐ！この一撃！……だけど負けられない！

那奈「刀！しっかりして！このままでいいの！」

刀「……解つてるけど……お母様があんな「私の考えだと多分あの翼さんは本来の時系列の翼さんかもしれない。」え？」

那奈「何かの拍子にそこから変わっちゃったんだとおもうけど。本来の時系列はお父さんから聞いた。奏さんあの時に死んだと思ってたって翼さんは思ってたけど…仮面ライダーゲム檀黎斗さんが最初は殺したらしい。その時に仮面ライダーエグゼイドの世界に飛んだって。それから奏さんはお父さん達の所に戻って来たらしいって。」

それではあのお母様は……別の時系列の人？

那奈「話して解決したいけど……あれは1度目を覚まさせないとね？」

那奈「……やるしかないね！」

『オレンジ！ロックオン！ソイヤッ！オレンジアームズ！花道オンステージ！』

鎧武「ここからは私達、家族のステージ！」

那奈「なら、私も『ラビットタンク！ベストマッチ！』変身！」

『ラビットタンク！イエー！』

ビルド「家族の物語は終わらせない！勝利の法則は絶対みつけない！」

2人が並んでアナザーエグゼイドに攻撃をした！

ジオウ「2人ともありがとう……」

ビルド「それより未来さん、これを……」

那奈ちゃんが私に何かを出してきたけどこれって！

ジオウ「ライドウオッチ……」

鎧武「私達で別の世界のお母様を」

別の世界の翼さん……うん！やろう！

『エグゼイド……ライダータイム……仮面ライダージオウ……アーマータイム！レベルアップ！エグゼイド！』

ジオウはエグゼイドアーマーにアーマータイムをした。

ウイズ「祝いなさい！全ライダーの力を受け継ぎ、時空を超え、過去と未来をしろしめす時の王者。その名も仮面ライダージオウエグゼイドアーマー。まさにライダーの力を継承した。瞬間です。」

そしてウイズは姿を消しそこに利奈さん達が現れた！

ビルド「お父さん！」

そこにはお父さんもいた！

祥平「皆、大丈夫か？」

私達に心配してるけどお父さんも何か震えてる？

ジオウ「祥平……」「未来。大丈夫だったか？」心配したんだよ？それ」

祥平「話しは後で聞くとよ」

何かいつもの祥平の感じじゃない？それより翼さんを止めないと

！

ジオウ「ノーコンティニューでクリアしてみる！」

私は右手を上に入れてそのまま攻撃を始める！

祥平「もし……未来が可能性があるなら。最高の魔王になれる筈だ。だから俺は信じる………大変身！」

『クラッシュバンディーカー！ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！ジャンプにスピンドスライディング！落ちる！焦げる！クラッシュバンディーカー！』

姿はエグゼイドのままだが色がアンダースーツが茶色になりズボ

ンは青いジーンズに変わり目の色もそのままである。(言っちゃうとクラッシュバンデイクーの姿のままになります。)

エグゼイド「ノーコンティニューでクリアするぜ！」

祥平は何故か仮面ライダーエグゼイドに変身出来た！

ビルド「え？お父さん何で変身出来るの！」

皆は驚いてるが俺は気にしてはないでアナザーエグゼイドにパンチやキックをする！

ジオウ「私もやらないと！」

腕のガシヤコンブレイカーで攻撃をする未来はアナザーエグゼイドに語り合う！

ジオウ「翼さん！そんな事をしてても奏さんは生き返っても喜びません！目を覚まして下さい！」

未来……こいつが翼なら話しが通じる筈だ！

エグゼイド「翼！奏の何があつたのかは今ので解つた！だけど！人を！街の人達をやるなんて！そんな間違ってる！」

く！この2人は何も解つてない！奏が！私のせいで！

ビルド「翼さん！私も大切な人達が死んだら確かに生き返らしたいけど！そんな事しても何も解決になつてない！その人の笑顔が見れなきゃ！自分も幸せにはなりません！」

ドリルクラッシュヤーで連続で斬つて行き、鎧武がそのまま斬りに来た。

鎧武「本当にそれで何が救えるんですか！お母様！」

その言葉でアナザーエグゼイドから翼の姿に戻つた。

翼翼世界「貴方達に何が解るの！大切な仲間が目の前で「俺にも解るよ！」………何で？」

それぞれライダーから変身を解除をしていた。そんな中、祥平が翼翼世界に抱き付いた！

祥平「俺もそんな事があつたから解るよ、だけど仲間が支えてくれたんだ、それに別の世界の翼だとしても1人じゃない………皆や俺が翼を助けるよ。必ずね……」

この優しい笑顔は……ああ、そうだ……何処かで見た事あると思つた

が忘れていた。懐かしい温かさだ。……………祥平なんだな、奏が死んで1週間がたったあの日だ…

別の平行世界、奏が死んでから1週間後の話し

翼「……………」

奏……………私のせいで……………

弦十朗「本当ならこんな事を任せたくはなかったが……………祥平、翼を任せて貰っても大丈夫か？」

弦十朗さんは申し訳なさそうに言うが俺は返事をするがやはり辛いけど、もつと辛いのは翼さんの筈だ。

祥平「はい……………」

翼さん、奏姉さんが失ったのは貴女のせいじゃない……………そのまま翼さんの部屋の前までは来たけど……………良し！

祥平「翼さん失礼しますよ？」「来るなど言った筈だぞ！」でも……………翼さん

俺は部屋のドアを開けたがめっちゃ拒否られるが諦めない！なんとしてもだ！

祥平「翼さん！」

祥平は私の肩を掴み真剣な目をしていた。

祥平「そんなに自分を責めないで下さいよ……………俺はそんなの嫌ですよ？奏姉さんも絶対に思ってますよ。」

そのまま優しく抱き締められた私は涙を流した。そう泣かないと決めた筈が彼の優しさにはやはり敵わなかった。

回想終了

翼異世界「……………そうだったな、ありがとう、この世界の祥平……………祥平「ああ……………」

別の世界の翼からライドウォッチが出て来てそのまま壊れて光に包まれてそのまま消えた。

那奈「あの翼さん、大丈夫だよ？お父さん。」

俺もそう思いたいと思っていた瞬間空に何かが現れた！

祥平「なんだあれは！」

未来「解らない！」

そのままレーザーを撃ってくるがそれを俺達は避けるが多すぎる  
だろ！

刀「これは不味いです！」

このままじゃ！やられる！

??? 「避けなさい！」

『シングル・ツイン！ツインファイニッシュ！』

女性の声がしツインブレイカーでレーザーを跳ね返す！

祥平「貴女はアリスさん！」

グリス「久し振りね？」

グリスになってるのはかつて一緒に戦った人物、アリス・マーガト  
ロイドであった！

グリス「まさかキーラが復活するなんてね！貴方達！変身しなさい  
！」

そう言われ仮面ライダーに変身をした。

エグゼイド「アリスさん、キーラって何者なんですか？」

俺はその疑問を聞くがまた撃ってきた！

エグゼイド「まだ来る！」

そう思ってた時、レーザーを撃ち落とされていた！

??? 「またあいつと戦うとはな！」

エグゼイド「あれは仮面ライダー達！」

そこには何人も並んでいた仮面ライダー達がいた！

グリス「魔理沙！霊夢！皆も油断しないで！」

霊夢「当たり前よ！」

それぞれドライバーを持ち腰に巻き付けて変身する！

ドライブ「ひとつ走り付き合いなさいよ！」

マツハ「追跡！撲滅！いずれも弾幕はパワーだぜ！仮面ライダー

マツハー！」

クロノス「貴方の時は私が支配します！」

ビルド「さあ、実験を始めましょうか？」

バースト「この世界の奴らには手を出させないぞ！」

イーター「お前の全てを食ってやるよ！」

スナイプ「ミッション開始ですね！」

ファイズ「私は嫌われるけど守りたい物があるんだ！」

それぞれ台詞を言いこつちに来た。

エグゼイド「貴方達は別世界の仮面ライダーですよね？」

ドライブ「まあ、アリスの頼み出しね。それにあいつもね？」

え？あいつって誰の事だ？

ビルド「ビルドがもう1人？」

ビルド異世界「私はこれでも医者よ？それよりキーラを捕まえて実験させて貰うわよ♪」

別の世界のビルドの人って何か……怖い、と言うよりこの人達誰なの？

ファイズ「皆さん、来ます！」

俺達の前には貴利斗兄さんやクリスさん達だ！まじかよ！

ドライブ「それじゃあ！キーラをさっさとぶっ倒すわよ！そしてこ

の世界の祥平の仲間を救出よ！」

皆『おお！』

遂に始まった。戦い、果たして祥平達は貴利斗達を救えるのか？

See you Next Game

## 第12話可能性は無限大！そして現れたバーコードライダー

エグゼイド「貴利斗兄さん達までかよ………だけど！やるしかない！」

レーザー「行くぜ？」

『ガシャコンブレイカー！ガシャコンスパロー！』

2人の近距離武器でお互いはぶつかりあう！

クリス「喰らいな！エグゼイド！」

くっ！クリスもかよ！ぐあ！

ジオウ「祥平！「こつちもいるデース！」切歌ちゃん！」

私はジカンギレードで防ぐ！

切歌「貴女達もキーラ様にやられるデス！」

くっ！こんな事で戦いたくない！

ファイズ「はあ！」

切歌を蹴りで吹っ飛ばした！

ジオウ「貴女は？」

ファイズ「ん？私は今泉影狼です。貴女が守りたいと思ってる物は

私にも守らせて貰いますよ！」

左腰の物を取り出し右手につけ、ミッションメモリをそれにつける。

『エクシードチャージ…』

携帯を開いてボタンを押して携帯を閉じて、赤い線が右手に光る。

ファイズ「たああ！」

そのまま切歌の腹にパンチをする！

切歌「ぐ！」

そしてそのまま金の砂になった！

ジオウ「やっぱり零さん達といった皆も……く！」

この攻撃って何！

???「貴女が魔王？」

マゼンダの戦士がジオウに攻撃する！

ジオウ「何者？」

???「ちよつと遊んで上げるよ……」

いきなりまた剣で攻撃してくる！

ビルド「未来さん！わっ！」

いきなりヨーヨーが私達を襲う！

鎧武「くっ！調さんまでも！」

調「はあ！」

また来る！なら！

『イチゴ・ロックオーン！ソイヤツ！イチゴアームズ！シュツシュツとスパーク！』

イチゴクナイを調さんに投げるがそれを弾かれた！

鎧武「これは厄介……「はあ！」誰？」

調さんを蹴りで吹っ飛ばしたのは何者？

バースト「お前がこっちの祥平の娘か？」

鎧武「は！はい！」

そっか、あつちでは助けられたんだ。ここは俺達が助けてやるか！

イーター「雄介！まだ来るぞ！」

なら！禁断の力見せてやるぜ！

バースト「これでも喰らいな！」

『ガツシユーン！ガシヤツト！キメワザ！最終禁断クリティカルエツクス！』

バースト「おらあ！」

調や他の敵を封印の槍が飛ぶがマゼンダの戦士は封印されてなかった！

???「成る程ね、ならこいつね……」

剣のケースから1枚カードを取り出しバツクルに入れる。

『カメンライド……エグゼイド！マイティ・マイティアクシオンX！』

マゼンダの戦士は姿をエグゼイドに変えた！

ビルド「嘘！あれって！」

エグゼイド「姿を変えるライダーって何だよ」



祥平……貴方は私が守るって決めてるの、だから……ごめんね  
??? エグゼイド「行くわよ、魔王！」

剣を持ちジオウに攻撃をしかける！

ジオウ「そんな簡単にはやられない！」

エグゼイド「未来！「祥平は先に行つて！」……解つた。無茶する  
なよ！皆さん！行きましょう！」

ジオウ以外は皆でキーラの所に向かった。

??? エグゼイド「貴女が私に勝てるっても？」

ジオウ「やつて見なきゃ解らないよ！」

『ビルド……アーマータム！ベストマッチ！ビルドー！』

ジオウはビルドアーマーになり??? エグゼイドに攻撃を仕掛けるが  
簡単に避けられてしまう！

ジオウ「早い！「何処を見てるの？」きや！」

ガシャコンブレイカーでジオウの背中にダメージが入る！

??? エグゼイド「今度はこれね」

『カメンライド……アギト！』

また姿を変えた！このままじゃやられる。

??? 『はあああ！』

謎の光線と銃弾が??? アギトに命中した！

??? アギト「くっ！何者！」

キャロル「俺達は」

サンジェルマン「錬金術師だ！そして！」

2人「祥平に救われた者だ！」

くっ！錬金術師がいると厄介に！「なるワケだろ？」な！いつのま  
に！

ジオウ「キャロル！サンジェルマンさん！」

この人達は今まで何処に行つてたのかは考えてたけど、今はそんな  
事！どうでもいい！

キャロル「久しいな、世界の破壊者デイケイド！」

え？デイケイドって何？それに世界の破壊者!?

デイケイドアギト「確かに私は破壊者だ。だけど！あのキーラって

奴を遂に見付けたけど、ジオウの力も必須だった。大事な人を助ける為に！」

大事な人を助ける為に……もしかしてこの人も私達と同じ？

ジオウ「それなら1度、話しを聞かせて！」

私は攻撃を避けて話しを聞こうとしたけど、かなり不味いかも……

デイクイドアギト「話しを聞かせて……ですって！そんな甘さのせいで！あの人が！あの人が！」

『カメンライド……龍騎！アタックライド……ソードベント！』

また姿を変えた！やばいかも

デイクイド龍騎「その程度で魔王の力を持つとは情けないわね！」  
連続でジオウを斬って吹っ飛ばし、反動で変身が解除された。

未来「この……ままじゃ……」

剣を私の首に向けられた。

デイクイド龍騎「これでさようなら……」

未来「ううん……さようならはしないよ、こんな事を止めてくれる人がいる！」

デイクイド龍騎「この女……なら望み通りに死になさい！」

そのまま大きく振り下ろされやられそうになったが

未来「やっぱり来てくれた……」

その戦士はデイクイド龍騎の剣を弾いた！

???「ふ！」

デイクイド龍騎「な！このお！」

『アタックライド……ストライクベント！』

右手にドラゴンの顔が取りつき炎を吐いたがその戦士は未来を抱えて避けた。

未来「ありがとうね、別世界の祥平……」

私は知ってる、あの時の平行世界の祥平だ……

クロス「いきなり飛ばされて来て見たら、あんたがやられそうのを見たからな。それよりあの仮面ライダーってなんだ？」

キャロル「世界の破壊者仮面ライダーデイクイドだ。」

クロス「ん？こいつらは？」

俺は始めて見た気がする。この2人は何者だ？

サンジェルマン「私達は錬金術師であり、祥平と結婚しているわ  
うわあ…やっぱりか、だがこの世界の事だ。何も言わねえわ。

クロス「だったら、デイケイドを倒せば良いんだな？」「待って！」「何  
だ、違うのか？」

未来「あの人も大切な人を救う為に戦ってるの！」

成る程な、だが1度戦闘不能にしないとな！

クロス「1回あいつの変身を解かせるからな！」

『響…ライダータイム…仮面ライダー…クロス！アーマータイム…  
へいき、へっちゃら…響ー！』

手にはロケット形状のガングニールと足にはジャツキが取り付か  
れ首の後ろからはマフラーがあり、肩にはシンフォギアペンダントが  
ついていて、顔にはローマ字でH I B I K Iと書いてある。髪型もそ  
のままだった！

未来「え！響！え！なんでなの！」

クロス「行くぞー！」

俺はデイケイドにパンチをするが流石に防がれるよな！

デイケイド龍騎「ちっ！ならこいつで！」

『カメンライド…ファイズ！』

クロス「姿を変えるのかよ！だからって甘くないぜ？はあ！」

空を飛べるのね、厄介だけどこいつね！

『アタックライド…オートバジン！』

バイクがロボットに変形しクロスにマシンガンで撃ってくる！

クロス「ぐあー！」

俺はそのまま撃ち落とされるがキリトライドウォッチを起動させ  
キリトアーマーに変えた！

『アーマータイム…リンクスタート！キリトー！』

2本の剣を持ちデイケイドファイズに襲い掛かる！

デイケイドファイズ「くっ！」

ファイズエッジで防ごうにも2本じゃ厄介！なら！

クロス「これならどうだ！」

『アタックライド…イリユージョン!』

な!分身するのかよ!だがやられてたまるかよ!

未来「あのままじゃ!」

サンジェルマン「ならいきなさい。」

キャロル「立花響ならこんな所では諦めない筈だろ!」

そうだ:響だったら、諦めない!私だってやれるんだ!

その頃キーラの所に向かう祥平達の方は?

エグゼイド「今度もコピーされた母体なのか?」

俺達の前に現れたのはセレナと奏だったがコピーされた母体なのかをアリスに聞く。

グリス「違うわ、あれは本物よ。倒せば、正気に戻るから気を付けなさい!」

成る程ね、なら俺が目を覚まさせてやる!

エグゼイド「皆は先に行って下さい!」

ビルド「お父さん…:解った!お母さんを助けてよ!」

鎧武「行きましょう!」

俺以外は先に向かうが絶対にやってやる!

エグゼイド「ノーコンティニューでクリアして見せる!行くぞ!はあ!」

俺は奏に蹴りを当てようとしたがガングニールの槍で防がれセレナは仮面ライダーオーブエメリウムスラッガーになっていてスラッガーで攻撃をしてくる!

エグゼイド「ぐあ!」

まともにダメージは喰らったがまだ負けないぜ!

『ガシヤコンブレイカー!ジャックキーン!』

エグゼイド「これならどうだ!」

ガシヤコンブレイカーで斬りにかかるがまた防がれるのかよ!ぐ!

エグゼイド「やべっ!」

奏の攻撃を避けられるがオーブのスラッガーが無数に襲って来て俺は追い込まれてしまう。

エグゼイド「お前らを取り戻すまで！諦めない！絶対に！」

『必殺ブレイク：ワイドスラッグーシヨット！』

オーブはエグゼイド目掛けて光線を撃ってきた！

エグゼイド「こんな所で！」

『ゲキトツロボッツ！ガシヤット！』

エグゼイド「大大大变身！」

そのまま光線で爆発しエグゼイドは倒された。2人は思いその場から離れようとしたがゲキトツロボッツのパンチャーが飛んで来たのを跳ね返した！

『アガツチャ！ぶっ飛ばせ！突撃！ゲキトツパンチャー！ゲキトツロボッツ！』

エグゼイド「まだ終わらないぜ！」

祥平 side end

グリス「着いたわ！」

鎧武「これがキーラ……」

ビルド「でかい……」

真ん中の玉みたいなのが本体なのかな？それに皆の気迫がさつきより違う。

スナイプ異世界「師匠、これは私達で倒せるのでしょうか？」

ビルド異世界「優曇華、あの時は彼と一緒に倒したのよ？ここで来るのを信じて耐えるのよ！」

ですよね、私は当然信じてるんだけど、それまでに耐えられるのかな？

クロノス異世界「鈴仙、もしかしてビビってるの？」

スナイプ異世界「そんな訳ありませんよ！」

その元気があればまだ大丈夫ね。来るわ！

ドライブ「なら！ドア銃！」

マツハ「霊夢行くぜ！」

2人は銃でキーラの出してくる爆弾を撃って弾き他の皆もキーラの出してくる青く染まった零達が攻撃してくる！

ビルド異世界「それなら！」

『ライオン！コミック！アークユーレディ？』

ビルド異世界「ビルドアップ！」

違う世界のビルドはライオンコミックフォームになりどんどん敵を斬っていく！

ビルド異世界「はあ！この程度で私達を倒せると思わない事ね！」

『レディゴー！ボルテックファイニッシュ！イエー！』

そのままコピーの母体は倒し別のフルボトルを取り出した。

『ラビット！消防車！アークユーレディ？』

ビルド異世界「ビルドアップ！」

今度はラビット消防車フォームに変わり水の攻撃で相手の動きを封じる！

ビルド異世界「今よ！」

ビルド「はい！」

鎧武「はあ！」

ドリルクラッシュヤーと無双セイバーで母体のコピー達を貫く！

クロノス異世界「あの子達やるわね……なら、こちらも！」

『キメワザ：クリティカルジャツジメント！』

クロノス異世界「はあ！」

バグヴァイザアーツヴァイを銃モードで爆弾を弾きコピー達を倒して行く！

ファイズ「これで一気にいきますよ！」

『コンプリート！スタートアップ！』

ファイズはアクセルフォームになり一気に凄いスピードでコピー達をなぎ倒して行く！

ファイズ「襲い！」

『レディ…エクシードチャージ…』

何個のポインタで相手はロックオンされ動けなくなりそのままアクセルクリムゾンスマッシュが炸裂！

ファイズ「たああ！」

『3…2…1…タイムアウト…インフォメーション！』

アクセルフォームから元に戻り相手は爆発していったが数が多過

ぎて苦戦をしている。

ビルド「このままで諦めない！」

『ラビットタンクスパークリング！アーユーレディ？』

ビルド「ビルドアップ！」

私はラビットタンクスパークリングフォームになってドリルク  
ラッシャーと4コマ忍法超を持ってキーラに向かって行く！

ビルド「はあ！」

キーラに攻撃しようとするがいきなり現れた線はビルドを襲う！

ビルド「うぐ！今のなに！」

グリス「キーラはとんでもなく強いから気を付けなさい！」

そう言われてもどう判断すれば……

鎧武「那奈！皆さん！あの球体は何ですか！」

あれは不味い！これじゃあ間に合わない！

『レディゴー！ドラゴニックファイニッシュ！イエー！』

クローズ「アリス達に手を出すんじゃない！」

球体を1、2個を壊したのは仮面ライダークローズに変身している  
別の世界の祥平だった！

グリス「祥平！遅いわよ！」

クローズ「悪かったよ……それよりキーラは倒した筈だよな？なの  
に生きていやがった。どうしてだ？」

それは確かに思ったけど考えてなかったわね。

クロノス異世界「それだと一体……それは私から話すわ。」八雲紫、  
どういう事かしら？」

目玉の空間から現れたのは金髪の女性だった。キーラが何故生き  
てるのかを説明しようとするがキーラはまだ攻撃を止めなかった！

紫「これはやばいわね。」

このままじゃ、皆がやられちゃう。お父さん、お母さん、一体どう  
したら良いの？

グリス「那奈危ないわよ！」

え？……これで私、終わっちゃうの？いつもそうだ。私は考えてば  
かりで動けないでいつも周りに迷惑かけたり、助けて貰ってばかりで

私は悔しい…あの時だって変身出来なくてピンチだった時にあのフルボトルが現れて私は変身出来たのは良かったけど、私は何も変われてないんだ。

クローズ「不味い！間に合わない！」

那奈がレーザーに当たる瞬間、那奈を抱き抱えて助けたのはエグゼイドだった！そしてそのままある2人がコピー体達を吹っ飛ばして来た！

2人『はぁー！』

エグゼイド「セレナ！奏！今度はやられないでくれよ！」

お父さん……お母さん……私はまた

セレナ「那奈！大丈夫！」

オーブから変身を解いて那奈を心配するセレナは必死だった。それもそうであった、セレナはキーラに操られていてももしかしたら那奈に攻撃をしたのかと思っただけでもおかしくはない。

エグゼイド「那奈、大丈夫か？」

いつの間にか私はビルドから変身を解除をしていた。

那奈「私は強くないといけない……」

エグゼイド「那奈？」

『ガチョーン！ガツシユーン！』

祥平「強くなりたい事は解るがそれを今は「いつもそうだよ！」え？」

那奈「私は皆を守る力あるのに！それが一歩足りなくて！お父さんやお母さん！皆に助けられて……怖いよ、置いてかれるのは怖いよ！」

那奈はそう言うが解らなくはないんだよな。俺は別にそんな事を考えた事がなかった。ただだな、もつと大事な事がある。

祥平「那奈……お前が言ってる事は間違っではない。」

那奈「それなら！「けど違うぞ？」じゃあなんなの？」

セレナ「祥平！来るよ！」

たく、邪魔をしやがって！なら見せてやるか！力だけじゃないって証明してやるよ！



『マイティアクションX!』

祥平「那奈、力だけが全てではないんだ。誰にもある気持ちだ。それは諦めない気持ちだ!人間には無限な可能性を秘めてるのを俺は知ってる!大変身!」

『ガシャット!ガチャーン!レベルアップ!マイティジャンプ!マイティキック!マイティ・マイティアクションX!ガシャコンブレイカー!』

エグゼイド「ノーコンティニューでクリアして見せる!はあ!」

俺はキララに向かって走って行くがやっぱり光のレーザーが邪魔をするんだな!

エグゼイド「ならこいつだ!」

『高速化!高速化!』

エグゼイド「おらあ!」

凄い速さでキララにガシャコンブレイカーハンマーモードで2回当てる!

クローズ「始めてダメージを与えたのか!流石は別の世界の俺だな!負けてられるかよ!」

『ヒッパレー!スマッシュヒット!』

ビートクロウザーのレバーを1回引つ張りそのままコピー体達を倒す!

クローズ「これでもか!」

相変わらずね、だけど私はそこが好きになったもんね……あれをやるしかないわね!

『ボトルキーン!グリスブリザード!アークユーレディ?』

スクラッシュドライバーを外しビルドドライバーに変えてブリザードナツクルを入れた!

グリス「……出来てるわ」

『凍結心火!グリスブリザード!ガキガキガキキーン!』

クローズ「アリス!それは大丈夫なのか!」

グリスブリザード「当たり前でしょ?私は祥平の力になりたくて成長したのよ?」

ぐっ！言い返せないが全くその通りだな……なら！

『ポトルバーン！クローズマグマ！アークユーレディ？「ドラゴンアツプ！」獄熱筋肉！クローズマグマ！アチャチャチャチャチャアチャアチャアチャー！』

クローズマグマ「魂が燃える…力が溢れる…俺のマグマは迸る！」  
グリスブリザード「心火を燃やして…魂を燃やす！」

2人はコピー体達をなぎ倒して行き、そのまま皆を一気に助け母体にされていた。零達も助けた。

ブレイブ「あれ？此処は？」

レーザーターボ「おい！零！あいつは！」

あいつは時空間から現れた奴！祥平達が頑張ってるんだ！

ブレードソウル「俺達もやるぞ！」

母体から解放された、零達はそれぞれキーラに向かって行く！

挿入歌 (Be The Oen)

那奈「……皆は諦めてない。なのに私は……そうだ、忘れてた……私は……私は！高田祥平とセレナ・カデンツアヴナ・イヴの娘！

高田那奈！そして仮面ライダービルドだ！」

『ラビット！タンク！ベストマッチ……』

忘れていた。どんなに強敵でも立ち上がる、それが仮面ライダーだ！私は諦めない、お父さん………ありがとう……

『アークユーレディ？』

那奈「……変身！」

『鋼のムーンサルト！ラビットタンク！イエー！』

那奈……立ち上がったな……もう大丈夫だな。さあ、やれ！

ビルド「勝利の法則を見付けた！」

See you Next Game

### 第13話 キーラの最後！そして開いた闇の暴走！

那奈：お前なら立ち上がれると信じてたぞ、さあ！やるか！  
ビルド「行くよ！」

私はドリルクラッシュャーでキーラに攻撃を仕掛けるのけどやっぱり爆弾がある！

鎧武「はあ！」

鎧武が無双セイバーのレバーを引つ張り爆弾を壊し、ビルドの隣に来る。

ビルド「刀……」

鎧武「那奈……やろう！」

ビルド「うん！」

2人はそれぞれの武器を持ち構える。一方、デイケイドとクロスとのぶつかりあいが終わってはなかった！

クロス「やるな！」

デイケイドファイズ「そっちもね！」

1度、後ろに下がった2人は空を見た。

クロス「なんだよ、あれ！」

デイケイドファイズ「私にも解る訳ないでしょ！」

あれってキーラ！祥平達はまだ戦ってるんだ。この人を絶対に話し合うって決めたんだもん！え？ライドウオッチ？

『フォーゼ！鎧武！』

ブランクライドウオッチが未来の前に現れ、フォーゼと鎧武に変わりそれを持つ。

デイケイドファイズ「何!?ライドウオッチが2つとも現れたっての……！」

未来「……けど、これを使ったら……」「やるんだ！」え？」

クロス「お前が守りたいと思うなら！きつとウオッチも答えてくれる筈だ！」

祥平「……うん、ありがとう！」

未来「変身！」

『ライダータイム…仮面ライダー…ジオウ…アーマータイム…3！  
2！1！フォーゼー！』

未来は仮面ライダーフォーゼの力を宿したフォーゼライドウォッチで仮面ライダージオウフォーゼアーマーに変身完了した！

ウイズ「祝いなさい！全ライダーの力を受け継ぎ、時空を超え、過去と未来をしろしめす時の王者。その名も仮面ライダージオウフォーゼアーマー。まさにライダーの力を継承した。瞬間です。」

プレラーティ「誰に言っているワケだ？」

む？これはちよつといたいですね？だけどこれが我が魔王の継承なのでやめません。

ジオウ「行くよ！」

デイケイドファイズ「フォーゼにはこれが一番ね？」

『カメンライド…ウイザード！プリーズ…ヒーヒー！ヒーヒーヒー！』

クロス「またか！な！なんだこれ！」

いきなり俺は鎖に縛られて動けなかった！くそ！動けねえ！

デイケイドウイザード「はあ！」

ジオウ「もう止めようよ！こんな事しても貴女の大切な人は喜ばないよ！「うるさい！」ぐ！」

デイケイドウイザード「何が解るの！私の目の前で姿が消えたのよ！貴女達に私の気持ちが解るって言うの！」

『アタックライド…ビッグー！』

巨大な手だと！これはやばいぞ！あいつも何で避けないんだ！

ジオウ「貴女の怒りと悲しみを全て受け止める！」

デイケイドウイザード「ふざけるなあー！！」

ウイザーソードガンソードモードを持ちジオウを攻撃するが怯まずに立っている！

クロス「止めろ！お前死ぬぞ！「それでもこの子の怒りや悲しみはほっとけない！」く！この！外れろよ！」

くそ！外れねえ！どうすれば良いんだよ！

ジオウ「う！貴女の思う事は解るよ！だけど！「黙りなさいよ！」う

ぐ！」

不味いわね、このままじゃ小日向未来が！

キャロル「サンジェルマン待て」

サンジェルマン「何故止める？」「小日向未来を信じるんだ。祥平が任せたんだ。」……そうね、信じましょう。」

2人は黙ってこの戦いには手を出さないで見守る事にした。

ジオウ「う！……ま！まだ！」

こいつ……うざい！これなら！どうだ！

『ファイナルアタックライド……ウイウイウイウイザード！』

足の下に魔方陣が浮き上がりそのままストライクウイザードをジオウに当てに入ろうとしたがジオウは両手を開いてそれを受け止めた！

デイケイドウイザード「な！」

ジオウ「私は貴女と……話し合えるって信じてる！……だから言っただけで、ね？」

なんで倒れないの？ふざけないでよ！こんなじゃ！私！私は……ああああああああああ！

クロス「……おっと、鎖が解けた……」

こいつも大切な人、嫌、愛してた奴をどうにか助けたいと思ってこんな風に変わっちゃまったんだ……

クロス「それよりあれをどうにかしないと……」

と言いたいがこのデイケイドになっていた奴はそのままジオウの子に任せて俺は強制転送された。

未来「もう大丈夫？」

???'「ごめんなさいね、迷惑だったでしょ？」

そしてキーラとの戦ってる組は！

ビルド「これでも喰らえ！」

『レディゴー！ボルテックブレイク！』

ドリルクラッシュャーにゴリラフルボトルを入れてキーラに喰らわせるけど流石に硬い！

ドライブ「ならこれよ！」

『ドライブ！タイプ！デッドヒート！』

そのままデッドヒートドライブになりキーラをパンチするけどやっぱり簡単じゃないわね！なら！

ドライブ「魔理沙！同時に行くわよ！」

マツハ「オツケー！行くぜ！」

2人『はぁー！』

2人のパンチするがキーラの羽がいきなり上から下に突き刺す用に攻撃してきた！

クローズマグマ「させるか！」

『レディゴー！ボルケニックアタック！アチャー！』

俺はキーラの羽のボルケニックアタックを咬まして吹っ飛ばすがもう一本を喰らってしまった！

グリスブリザード「祥平！」

クロノス異世界「よくも！」

2人『はぁー！』

『クリティカルサクリファイス！グレイシャルフィニッシュ！』

2人の技でキーラに攻撃してキーラは叫び攻撃が更に激しくなっていく！

エグゼイド「皆！気を付けろ！」

『鋼鉄化！』

俺はセレナ達を鋼鉄化して守るが耐えられなかった！

エグゼイド「ぐぁ！」

調「祥平さん！」

セレナ「祥平！」

奏「この野郎！良くもやりやがったな！」

このままじゃ不味いなだけど！……この程度で終わる俺じゃねえんだよ！

エグゼイド「皆！……諦めるな！最後の最後まで諦めるな！俺は死なない！」

ビルド異世界「やっぱり違う世界でも、彼は彼なのね。優曇華まだ行けるわよね？」

スナイプ異世界「当たり前ですよ！師匠！」

それぞれの諦めない気持ちがあんどん一つになっていき、立ち上がっていく！

ドライブ「魔理沙！まだやれるわよね！」

マツハ「当たり前だぜ！」「デッドヒートよ！」「サンキュー！」

『シグナルバイクシフトカー！ライダーデッドヒート！』

『ファイヤー・オールエンジン！ドライブ！タイプ！トライドローン！』

2人は最終フォームになりその他の皆もパワーアップフォームや最終フォームになっていく！

ブレードソウル「俺達の世界は絶対に守って見せる！」

レーザーターボ「どんな状況でもな！」

その思いで人間は成長するんだ！キーラ！お前はこれで終わらせてやる！

ビルド「例え、どんなに強敵でも！」

鎧武「私達は立ち上がる！それが仮面ライダーだから！」

私は1度心が折れたけど……もう迷わない！何度も壊されそうになるなら！

ビルド「私がこの手でビルドする！」

俺だって！守る物がある限り！何度でも立ち上がってやるよ！ここいつら家族は！

エグゼイド「俺が守ってみせる!!」

セレナ「私達！皆の可能性は！」

皆『無限大だ！』

そしてキーラはエネルギー弾を放つがそれを打ち緒としたのはランサーとトライテールがいた！

ランサー「今の内にやって！」

トライテール「早くして下さい！」

利香姉さん、榛名姉さん、ありがとう！

エグゼイド「今度は青い兄さん達か！」

オーズ「ならやるわよ？」

姉さん？

ブレードソウル「だな、久し振りの3人姉弟プレイでもやるか！」  
兄さん………だな！たまにはやるか！

エグゼイド「那奈達は進め！此処は任せろ！兄さん！姉さん！ノー  
コンティニューで！」

3人『クリアしてやる！』

お父さん、頑張つて！そのまま私達はキーラに攻撃を始める！

バースト「これでもくらいな！」

バーストは槍でキーラに当て、イーターはそのままジャンプしキーラにパンチして更に！

『アルティメットマッチブレイク！』

ビルド異世界「はあ！」

別の世界のビルドがフルボトルバスター大検モードでキーラを上から振り下ろし斬る！

スナイプ異世界「これでならー！」

『ガチョーン！キメワザ！ガチャーン！バンバンクリティカルファイヤー！』

スナイプ異世界「全弾発射！」

何発か外れたけどキーラにダメージが入ってる！後、少し！

ビルド「これが私達！皆の力だ！ビルドアップ！」

『紅のスピーディージャンパー！ラビットラビット！ヤベー！ハ  
エーイ！レディゴー！ラビットラビットフィニッシュ！』

鎧武「これで最後！」

『カチドキスパークキング！』

『ガツシユーン！ガシャット！キメワザ！タドル！爆走クリティカル  
ストライク！』

『スキヤニングチャージ！』

『ヒツサーツ！フルスロットル！トライドロロン！』

『ヒツサツ！バーストフルスロットル！デッドヒート！』

7人『はあー！』

そのまま7人のライダーキックがキーラに大ダメージを与えて倒



したと誰もが思っていた。

エグゼイド「あれ？終わったのか？」

ブレードソウル「これで長い戦いは終わったな。」

オーズ「ん？ねえ、空にヒビが入ってない？」

ん？なんだあのヒビは？と思つた次の瞬間！

クローズマグマ「なんだあれ！目玉なのか！」

グリスブリザード「分からないけど気を付けて！」

そう思っていたら出て来てしまつた。キーラを倒したと思つてたが空間からキーラとは真逆な奴が現れた！

ビルド「何あれ……」

鎧武「気味が悪い……」

その姿はツタ見たいで中心に目玉があり、空も同時に暗くなつていった。

エグゼイド「これってどうなってるんだ？」

と考へてたのだがあつちには確か那奈達がいる筈だ！行こう！

ブレードソウル「おい祥平！姉さん行くぞ！」

オーズ「分かつてる！」

3人はその場所に走つて向かつた。

那奈達の方

ビルド「これって一体……うわあ！」

鎧武「那奈！きやつ！」

2人は何かの穴に吸い込まれてしまう！

クローズマグマ「くそ！アリス達は待機しててくれ！俺が行つてくる！はあ！」

グリスブリザード「分かつたわ！」

祥平はそのまま2人を追い掛けて行き私達は1度此処から離れる事にした。

穴の中

ビルド「これってどうなるの？」

鎧武「分からないけど、この状況はやばい！」

だよ、本当になんなのこれ？うわあ！

ビルド「痛い……」「那奈、此処は?」「え?」

私達が見たのは暗い空に変な道が3つあるのを確認したけど穴から更に出て来たのは別世界のお父さんだった。

クローズマグマ「よつと!……2人とも大丈夫か?」

そう言いながら変身を解除をする。

ビルド「はい何とか」

鎧武「この世界は一体何なんでしょうか?」

2人も変身を解除する。

祥平異世界「取り敢えず、この世界を調べよう。」

私達はこの世界に巻き込まれたけど別の世界のお父さんとこの暗い世界を調べに1ヶ所目の所に行く。

See you Next Game

## 第14話闇の世界の母体!?!そして最悪な敵の復活!

あれから那奈達があの空間に吸い込まれてから数時間が立っていた。

祥平「あの目玉が現れてか……………」

アリス「随分落ち着いているわね?」

アリスさん…………

祥平「まあ、正直…………不安なものもありますよ。那奈と刀があんな奴に吸い込まれて、落ち着かせてるつもりですがやっぱり心配もしてます。」

雄介「大丈夫だろ?お前の娘達なら乗り越えられるだろ?」

そうだけど…………アリスさん?

アリスさんは俺の手を握り締めて言ってくれた。

アリス「信じなさい、貴方の娘達と私達の世界の祥平を。」

祥平「ありがとうございます。」

そうだ、いつまでも俺がうじうじ心配しても何も変わらないだろ?

信じて待つとするが…………

???「……………」

祥平「未来が言ってた、君が仮面ライダーディケイド?」

???「私は高田奈由(たかだなゆ)です。」

祥平「高田って事はもしかして別の俺がいるのかな?」

奈由「あ…あ!…………あああああ!」

いきなり俺に抱き付き泣き始めた。待ってどうしたんだ!那奈達も無事だと良いんだが…………大丈夫だよな?

闇の世界

祥平異世界「ふう、コピー達がやっぱり邪魔をしてくると厄介だな」  
この人は1人でコピー達を倒して行くけど、私達を戦わせないようになっているけど

那奈「やっぱり私達も一緒に戦わせ「駄目だ」でも!」

祥平異世界「君達は別の俺の娘だ。今、戦って怪我でもしたら困る。」

やっぱりお父様とは別、だけど！私達は！

刀「私達はそれでも戦います！例え！どんな困難でも！」

祥平異世界「そうか………！避ける！」

いきなりの銃弾が何発か売って来た！

???「お前達は光の世界から来たんだな？」

祥平異世界「ならなんだ？」

腰に巻き付けたのはロストドライバーをつけた！

???「排除する……変身……」

『ファング！』

な！ファングの単独変身だと！なら！

祥平異世界「変身！」

『ウエイクアップバーニング！ゲット！クローズドラゴン！イエー！』

クローズ「行くぞ！」

???「ふ！来い！」

2人のパンチがぶつかりあいが始まりそのまま蹴りもする！

クローズ「くっ！強い！だけど負ける訳には行かねえ！」

???「遅い！」

『ショルダーファング！』

2回ファングのレバーを叩き、肩から刃を出してそのままクローズに投げる！

クローズ「ぐあー！」

右足が……くっ！まだ来るのかよ！

クローズ「ぐ！この程度で！」

こいつ耐えるとは驚きだ。今度はこれだな。

『アームファング！』

???「はあ！」

右手の刃で連続でクローズを追い詰める！

???「終わりだ「させない！」！邪魔をするな！」

那奈「これ以上好きにはさせない！『マックスハザードオン！ラビット！』変身！」

『紅のスピーデージャンパー！ラビット！ラビット！ヤベー！ハ  
エーイー！』

刀「別の世界のお父様はやらせません！『カチドキ！』変身！」

『ソイヤッ！カチドキアームズ！いぎー！出陣！えいえいおー！』

2人が武器で攻撃しようとしたが避けられた！

???「面白いがまだまだ！」

『フアングマキシマムドライブ！』

大きくジャンプし右足から刃を出してそのまま回転キックをかま  
す！

2人『きゃー！』

その勢いで変身解除され気絶をした。そして男も変身を解除した。

???「また楽しみにしている」

ぐ！逃げられた！それよりこの2人を！

光の世界

祥平「大分落ち着いたかな？」

奈由「うん……」

それよりこの奈由って子はどうしてディケイドに？それにまた別  
の世界の俺が関わってるのか。一体、何人いるんだよ……

未来「奈由さんはその世界の祥平どんな人だったのか教えてくれる  
？」

奈由「え？でも私「私も気になる」えつと……」

おいおい、待ってくれよ調までもか。

奈由「分かったけど本人がいると恥ずかしいから……」

ああ、これはどっかに行きますかな。

奈由「……祥平はこの世界とは少し性格は違うかな？」

セレナ「それはどんな感じなんですか？」

えつとこの人は確かセレナさんだっけ？何かこの世界は凄いかも  
ね。

奈由「えつと、性格はまあ同じだけど……まあ、たまに甘えるかな  
皆『ええー！』」

まあ、それは驚くよな、そんなの聞いて普通の反応なんだが大丈夫

なのか？それより別世界の祥平は無事だと良いんだが……

闇の世界

祥平異世界「よし、これで大丈夫か？」

那奈「ありがとうございます。」

刀「この恩は必ず」

私達は謎の仮面ライダーにやられて、別の世界のお父さんに治療をしてもらい何とか動けるけどこれからどうしよう。

祥平異世界「此処からは俺、1人でやっぱり何とかするから2人は「駄目！」だが……あーもう！分かったよ……好きにしな、だけど今は休め」

て、言つてたら母体だけど、こいつって鎧武だけどオレンジの色が青色？てかコピー鎧武か？

祥平異世界「ちっ！変身！」

『ゲットクローズドラゴン！イアー！ビートクローザー！』

クローズ「はあ！」

俺はビートクローザーで鎧武の母体を攻撃し何とか倒せそうだがやっぱり強いな！

クローズ「だったら！」

ビルドドライバースクラッシュドライバースに取り替える！

『ドラゴンゼリー！潰れる！流れる！溢れ出る！ドラゴンインクローズチャージ！ぶらあー！』

クローズチャージ「力がみなぎる！はあ！」

『ヒッパレー！スマッシュヒット！』

嘘だろ！こんなに硬いのかよ！なら！

『オレンジオーレ！』

そのまま無双セイバーと大橙丸で斬ってくるが俺は耐える！

クローズチャージ「ぐ！負けるかよ！」

『スクラップブレイク！』

そのまま鎧武を倒したがまだ来るのかよ！な！あれって！

光の世界

祥平「あれって！」

セレナ「ありえない！」

アリス「完全に倒した筈なのに！」

俺達は信じられなかった、その正体は星の夢！

See you Next Game

## 第15話止まらない崩壊!? 敵の総攻撃!

俺達はキーラが現れた場所に星の夢が現れた事に驚きその場所に向かっていた!

祥平「何で星の夢が…急がないと!」

俺は急いで夢の星の所に走って向かう!

セレナ「ついた……」

零「まさか、復活なんてするとはな」

雄介「やるぞ! 皆!」

皆『変身!』

それぞれ仮面ライダーになり星の夢に向かって行くがまだ何かが現れた!

オーブ「嘘! あれって!」

切歌「カイザーGも復活、デスカ!」

調「流星にやばい」

カイザーG「久しいな、貴様達よ、変身!」

カイザーGは仮面ライダーバグゼイドになりやがった! これは流星にやばいな。

バグゼイド「覚悟は出来てるか?」

オーブ「負けない!」

星の夢とカイザーGを同時に相手するなんてどうしたらいいの?

ジオウ「それならカイザーGは任せて!」

『鎧武……アーマータイム……ソイヤツ! ガーイームー!』

ウイズ「祝いなさい! 全ライダーの力を受け継ぎ、時空を超え、過去と未来をしろしめす時の王者。その名も仮面ライダージオウ鎧武アーマー。まさにライダーの力を継承した。瞬間です。」

また変な所から現れたなあ、けどやろう!

ジオウ「此処からは私のステージだよ! 「未来! 何それ!」 響……うん、ちよつとね。」

そう言えば響は知らないもんね、それは仕方ないかな?

響「未来のそれってもしかしてジオウなの?」



ジオウ「うん、けど私は悪い魔王になるつもりはないよ？響や皆の陽だまり、だけど、その陽だまりを壊されるのが嫌なの。だから守る為にこの力を使ってる。」

そうなんだ、未来がそんな風に考えてるなら、私はその助けをしないとね！

響「未来！行くよ！」

響は構えて、ジオウの隣に立つ。

ジオウ「うん！」

2人はバグゼイドに向くが流石、かつての敵だった為、威圧感がある！

祥平「はあ！」

バグゼイドにパンチをしたのは祥平だった！

バグゼイド「ぐ！貴様は！」

祥平「久し振りだなカイザーG、お前どうやって生き返った？」

その疑問を質問する。

バグゼイド「教えるとも思ったか？」

だよな、ならやるしかないな！変身！

『レベルアップ！マイティアアクションX！』

エグゼイド「ノーコンティニューでクリアするぜ！未来！響！同時に行くぞ！『ガシャコンブレイカー！』はあ！」

俺はガシャコンブレイカーを持って2人と同時に走って行く！

響「はい！でやー！」

ジオウ「分かった！はあー！」

3人は同時にバグゼイドに攻撃しダメージを与えたと思っていたら

エグゼイド「ぐあー！」

ジオウ「きやー！」

響「うぐー！」

3人に謎のダメージが入っていた！

ブレードソウル「くそ！星の夢がいるからバグゼイドの攻略が出来ねえ！ぐあー！」

レーザーターボ「これはやばいぞ！ぐ！」

2人は星の夢の隕石攻撃でダメージを喰らう！

ランサー「零！」

クリス「貴利斗！」

このままじゃ皆が……お願い、私達に力を！皆を助ける力を！お願い！

エグゼイド「これなら！」

ガシャコンブレイカーソードモードからハンマーモードに変えてバグゼイドに攻撃するがやはり弾かれた！

エグゼイド「ぐ！」

そのままパンチで吹っ飛ばされて倒れる。

バグゼイド「これでおしまいだ！」

『ガツシユーン！ガシャット！キメワザ！』

まだ…だ！まだ！終わってねえ！何がなんでも諦めちゃいけないんだ！だから！

エグゼイド「人類の運命は俺達が変わえて見せる！」

バグゼイド「立ち上がった所で貴様達では倒せないぞ！くたばれ！」

『カイザークリティカルデリート！』

赤黒いノイズの玉がエグゼイド目掛けて撃つ！

エグゼイド「俺は負けない！愛と平和の為に立ち上がる！」

『ガシャコンキースラッシャー！』

エグゼイドはそのままガシャコンキースラッシャーを立てに振り下ろして、カイザークリティカルデリートを弾き落としそのまま走って行く！

エグゼイド「響！未来！同時に行くぞ！」

ジオウ「うん！」

『ビルド！アーマータイム！ベストマッチ！ビルド！』

響「はい！イグナイトモジュール抜剣！」

2人はイグナイトとビルドアーマーになりそのままバグゼイドに向かって行く！

ジオウ「はあ！」

ドリルでバグゼイドに貫くように攻撃する。

バグゼイド「ぐ！」「がら空きです！」「しまった！」

その瞬間、響の拳がバグゼイドに当てる！

響「でやあああああ！」

右手のガングニールのパンチャーの形を変えてバグゼイドの腹にぶん殴り吹っ飛ばす！

バグゼイド「ぐあああああ！」

チャンスだ！このまま！

エグゼイド「これで！」

2人『終わりにする！「します！」』

『ガツシューーン！ガシャット！キメワザ！』

『フィニッシュタイム！ビルド！』

3人は体勢を取り大きくジャンプをする！

『マイテイクリテイカルストライク！』

『ボルテックタイムブ레이크！』

響「どおりやあああああ！」

エグゼイドはキックでビルドは方程式に乗ってそのまま貫き、響はガングニールのパンチャーをロケット形状にして右足で蹴りを入れる用に決める！

バグゼイド「ぐ！流石だな、だが！これで終わったと思うな……よ！ぐあああああ！」

『Game Clear！』

響「どういう事なんだろう。」

エグゼイド「分からない、てか、星の夢を倒しに行くぞ！」

俺達はそのまま兄さん達の方に向かう。だがこれで大丈夫なのか？那奈、刀、無事でいてくれよ！

闇の世界

祥平異世界「まだ怪我が治ってないから無理に行く訳には行かないし、それにさっきのライダーはフアングの単独変身をするとは一体なんなんだ？」

あいつはかなり強いな、だがこの世界のボス的な奴を倒さないと多分出れないかもな。

祥平異世界「!、この揺れはなんだ!」

地面から現れたのは目玉の化物だった!

那奈「何あれ……」

刀「もしかしてあれが……」

俺達は絶望しそうになるがやらなきゃいけないんだ!

祥平異世界「2人とも……やるぞ!」

2人『はい!』

『オレンジ!』

『ラビット!タンク!ベストマッチ!』

『ウエイクアップ!クローズドラゴン!』

3人『変身!』

『オレンジアームズ!花道・オンステージ!』

『鋼のムーンサルト!ラビットタンク!イエー!』

『ウエイクアップバーニング!ゲット!クローズドラゴン!イエー

アー!』

俺達はそれぞれの武器を持ち、この世界のラスボス的な奴の所に向かう!こいつを倒せば……全て終わる筈!

See you Next Game

## 第16話VSダーズ！そして最後の決戦！

闇の世界

ゆっくり空から現れる目玉の化物は気味が悪かった。だがこいつを倒せばきつと！

鎧武「来ます！」

いきなり回りに丸い球体が現れる！

クローズ「あれはキーラと同じ物だ！避ける！」

俺達はジャンプをするが今度は避けた空中の位置に謎の空間の裂け目に入り遅くなった。

ビルド「遅くなってる！これじゃあ！」

裂け目のせいで自由に動けない！どうすれば！

クローズ「くそ！」

駄目だと思っただがいきなり裂け目が消えた！

鎧武「いきなり消えた？何故？」

疑問を思うが今は言つてられない！

クローズ「上から来るぞ！」

そいつ自信の一部が此方の上から攻撃をしてくるがそれを上手く避ける！これじゃあ、攻撃が出来ない！

クローズ「だったら！」

俺はスクラッシュドライバーに変えてスクラッシュゼリーを取り出す！

『ドラゴンゼリー！潰れる！流れる！溢れ出る！ドラゴンインクローズチャージ！ブラアアア！』

クローズチャージになり、ビートクローザーとツインブレイカービームモードを持つ！

クローズチャージ「今の俺は負ける訳にはいかねえ！はあ！」

ジャンプして目玉の化物に近付き攻撃を仕掛ける！

ビルド「ダメージは入ってる！それなら！」

『マックスハザードオン！ラビット！』

私はハザードトリガーとラビットタンクフルフルボトルを取り出

して直ぐに使った！

ビルド「ビルドアップ！」

『紅のスピーディージャンパー！ラビットラビット！ヤベー！ハエーイ！』

ラビットラビットフォームになり、フルボトルバスター大剣モードを持って私も目玉の化物にジャンプしながら攻撃をする！

ビルド「けど！厄介過ぎる！く！」

爆発に当たって少し飛ぶけどまだ大丈夫！

鎧武「く！それなら！」

『ミックス！オレンジアームズ！花道・オンステージ！ジンバーレモン！ハハアー！』

ソニックアローを持ち撃つが流石に簡単にはいきませんよね！もう！

『ロックオン！レモンエナジー！』

レモンエナジーロックシードを取り外しソニックアローに着けて撃つが少しダメージが入った！

クローズチャージ「それなら！」

スクラッシュユードライバーのレバー押してジャンプをする！

『スクラップブレイク！』

クローズチャージ「おらあああ！」

そのままライダーキックを喰らわせるが弾かれる！

ビルド「はあ！」

『フルフルマッチデース！フルフルマッチブレイク！』

フルフルボトルをフルボトルバスターに入れて目玉にダメージがようやく入ったが祥平に近付いて無事か確める。

ビルド「大丈夫ですか！」

クローズチャージ「何とかな、それより今度は3人同時に技を当てるぞ！」

やっぱりお父さんと同じだ。諦めない気持ちで誰かの為に戦う、そんなお父さんが私は好きなんだね。

鎧武「はい！」

『カチドキアームズ！いざ！出陣！えいえいおー！』

アームズチェンジし火縄橙大DJ銃を持ってカチドキロックシードを着ける！

『ロックオン！悪霊退散！』

『シングル！ツイン！ツインフィンニッシュ！』

『ラビット！タカ！ハリネズミ！オクトパス！アルティメットマッチデース！アルティメットマッチブレイク！』

3人『はあああ！』

3人の技は目玉の化物に当たり先程よりダメージがありふらふら状態になっていた！

クローズチャージ「止めだ！」

『スクラップブレイク！』

大きくジャンプしライダーキックをかまし、何とか倒した！

ビルド「これでこの世界から出れるの？」

と、私は思っていたのだがさっきの化物は上に飛んでいった！私達もそれを追い掛けて行く！

外の世界

エグゼイド「ぐー！」

星の夢が隕石攻撃でダメージが入り後ろに吹っ飛ばされる！

調「祥平！」

『レディゴー！ドラゴニックフィンニッシュ！』

仮面ライダーギアの調はドラゴニックフィンニッシュで隕石を弾くが数が多すぎた。

オーブ「調さん！祥平！」

このままじゃ皆が終わる！どうすれば！

誰もが思ったその時！

『ブラックホールフィンニッシュ！チャオ！』

隕石がブラックホールに吸い込まれて消えた？後ろを振り向くとそこには仮面ライダーエボルがいた！

エボル「よお？大丈夫か？」

俺達は警戒する！

エグゼイド「お前！なんで！」

エボル「それよりも星の夢は倒したぜ？」

後ろを振り向くとブラックホールに吸い込まれて消えてるよ！次は俺達か？

エボル「おつと、待てよ。この世界の危機に助けてやるって言うてるんだよ？」

エボルトが助ける？そんなの冗談にしか聞こえないんだが……

ブル「そんなの信じるとでも思うのか！」

翼が剣を向けてエボルトに言う。

エボル「そうだろうな、だがあれを見ろ」

指を差す方に振り向いた瞬間、目玉の化物が出てきた！なんだあれ！

エボル「あいつはダース。闇の世界の奴だ。そしてあれもだ！」

更の上から来ていたのはキーラだった！倒した筈のキーラが生きていたのかよ！

エグゼイド「これはやばそうだな……」「だとしても！」響？」

こつちに歩いて来るが皆も集まる。

響「私達は色んな経験をした筈です！こんな所で諦めちゃ駄目ですよ！」

その一言で皆は頷く……

グリスブリザード「諦めないわよ、もう2度と……あんな思いはしない！」

アリスさん……おし！

エグゼイド「皆！あの2体を倒せば全て終わる！そしてこの世界に平和を！」

皆『おー！ー！デース！』

それぞれの武器を持ち構える！

エグゼイド「行くぞおお！」

俺の合図でキーラとダースに向かって行き攻撃を始めるがまだ星の夢が残ってんのか！

『スクラップブレイク！』



『カチドキスパークキング!』

『ラビットラビット!フィニッシュ!』

3人のライダーキックが星の夢を貫き爆発した!那奈と刀そして別世界の俺!

クローズチャージ「悪い!時間がかかった!」

そのままこっちに来るがキーラの攻撃が来ていた!

エグゼイド「危ない!」

俺は言うが那奈が武器で防ぎ、弾き返した!

ビルド「流石に危なかったかもね。」

それはこっちの台詞だ!と心の中でそう突っ込むが今はやはり心配もしてる。

エグゼイド「那奈、大丈夫だったか?」

ビルド「高田那奈、ただいま帰還しました。」

鎧武「高田刀もです。」

そうか、娘達が無事で良かったよ。って感動してる場合じゃないな!

ブル「これではきりがない……む?これは?」

ブルの姿から元のシンフォギアに戻るが少し何か変わってる?てもしかして調と同じ現象か?

翼「これは月読と同じ仮面ライダーギアか?「いや違う」え?ではこれはなんだ?」

別世界の俺が知ってるらしい?じゃあ何なんだ?

クローズチャージ「そいつはウルトラマンの力だ。この世界で何故、仮面ライダーとして変身出来るのか聞きたいがそれはまたとして、今のそれはウルトラマンギアだ。」

ウルトラマンギア……ウルトラマン……あ!ゼロさんも確かウルトラマンだったの忘れてた!

マリア「それって私もそのウルトラマンギアなのかしら、これ?」

マリアさんのガングニールは黒い所が赤に変わっていたけど頭の所にはロツソのパーツが付いてるけど手足も似た感じだな。てか翼も頭にブルのヘッドパーツ付いてるし手足にも……なんかすげえな

「祥平？」ん？セレナ？

セレナ「私も変わってるんだけど？」

え？セレナのアガートラムまでもか！てか何でこんな急に皆のギアが変わるんだよ！うわ！来る！

クローズチャージ「これは心強いな！今の俺達は負ける気がしない！行くぜ！」

俺はツインブレイカービームモードにして射ち続ける！

ブレードソウル「貴利斗！同時にだ！」

レーザーターボ「あいよ！」

2人はジャンプして同時に武器で攻撃をするが流石に強いが互いに攻撃をしてるのか？あいつら？

エグゼイド「なら！こいつだ！」

『ゲキトツロボット！ガシャット！キメワザ！』

ガシャコンブレイカーハンマーモードにしてゲキトツロボットガシャットを入れてジャンプをする！

『ゲキトツクリティカルフィニッシュ！』

エグゼイド「はああああ！」

俺はキーラにぶちこむがやはりそんなに聞いてなかった！

エグゼイド「ぐあああああ！」

光の球体がお父さんを墜落させ倒れる。

ビルド「お父さん！」

いこうとしたけどダーズもいて助けるのが困難だった。だが誰も諦めてはいなかった！

レーザーターボ「悪乗りした事を後悔しろよ！」

ブレードソウル「例え、俺達が倒れようとも！何度だって立ち向かう！」

響「私達は諦めない！」

翼「色んな困難もあったが！」

クリス「それでもあたらは全力で救う！何度だってな！」

切歌「私達は1人じゃないデス！」

調「誰かを守りたい気持ちがある限り！」

マリア「私達は倒れない！」

ジオウ「私達はいつも！」

セレナ「愛と平和の為に戦います！」

それぞれの思いで皆が強く光り始めた！

響「うおおおおお！シンフォギアアアアアアアアアア！」

それぞれパワーアップフォームになって、セレナと奏以外のギアは変わっていた！

クローズチャージ「すげえな、この世界の俺達は……へっ！負けるかよ！アリス！皆！やるぞ！」

グリスブリザード「分かっているわよ！」

それぞれ武器を構えて幻想郷組はダーズに向かって行く！

エグゼイド「ま！だ！終わらせない！」

ガシャコンブレイカーを使つて何とか立ち上がる。

クローズチャージ「おい！俺！」

こっちに走つて来たのはクローズチャージに変身した俺だった。

エグゼイド「どうしたの？」

クローズチャージ「このままじゃ、全員やられてしまう、だから一

撃デカイのでキララとダーズにダメージ与えないか？」

一撃デカイのか……それもやはりか……皆を救う為だ。やろう

！

エグゼイド「分かった」

同時に頷きキララとダーズに向き直し技を決める体勢に入りジャ

ンプをする！

『スクラップブレイク！』

『ガシャット！キメワザ！マイテイクリティカルストライク！』

2人『はああああ！』

！、祥平！何をしてんだ！……まさか！相討ち狙いとか考えてないよな！

セレナ「祥平！「来るなあああ！」でもー」

エグゼイド「俺達が大きいダメージを与える！そしたら次の一撃を当てろ！」

クローズチャージ「チャンスはこの1度だけだ！頼むぞ！」  
2人のキツクの威力がどんどん上がって行きそのまま貫く！  
翼「貫いた！」

その一瞬だった！祥平が叫ぶ！

エグゼイド「今だあああ！」

皆「ああ！」

『ガシャット！キメワザ！爆走！クリティカルストライク！』

『ガシャット！キメワザ！黒の剣士！クリティカルストライク！』

『レディゴー！ラビットラビット！フィンニッシュ！』

『ソイヤツ！カチドキオーレ！』

『フィンニッシュタイム！タイムブ레이크！』

『ガシャット！キメワザ！タドル！クリティカルフィンニッシュ！』

俺の合図で皆もそれぞれ必殺技をキーラにぶちこむ！響達も新たなギアの力で続いて貫く！

クローズチャージ「アリス達も今だあああ！」

グリスブリザード「ええ！」

『レディゴー！グレイシャルフィンニッシュ！ガキガキガキキーン！』

『キメワザ！クリティカルジャッジメント！』

『ガシャット！キメワザ！バンバンクリティカルフィンニッシュ！』

『レディゴー！ボルテックフィンニッシュ！イエー！』

幻想郷組の人らも必殺技をダーズにぶちこみ、キーラとダーズはそのまま消滅していった。

エグゼイド「遂にキーラを」

クローズチャージ「ダーズを」

2人「倒した！」

俺達は喜び、変身が解けて倒れる。皆も変身を解除していた。

アリス「ほら、2人とも大丈夫？」

祥平異世界「何とかな、それに直ぐに戻らないとな」

異世界の俺は立ち上がり、俺も立ち上がった。寂しいがお別れなんだな。

祥平異世界「そんな顔をすんな、世界は違えとも俺達はもう仲間だ！仲間がピンチな時は助けに行くからな！」

背中を強く叩くがちよつと痛い……けど、元気になるな！

祥平「俺もだよ。皆さん……ありがとうございます！」

そして互いに握手をし、幻想郷の人達は帰って行くのだがエボルトも、もういなかった。敵だったあいつが少しだけ助けてくれたんだ、ありがとな……俺もけじめ付けるか、もう俺がいなくても那奈達ならきつと乗り越える筈だしな。

セレナ「どうしたの祥平？」

俺は振り向いてセレナ達に言わなきやな。

祥平「これで俺も安心出来たよ、俺は旅に出るよ。」

俺は旅に行く事を伝えるがマリアが聞いて来た。

マリア「何か理由があるんでしょう？」

マリアがゆっくりこつちに来て頭を撫でて来る。てか止めてくれ。

祥平「ああ、色んな物を見てみたくなったんだ。だから旅に暫く出るけど「行つてきて」セレナ……」

更に後ろからセレナが歩いて来る。

セレナ「私もいつまでも甘えらなくても思わなくて大丈夫だよ。例えば離れていても私達は繋がってる。」

そうか、なら行くか。

那奈「お父さん……大丈夫だ。」え？」

那奈はまだ心配してるが俺も同じだが……大丈夫だ。こいつは俺の自慢の娘だ。どんな奴にも負けないと思う。

祥平「那奈、このボトルをお前に託すよ……じゃあな」

お父さんは時空間の壁に入ってしまった……このフルボトルは何かは知らないけど、お父さんありがとう。

崖の上

???「元の世界に戻ってしまったが、好都合かもしれない。高田那奈は潰すべき存在……」

END

## 第17話那奈を狙う者

特訓ルーム

ビルド「はあ！」

ドリルクラツシャーで特訓用のスマツシユを斬って攻撃するけど、  
こんなんじゃ……ううん！まだまだ！

ユウ「那奈姉は相変わらず特訓なんだなあー」

父さんが旅に出て1週間が過ぎた。那奈姉はいつもあんな風に特訓をしている。

ビルド「この組み合わせで！」

『タカ！コミック！アーユーレディ？』

ビルド「ビルドアップ！」

タカコミックフォームに4コマ忍法刀を持って特訓用のスマツシユに攻撃をしようとしたが警報がなった！

ビルド「え？警報！」

私は特訓を中止しようとしたげ特訓用のスマツシユが暴れた！どうして！

ビルド「どうして！く！」

『分身の術！』

『レディゴー！ボルテックファイニツシユ！』

4コマ忍法刀で分身を出して特訓用のスマツシユは壊してしまっただけど、何でいきなり暴れたの？

???「流石はビルドだなあ！」

何この男は？腰にはエボルドライバーを付けてる……まさかここいつが特訓用スマツシユを？

ユウ「那奈姉に何か用か？」

男はあのドライバーに使うボトルを取り出した！

『星の夢！ライダーシステム！エボリユーシヨン！アーユーレディ？』

???「変……身……」

『星の夢！星の夢！エボルギンガ！ふわっーははは！』

姿は仮面ライダーエボルコブラフォームだが色が全身白と金色になっっていた！

??「俺は仮面ライダーエボルギンガだ。星の夢の成分をあのキーラとダーズが召喚していてお前らが倒した隙に成分をボトルに吸収したんだよ！」

こいつは凄いやつになりそう……

ビルド「それだったら此処で倒す！」

エボルギンガ「無駄だぜ？お前にはジーニアスがないからな！」

ジーニアス？そんなボトルは聞いた事ないけど、こいつは何が目的か分からない。

『ラビット！マックスハザードオン！』

ビルド「ビルドアップ！」

『ラビット！ラビット！ヤベー！ハエー！』

私はフルボトルバスターを手に持ち構える。

ユウ「悪いが俺も行く！変身！」

ユウもフォーゼになつて構える。

エボルギンガ「行くぞ？」

え？消えた！何処に……「ぐあ！」、ユウ！

ビルド「いつの間に！」

ユウの方に移動してるなんて！

エボルギンガ「俺は仮面ライダービルド。高田祥平の娘、高田那奈！お前を抹殺するからな！」

な！ガシヤコンブレイカー！それってお父さんの！く！

エボルギンガ「驚いてる用だが星の夢の成分を使ってお前らの戦闘データは全てインプットしてるからな。武器も自由に使えるって訳だ！」

く！ラビットラビットフォームじゃ防御は任せられないって訳か！なら！

エボルギンガ「ほお？別のフォームになるのか？だが無駄だぞ？」

それはどうかな？私はフルフルラビットタンクボトルはこっちは使っていないから分からないと思うよ！

『タンク！ガタガタゴツトズツタズツタン！ガタガタゴツトズツタズツタン！アユーレディ？』

エボルギンガ「何！タンクだと！ぐ！」

戦車達が現れエボルギンガを攻撃をする！

ビルド「ビルドアップ！」

『鋼鉄のブルーウオーリアー！タンクタンク！ヤベー！ツエーイ！』

ユウ「那奈姉のあれは始めて見るフォームだ……」

ビルド「エボルギンガ！私は負けない！お父さんが守って来たこの世界を今度は私が守って見せる！はあ！」

腕の戦車のタイヤを回転させ、エボルギンガに攻撃をする！

エボルギンガ「く！そんな程度で俺がやられると思うな！」

！、隕石！、だったら！

『タンク！ガトリング！ジャストマッチデース！』

私はフルボトルバスターをバスターモードにして構える。

『ジャストマッチブレイク！』

ビルド「はあああ！」

な！隕石を一瞬だと！

翼「さつきから何の音だと思ったら敵がいたのか！」

ちっ！シンフォギア装者がいるんじや分が悪すぎる！撤退だ！

調「逃げた？」

セレナ「那奈！大丈夫！」

お母さんがこっちに来るけど私は変身を解除して倒れた。

ユウ「那奈姉！おい！」

倒れた那奈はすぐにメデイカルルームに運ばれるがタンクタンクフォームの力が強すぎた為、疲れて気絶をしただけだったとサンジェルマンさんが言っていた。

メデイカルルーム

セレナ「あの敵、エボルトに似ていたけど何者なんですか？」

サンジェルマン「私にも分からないわ、それに今は祥平には頼れないからね。」



そう、祥平はあれから1週間過ぎてるし、旅の邪魔なんか出来ない。  
未来「あの敵が那奈ちゃんを狙いなら流石に祥平も「いやそれは出  
来ない」奏さん？」

後ろから奏さんがいきなりそんな事を言うってどういう訳なんだ  
ろう？

奏「祥平に心配ばかりはかけられないだろ？あたしはいつもそう  
やって甘えてたんだよ。」

確かにそうだけど……でも！

調「私も奏さんと同じ意見だと思う。それに私達は全員で戦えばま  
だ何とかかなると思う。」

うん、調ちゃんの言う通りだ。私達はもう戦えるんだ！守る為の力  
を！、また警報！

???'「……れ……か……た……む……む……！」

モニターの通信は砂嵐で何も見えないけどかすかに声がするけど  
なんの声？

那奈「これって何？」

モニターには砂嵐が酷くて映ってはなかったが声は確かにしてい  
た。

藤堯「声だけは何とか拾えそうだ。」

弦十朗「それなら急いでくれ！「司令！」どうした！」

あおいさんが慌てていたけどどうしたんだろう？

あおい「この中に侵入されてます！」

弦十朗「なんだと！」

ここに向かっていているのは一体なんだ！それにあいつがない以上  
は俺達がやらなければ！

那奈「私……行きます！」

刀「那奈！」

司令室を飛び出した那奈は侵入者の所に向かっていった！

???'「何処だ？仮面ライダービルドよ！」

何あれ？仮面ライダーにも見えるけど怪人なの？

那奈「私がビルドだけど！何が目的なの！」

??? 「目的はビルドの抹殺なんだよな、だから丁度良いな！」

え！針があんなに！嘘でしょ！

『マックスハザードオン！ラビット！』

那奈「変身！」

『紅のスピーデージャンパー！ラビットラビット！ヤベーイ！ハ  
エーイ！』

ラビットラビットフォームになり敵に蹴りを入れたと思ったけど、  
片手で止めていた！

??? 「この程度か！」

そのまま私は吹っ飛ばされるけどフルボトルバスターを持ちバス  
ターモードで攻撃する！

ビルド「はあ！」

連続で発射したけど打ち落とされてこっちに走って来た！

??? 「遅いんだよ！」

蹴りとパンチを連続でくらい、変身解除まで追い込まれる。

??? 「なんだもう終わりか？折角、変身して止めを決めようとしたの  
によ！でもそれでも良いかもな？」

男はそう言ってドライバーを出して腰に着けた！

那奈「あれって何？」

??? 「お前は何も知らないで終わるが教えてやるよ。俺の名は高田セ  
イヤ。てめえらを潰しに来た者だ！」

え？高田って！私達と同じ名字？

セイヤ「変身……」

あの姿は何？見た事ないライダー？

??? 「俺は……笑顔をを守る為に戦う者だったが今はお前らを倒す！」  
高田と名乗る青年は何者なのか？そしてクワガタの赤い戦士は何

なのか？

See you Next Game

## 第18話古代の仮面ライダーその名はクワガそして 狙われる破壊兵器

クワガタの仮面ライダーになったこいつはいきなり構えていた！  
??? 「行くぞ！高田祥平の娘！」

いきなり意味が分からないし！

那奈「ちよちよ！」

避けながらドライバを付ける！

『ラビット！タンク！ベストマッチ！アークユーレディ？』

那奈「変身！」

私はビルドになり、相手のパンチやキックを避ける！

ビルド「本当なんなの！もう！」

私は避けるけど赤いクワガタの仮面ライダーの攻撃の猛攻は止まらない！

??? 「超変」

『ギリギリスラッシュ！』

赤いクワガタが何か言おうとしたけどジオウになってる未来さんがいつの間にか攻撃をしていた！

ジオウ「那奈ちゃん！大丈夫！」

ビルド「何とか大丈夫ですけど、いきなり攻撃をして来ました」

大切な家族に何でこんな事をするの……

??? 「流石に分が悪い……」

そう言つて消えた……これはウオッチ？

???

セイヤ「あんな奴ら相手か……」

俺はそう思つて変身を解除していたら後ろから足音が聞こえた。

??? 「まあ、あいつらは化物のあたしらを受け入れた奴らだけど怒るなよ？」

そこに現れたのは羽をはやした女性ミラアルクがセイヤの近くに近付いて頭を撫でる。

セイヤ「もう子供じゃないんだ、母さん」

ミラアルク「それにあの男だけは否定しないでくれ、ヴァネツサとエルザそしてあたしと言う化物を受け入れてくれたんだ。」

確かにそうだが父さんが俺を見捨てたことは事実なのは変わらな  
いだろ。

ミラアルク「祥平はセイヤを捨てた訳じゃないぜ」

その言葉にセイヤは反応をする

セイヤ「は？何の話しだ？」

俺は疑問を聞くが更に足音が聞こえた

祥平「久し振りだなミラアルク、そして………セイヤ」

そこにいたのは俺を見捨てた親父であった！

セイヤ「何しに来た？」

セイヤは身構えるが俺はゆっくりと腰を下ろして座る……

祥平「セイヤ………すまない！」

この親父は何故なのか土下座をした、何でだ？

セイヤ「何故謝る？」

やっぱり怒ってるよな、でも逃げる訳には行かない……

祥平「俺はお前を捨てた訳じゃない、あれにはちゃんとした理由が  
あるんだ」

ちゃんとした理由？

セイヤ「なら教えろ」

祥平「ああ、今の俺は人間だが昔は敵にも狙われていた破壊兵器で  
もあつたんだ。敵はそれを狙って娘や息子達を危険がないよう、ミラ  
アルク達と逃げて貰ったんだ。もしセイヤが仮面ライダーの力を手  
に入れてたら迎えに行くって約束だったんだ………本当にすまない」

それじゃあ、親父は俺達を守る為に……

セイヤ「だがすぐには無理だ、俺はそんな簡単には受け入れられん」  
だよな………でも

祥平「自分のペースでゆっくりでも良い、自分が本当に辛くなった  
り困った時はいつでも来い」

俺はセイヤにそう言いミラアルクの方を向く

祥平「ミラアルクもな」

ミラアルク「分かってるぜ」

なら俺は行くかな、まだまだやる事あるしな

祥平「んじや、俺はまだ旅の途中だから……!、ぐ!」

いきなり親父はフードを被った奴に飛ばされた!何者だこいつ!

ミラアルク「祥平!大丈夫か!」

こいつの気配を気付かないとは平和ボケしちまったのかもな……

祥平「な、何とか!」

俺が気付かないとはめんどくさい奴が現れたな……

???「破壊兵器って人間の高田祥平はお前か?」

俺の方に指をさす

祥平「だつたら何だ?俺はもう人間だ!もう破壊兵器はない!」

???「いいや?残念ながらお前は人間にはなれてないのだよ!」

な!あれは!

『ガチャーン!』

フードからガシヤットを取り出した、つてあれつて!

『デンジャラスネフィリム!ガシヤット!バグルアップ!デンジャー

!デンジャー!デスザクライシス!デンジャラス・ネフィリム!』

その姿はゲムデンジャラスゾンビの姿だが白い所がネフィリム

第1形態の色になっている

祥平「ミラアルク!セイヤを連れて逃げろ!こいつは俺が止める

!」

本気でやらないとやばい!それにあのガシヤットは前に竜也との

戦いでもう無くなったと思つたが……聞くしかなさそうだな

『マキシマムマイティX!ハイパームテキ!』

祥平「ハイパー大変身……」

『マキシマムガシヤット!ガチャーン!レベルマックス!ドツキー

ング!パツカーン!ムーティーキー!ハイパームテキ!エグゼーイー

ド!』

俺はムテキゲーマーになり右手と左手にはガシヤコンキースラッ

シャーとガシヤコンブレイカーソードモードを両手に持ち構える!

エグゼイド「行くぜ！」

俺はキースラッシュャーとガシャコンブレイカーで攻撃をしたのだが

???「俺に攻撃は効かねえよ！」

く！ダメージが入らないとなるとめんどいな、あの時よりやばいだろ

エグゼイド「攻略法を見つけろしかなさそうだな」

ミラアルクとセイヤは何とか逃げてくれれば良いんだが……！、ぐ

!!!「おいおい？考え事なら意味ないぜ？」

不気味な言い方で言うけど意味がない？

エグゼイド「どういう事だ？」

この男の言ってる事が分からねえ……

???「この世界を壊す程の破壊兵器を起動させるんだよ！」

何を言ってるんだ？破壊兵器を起動して……出来ない筈だ！あの時に俺はウルトラマンヒカリに命を助けられたと同時に人間になつた筈だ！

エグゼイド「俺はもう人間なんだよ！」

俺は構えて答える！

???「そうだろうな？高田祥平よ、お前は本当に……人間になれたと思ってるのか？」

本当にこいつは何者なんだ……

エグゼイド「お前何を知ってる！」

俺は攻撃を弾き飛ばしたがこいつ……強い

???「お前の中にはまだ破壊兵器があるのは知ってるんだよ！例えば人間になれたとしても……な！そんなんで人間になれたとでも思ったか！」

俺が人間になれてない事は……！

エグゼイド「そんなの嘘に決まってる！」

俺はキースラッシュャーとガシャコンブレイカーで防ぎながら話す

??? 「確かにな? でもな…………お前は失敗したのさ! 高田ナガレや色んな敵に破壊兵器を起動に無理矢理されてた所に実は調べたのさ、完璧な破壊兵器としてお前を生まれ変わらせてやるよ!」

こいつは何を言っ…………!、何だこいつらは!

『ガツシューーン!』

男達数人に抑えられてしまった俺はガシヤットを抜かれて強制解除された!

??? 「お前に自由はないさ…………もう兵器として生まれ変わるんだからな♪」

この時の俺は思った。もうセレナ達の所に戻れるか分からない、でも…………那奈、刀…………皆、後は任せた。例え俺がもう元に戻れなくても世界を守れ!

く  
く  
???  
く

??? 「今の感じ……………」

そこで首から下には茶色のマントを着けている黒髪ロングヘアの女性がラーメンを食べるのを止めた。

??? 「どうしたの姉さん?」

隣にいる女性も姉と同じマントを着けていて黒髪ポニーテールをした女性は姉に聞く。

??? 「…………兄さんの声が聞こえたの!」

兄さん?…………え!

??? 「祥平兄さんに何かあったの!」

分からない、でも行かないと駄目な気がする!

??? 「行くわよ! ロア!」

姉さんはお金を払って直ぐに出る事にした!

ロア 「待つてよ! 姉さん!」

私もお金を払って店を出た!

??? 「兄さんに何が会ったのか! 一度セレナさん達の所に向かうからね!」

ロア 「分かってるよ!」

姉さんはやっぱり祥平兄さんの事を口では嫌ってるけどやっぱり

好きなんだもんね♪

??? 「ほら！」

私達はセレナさん達の所に時空間の穴を開けて入る。

ロア「待ってよ姉さん！」

私はそのままついていく……祥平兄さんが無事なら良いけど

See you Next Game



## 第19話 祥平を助ける者達の集結そして運命

俺と母さんは親父に逃がして貰い、少し離れた場所だとある奴に連絡をする！

セイヤ「……繋がった！」

繋がった場所はまさかだった。

那奈『誰ですか？』

セイヤ「すまない！時間がないんだ！助けてくれ！」

俺が連絡した奴は親父の娘、高田那奈だ！

那奈『貴方は……！、その声はさっきの！』

どうして攻撃してきた奴が連絡してきたの！

セイヤ「時間がないから今からそっちで話しがしたい！」

いきなりこの人は何を言ってるの？

那奈『何を言ってるの？私を攻撃して来た人の話しを聞くと思ってるの？』

それはそうだよな、でも！そんな時間がまじでない！

セイヤ「その事は謝らせてくれ！高田祥平！俺達の親父が破壊兵器を狙ってる奴が現れたんだ！」

え？破壊兵器って確か昔にもう無くなってるって……それが本当なら1度こっちで話しを聞いた方が良さそう。

那奈『それから1度こっちのトレーニングルームに来て、そこで話しをする。』

セイヤ「分かった……」

俺は電話を切って母さんと時空間を超える事にした……親父この借りは返すからな

く???

祥平は縛られて横にされていたが気絶をしている。

???'「カイト博士、これはかなり嚴重なシステムです」

それなら仕方ない

カイト「もしたら戦闘データを無理矢理にでも読み込め、もしたらこのチップを使って記憶を消して俺の下部だ。」

ウイルスチップを研究員に渡し、そのまま戦闘データを無理矢理にでも読み込み終わらせてからウイルスチップを機械に入れて祥平の中の記憶を消し初めていた！

祥平「ああああああああ！」

良いぞ！このままシステムを起動させる為にお前の記憶はウイルスに消去させ次に目を覚ましたら貴様は俺の下部になるのだよ

祥平「が！ぐ！ああああああああ！」

俺はそんな簡単には屈しない！でもなんで思い出が消え！

祥平「うあああああ！ああああああああ！」

俺の記憶が！消えて！

カイト「耐えるなど不可能だよ？君はこのまま破壊兵器を起動させてくれれば良いんだから」

黒い何かが祥平を蝕んでいる。

くトレーニングルームく

私はお母さんと皆にさっきの事を話したら冷静には入れなかったと思う、お母さんは直ぐに行こうとしたけどマリアさんに止められて落ち着かせてから数分後に来てくれた。

那奈「……来た」

そこにいたのはクワガタの仮面ライダーに変身した人と女の人と一緒にいた。

マリア「ミラアルクが来るとは久しぶりね」

ミラアルク「悪いな家の息子が妹さんの娘を襲った事は謝らせてくれだぜ」

頭を深く2人は下げていた。

セレナ「それで祥平は！」

お母さんは悲しそうな顔をしていた……

セイヤ「すみません、その後の事は不明です……」

マリア「セレナ！」

お母さんは走って行くこうしてる！

???「久しぶりに来れば何かあったのか？」

え？半分機械のお父さん？

セレナ「カオス祥平さん！」

俺の前に倒れてるセレナに手を伸ばし起こした。

カオス祥平「まあ……ウルトラマンゼロから連絡は貰った、あの祥平がまだ破壊兵器あるとは思わなかった。だろ？あんたら？」

その後ろから来たのは零さん達だった！

貴利斗「久し振りと言いたいがい」

零「あいつがさらわれたってカオス祥平とゼロから呼ばれて来た」

利香「それでこっちはこっちで祥平の電波をキャッチはしたよ」

パソコンのモニターを皆で確認したけど……ここって！

翼「元リディアン学院の場所……」

榛名「ですが今回の敵は凄く厄介になります」

榛名さんもパソコンで調べていたのを見たら何か怖そうな顔のおじさんだった。

那奈「カイト博士？この人はどんなに厄介なんですか？」

榛名「これです……」

更にちよつと下の文を読んで見たのだが……ええ！

那奈「世界滅亡……でもどうしてお父さんの破壊兵器が必要なんですか？怪人やアルカノイズとかでなら世界滅亡出来そうなのにな？」

私の疑問だった、何故お父さんの破壊兵器が必要なのかを。

零「俺もそれは調べた、だからそれを含めて1から話す。だがこれには最初から仕組まれた事だったんだ」

最初から？え？どういう事？

零「今までを振り替えたら最悪だったんだ。その条件が1つは竜也との戦いの時に起きたアガートラームセレナガシャットの起動、2つ目がマイティアンリミテッドXDの起動、3つ目は異次元達との絆、4つ目は戦いの恐怖、5つ目が奈南姉さんのプログラム、6つ目がアンコントロールハザードガシャットの無理矢理の破壊兵器の起動、7つ目は祥平の消失、8つ目はエグゼイドゼロと言うとんでもない変身、そして最後がウルトラマンヒカリの生き返らせ人間にしたかと思っただがそのまま人間ではなく生命体として変えられていた。これらが全ての条件を達してしまい、祥平はカイト博士と言う男に狙わ

れていた。」

つまりここまでずっと……！」

那奈「見逃して完全に狙ってたのはどうしてですか？」

零「失敗作で破壊兵器であった祥平の成長を見ててそれでこの時期だと親父から教えられて調べたらこの有り様だ。」

セレナ「まだ間に合いますよね！」

「セレナは零の服を掴み聞いた。」

零「急げば間に合う！だがもし間に合わなかったら……もう元には戻らない……」

拳を強く握り締めていた零の手から血が出ていた

那奈「それなら今から行きましょうよ！」

貴利斗「だな……零！行くぞ！」

そうして元リディアン学院の場所に向かって行こうとしたが外の様子がおかしかった！

→高田家玄関外→

零「何だこれは……」

色んな所にアルカノイズに似たロボットが街を破壊していたり人々を殺していた！

利香「零！このアルカノイズ見たいなロボットは何！」

貴利斗「こいつらまさか俺達を通さない用に作られたのか？」

分からねえが俺達の邪魔をするとはいい度胸だ！

優奈「急がないとやばい！」

響「皆で突破しましょう！」

そうしようとしたが上から何か来た！

那奈「お父……さん？」

更の上に大きいモニターも来た

カイト『揃っていますな仮面ライダーとシンフォギア装者よ！』

あの男はカイト博士か！

クリス「お前がカイトって博士か！」

カイト『そうだとも？私がカイト博士だ！そして時間はかかったがそこにいる高田祥平はもう君達が知っている高田祥平ではない！全

てを破壊するまで止まらない破壊兵器の高田祥平だ!』

なん……だとお!

切歌「何をアタラメを言ってるデスか!祥平さんは私達の大切な仲間デスよ!そんな簡単に!」

カイト『言つたでしよ?時間かかったと?ウイルスチップを使い感情と記憶を全て消して俺の下部なのだよ!ははははは!』

嘘だろ……

カオス祥平「お前見たいな人間は絶対に潰す!」

パイルバンカーを右腕に取り付けて構え攻撃体勢に入る!

カイト『やれるならな!やれ!破壊兵器よ!』

祥平「了解マスター」

ゲーマドライバーとガシヤットだがあんなに黒いのかあの2つ!?

『マイティアクションZERO!』

祥平「変身……」

『ガシヤット!ガチャーン!レベルアップ!全てを破壊!ゼロの世界!マイティアクションZERO!』

姿はアクションゲーマーレベル2であるが全身黒で所々は深紅になつていたのだが目が黒に染まっている……

エグゼイド?「俺は破壊兵器としての仮面ライダーエグゼイドZEROだ。全てを破壊させて貰う。」

この雰囲気はやばい……本気だ!

零「全員……撤退だ!」

貴利斗「零?」

撤退って何でだ?

零「今すぐに撤退だ!あれから今すぐに……!、があ!」  
見えない衝撃波が零を吹っ飛ばす!

利香「零!か!」

利香さんまで!

響「私が時間を稼ぎます!」

貴利斗「そんな事させるかよ!」

響の隣に走って怒鳴った貴利斗は響を後ろに下げた

響「貴利斗さん」

貴利斗「それは男の俺の役目だ、響達は祥平の娘達を連れて逃げろ！」

……………ごめんなさい！

響「後は任せます……………死なないで下さいよ！」

そのまま全員を連れて撤退をさせるが残ったのは貴利斗と零そしてカオス祥平だった……………

貴利斗「なあ、祥平覚えてないか？零を助けたあの時の事をさ」

そう零が最初に祥平とセレナを襲いかかった時だ。

祥平「何を言っている？貴様はここで破壊して後の奴らも破壊しに行かせて貰う。それがマスターの命令だ。」

あんな糞野郎に記憶を消されて悔しいんだよな……………お前はここで壊す……………前の祥平なら絶対に言うもんな、自分がセレナ達を傷付ける前になってな！」

『爆走バイク！ギリギリチャンバラ！』

貴利斗「3速……………」

響、皆、悪いな……………もしこいつを止められたらまた全員でゲームしような！」

貴利斗「変身！」

レーザーレベル3になりガシヤコンスパローアローモードを持ち構える。

カオス祥平「てめえは絶対に目を覚まさせる！例え俺が壊れてもな！」

幻想郷の全員よ、俺はこいつを助けてから戻るから待っていてくれよ。にとり、その時はまた修理を頼むな……………痛いのにやだがな

零「あいつ痛かったぞ、にやろう！」

『黒の剣士キリト！』

利香それに他の皆、祥平を絶対に連れ戻す。例えこの身に変えてもな……………もう祥平には嫌な思いをさせたくないからな……………だから！

零「大2斬り……………」

帰ったらゲームしような！」

零「変身！」

3人は祥平に攻撃を始めるのだが凄いい雨がふっていてそれは一瞬だった……

『ガチョーン……ガツシユーン……』

祥平「3人の生命力……ゼロ、それが人間の限界だ。」

そこには剣で串刺しにされていた3人倒れていた。

祥平「残りの者達の場所は？……了解しました。直ぐに行きます

……」

（???）

一先ず時空間を越えて安全な場所にいた

那奈「零さん達大丈夫ですよね？」

刀「お父様のお兄様なら大丈夫だとは思いますが？」

そう思いたいけど嫌な感じがした……

祥平「その者達はもう亡くなった」

！、お父様!?

榛名「本当にもう……」

利香「祥平を壊しても止めるわよ！」

2人『変身!』

2人は仮面ライダーになってお父さんに攻撃をしようとしたけど

祥平「これが人間の力か？遅すぎるんだよ！」

2人をそのまま串刺しにされてしまった！

セレナ「止めてよ！祥平！」

セレナの必死の声でこちらを向くのだが全く思い出す反応がなかった！

祥平「貴様も死ぬんだな……」

死ぬのも嫌だけでもっと嫌なのは祥平が罪もない人を殺す事と自分の意思じゃないなら絶対に言う

セレナ「意地でも止めてって！」

『覚醒せよ！オーブオリジン!』

オーブオリジンギアになりオーブカリバーで祥平に攻撃をする！

祥平「無駄だ」

！、片手で止められた！でも！

祥平「お前でも止められると思うな！」

セレナの腹諸に蹴りを入れて吹っ飛ぶ！

セレナ「く！負けません！これなら！」

『フュージョンアップ！ウルトラマンオーブ！ハリケーンスラッシュ！』

セレナやマリア、翼、調はウルトラマンギアと仮面ライダーギアになります。

セレナ「オーブスラッガーランス！」

なら全力で破壊だ……

『ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！マイティアクションZERO！』

エグゼイドZERO「やってみろ」

『ガシャコンブレイカー！』

セレナ「負けません！」

互いの武器がぶつかりその衝撃波で爆発するがその中から調、翼、マリアがギアを纏って祥平に攻撃をする！

マリア「もう迷わないわ！」

『ウルトラマンロッソ！フレイム！』

マリアは仮面ライダーロッソだったのがウルトラマンロッソに変わりそのウルトラマンロッソギアになっていて両手にはループスラッガーロッソであった！

翼「私達が止める！」

『ウルトラマンブルー！アクア！』

翼もマリアと同じように仮面ライダーブルーからウルトラマンブルーに変化をする。武器もループスラッガーブルの大剣を持っていた！

調「大事な人がこれ以上利用されるのは見たくない！」

『ウェイクアップバーニングゲットクローズドラゴン！イエアー！』

調も仮面ライダークローズギアを纏い右腕にはビートクローザーを持って攻撃をする！

エグゼイドZERO「そんな他人の力を借りて破壊に勝てると思う



な」

祥平「……………何で……………」

セレナ「何でなの！あんなに優しかった私達の高田祥平は何処に行っただの!？」

涙を流すセレナはそう言うが今の祥平には届かなかった

エグゼイドZERO「そんなの知るものか」

ガシヤコンブレイカーソードモードで横に振り回して翼達を吹き飛ばした！

翼「く！」

マリア「ぐあ！」

セレナ「くっ！」

お母さん、皆さん……………」

那奈「お父さんを絶対に元に戻す！」

『ラビット！タンク！ベストマッチ！』

刀「私達はお父様に頼ってばかりでした！」

『オレンジ！ロックオーン！』

させると思うな

エグゼイドZERO「くたばれ」

『高速化！高速化！』

2人『きやああああ！』

高速化のエナジーアイテムを使われ2人の変身を邪魔をしベルトを破壊した！

未来「皆！」

響「祥平さん！目を覚まして下さい！」

シンフォギアを纏った所で人間の力には限界があるんだよ

エグゼイドZERO「なら破壊されるんだな」

『ガッシューン！ガシヤット！キメワザ！』

ガシヤットをガシヤットホルダーにさし、そのままジャンプをする！

響「させない！」

響は右腕をパイルバンカーにして飛んでエグゼイドZEROに一

撃を当てようとしたが遅かった。

『マイティクリティカルストライク!』

エグゼイドZERO「はあ!」

響「うわああああ!」

ライダーキックを響は諸に喰らってしまいギアは解除され気絶をした!

未来「響!」

エグゼイドZERO「お前達では俺に勝てない」

く研究所く

カイト「くつくつくつ……まさか上手く行くとは思わなかったよ、ウイルスで記憶を消して破壊兵器としての起動が楽に出来て良かった……誰だ?そこにいるのは?な!何故お前が!」

俺は後ろを振り向きそこにいたのは有り得なかった!何故ならモニター映ってる高田祥平がいるからだ!

祥平「あんたが時空間を超えて悪さをしているカイト博士だな?」

カイト「それがどうした!俺はあの破壊兵器で全ての時空間を破壊する為に起動したんだよ!」

こいつ勝手過ぎるだろ……なら

祥平「なら連行してこの時空の俺を止める!これ以上はやらせない!」

そう言った俺は赤いディケイドドライバーを腰に巻き付ける。

カイト「なんだそのドライバーは!」

祥平「こいつはディケイドドライバーでもあるがちよつと違うんだよな、変身!」

『クロスライド!ディケイド!』

ディケイドに変身しただと!

カイト「なんだそのディケイドは!マゼンダじゃなく赤だと!」

ディケイド???「まあ、俺は仮面ライダークロステイケイド。全ての異世界の奴らと戦った事があるんでな」

クロスディケイド……ならそのデータを取らせて貰う!

『デンジャラスネフイリム!』

カイト「変身」

『ガシヤット！バグルアップ！デンジヤラス・ネフィリム！』

へえ？見た事ないライダーだな

???「この姿ではゼノン、仮面ライダーゼノンだ。さあ、お前の戦闘データを貰うぞ！」

クロスディケイド「やってみな？」

一方セレナ達の方ではエグゼイドZEROに全滅されていた

エグゼイドZERO「ミッション完了……」

俺はマスターの場所に戻ろうとしたが……

エグゼイドZERO「まだ立つのか？鬱陶しいな」

セレナ「……また私は祥平が離れるのは嫌だ！」

こいつ……ならこの場で殺させて貰うぞ……

エグゼイドZERO「ここで殺す……何も守れるずにな！」

守れる！絶対に！

『マイティクリティカルストライク！』

エグゼイドZERO「消えろ……」

ライダーキックがセレナに直撃するかと思ったがエグゼイドZERO

は弾かれた！

エグゼイドZERO「誰が邪魔をし……貴様は何者だ？」

そこに物静かに立ち上がり女性は名乗った。

???「私？私は未来から来た高田祥平と高田セレナの娘！高田那奈だ！」

未来から那奈が何故来たのか？そしてこの結末はどうなっているのか!?

See you Next Game

## 第20話とんでもない戦いそして意外なタッグ!?

『マイティクリティカルストライク!』

エグゼイドZERO「消えろ……」

ライダーキックがセレナに直撃するかと思っただがエグゼイドZEROは弾かれた!

エグゼイドZERO「誰が邪魔をし……貴様は何者だ?」

そこに物静かに立ち上がり女性の名乗った。

???「私? 私は未来から来た高田祥平と高田セレナの娘! 高田那奈だ!」

未来から来ただど? そんな馬鹿な事が……

那奈(未来)「さあ、実験を始めるわよ?」

『ラビット! タンク! ベストマッチ!』

エグゼイドZERO「させると思っただけか?」

そう言っただけに走って来るのは分かってるんだけどね、だから助っ人もいるんだよ

那奈(未来)「未来さんお願いします!」

『エグゼイド! 電王!』

いきなり那奈(未来)の上から扉が開きそれぞれの仮面ライダーが現れた!

エグゼイドZERO「な! ライダーが現れるだど!」

くそ! 邪魔しやがって!

ジオウ「悪いけど好き勝手にはさせないよ! 那奈ちゃん!」

『アーユーレディ?』

那奈(未来)「変身!」

『鋼のムーンサルト! ラビットタンク! イエーイ!』

ビルド「さてと……行くよ!」

ドリルクラッシュャーソードで攻撃を始める私は未来さんとやるけどそれだけじゃないんだよね!

エグゼイドZERO「召喚されたライダーに俺はやれんぞ!」

そう言いエグゼイドと電王は切られてしまい消えるが更にそこか

ら現れた2人がエグゼイドZEROを吹っ飛ばす！

ビルド「遅いですよ！ロアさん！ユリさん！こっちは未来から超特急で来たのに！」

ロア「それは失礼しました。ですが私達にも準備はあったので」  
ユリ「祥平兄さん……何があったのですか！」

こいつらも破壊対象で良いのか？マスターに連絡を

『ダブル！キバー！』

ちっ！また召喚か！

ビルド「行くよ！はあ！」

数の猛攻でエグゼイドZEROを押しているのだがロアとユリは倒れていた皆に回復をした。

エグゼイドZERO「回復などさせん！」

ジオウ「こっちの台詞だよ祥平！」

『オーズ！』

！  
タッチした場所からメダガブリューバズーカを出して射ち放った

『プーティーラーノーヒッター！』

ジオウ「はあ！」

エグゼイドZERO「ごはあ！」

このままではやられてしまう……

ビルド「逃がすと思わないで父さん！」

『ニンジャ！コミック！ベストマッチ！アユーレディ？』

ビルド「ビルドアップ！」

『忍びのエンターテイナー！ニンニンコミック！イエーイ！四コマ忍法刀！』

ニンニンコミックフォームになった私は直ぐに四コマ忍法刀の分身の術を発動させる！

ビルド「は！」

縄で縛り動きを封じる！

エグゼイドZERO「く！この！」

長くは持たない！

ビルド「過去の皆さん！父さんとの今までの事を思い出して下さい！貴女達はそんな簡単に倒れちゃいけない！く！」

那奈……………私は祥平を……………

エグゼイドZERO「俺はマスターの下部だ！お前らを壊す為に戦う！」

ビルド「だったら聞くよ！壊したらその後父さんはどうするの！」  
壊したら……………そんなの決まってる！

エグゼイドZERO「この世界そして異世界を壊す！マスターと共に！」

ビルド「あんな奴に利用されないでよ！カイトと言う博士は父さんを捨てるんだよ！」

エグゼイドZERO「そんな事有り得ないだろ！」

縄が持たない！このままじゃ！

エグゼイドZERO「貴様も破壊する！」

そうしていたら縄が壊され、武器が私を狙って投げて来たけどそれを未来さんが召喚したライダーに助けられた。

ジオウ「させない……………セレナちゃん！皆さん！後は貴女達がやるべき何です！」

未来の未来さん……………そうだ。私達はそうやって何度でも祥平が敵に狙われたのを何度も乗り越えたんだ！

セレナ「私は何度でも立ち上がる！例え祥平の記憶が失っても私が覚えてる！祥平との大切な思い出がある限り！」

『覚醒せよ！オーブオリジン！』

セレナ「オーブオリジン！」

マリア「ええ！私達が覚えている限り祥平は諦めない！」

『ウルトラマンタロウ！ウルトラマンロツソ！フレイム！』

マリア「ロツソフレイム！」

翼「祥平は私達を何度も救ってくれた！だから今度は私達が救うんだ！」

『ウルトラマンギンガ！ウルトラマンブル！アクア！』

翼「ブルアクア！」

調「祥平が教えてくれた！諦めなければ奇跡は何度でも起きるって！」

『ウエイクアップ！クローズドラゴン！アークユーレディ？ウエイクアップバーニング！ゲットクローズドラゴン！』

調「仮面ライダークローズ！」

4人は仮面ライダーギアとウルトラマンギアを纏いエグゼイドZEROの前に立つ！

セレナ「オーブカリバー！行きます！」

オーブカリバーを両手で持ちエグゼイドZEROに振り下ろすがガシャコンブレイカーに止められる！

エグゼイドZERO「貴様の攻撃で俺を止めるなんぞ！出来ないんだよ！」

マリア「どうかしらね！祥平！」

翼「こちらにもいるぞ！」

ルースラッガーを持つ2人はエグゼイドZEROを同時に背中を斬った！

エグゼイドZERO「ぐあ！」

こいつら！ぐあ！

調「後ろが空いてるよ！」

調子に乗りやがって！

セレナ「那奈……一緒に祥平を助けよう！」

お母さん……………

那奈「うん！」

???『ならこれを使え！』

この声はゼロさん！

ゼロ『あいつを取り戻す為に行くぞ！』

那奈「はい！」

『ネオクロストライバー！』

那奈「游鬼さん！永流さん！」

2人『行くぜ！おう！』

那奈「お父さん！健介さん！」

2人『負けない！共に行くぜ！』

那奈「私達に限界はない！はあ！」

『仮面ライダーゼロビブrost！』

ゼロ「ゼロビブrost！」

ゼロビブrostって書くとき長いのでゼロだけになります。ただし「」で分けてありますのでそれをお願いします。

エグゼイドZERO「そんな物で！」

ゼロ「いきます！」

ガシャコンブレイカーソードモードとライオンソードを両手で持ってビルドになっている私の隣に立つ！

ビルド「遅れない用にね！」

ゼロ「分かってるよ！」

雑魚どもめ！俺はお前達を壊すって言っただろ！こんな所で俺はやられんぞ！

調「はあ！」

青い炎を纏ったヨーヨーで少しずつダメージを与える！

エグゼイドZERO「そんなおもちゃに！」

翼「これならどうだ！」

『ウルトラマンティガ！』

ルースラッガーブルにティガクリスタルをはめて4回振り回して必殺技を放つ！

翼「ウインガースラッシュ！」

Xを描きルースラッガーを横に降ってXマークがエグゼイドZEROを襲う！

エグゼイドZERO「が！」

馬鹿な！こんな筈では！

『ウルトラマンゼロ！』

マリア「ゼロツインスラッガー！」

マリアも4回振り回して両手のルースラッガーロツソを上から振り下ろし炎の玉が放つ！

エグゼイドZERO「甘いんだよ！」



と思ったがセレナが後ろにいた！

セレナ「オーブフレイムカリバー！」

エグゼイドZERO「ぐ！こんな物！」

オーブフレイムカリバーを弾き飛ばした！そんな！

ゼロ「でも甘いよ！はあ！」

二刀流の攻撃でエグゼイドZEROの武器を弾き飛ばし更にビルドのドリルクラッシャーと四コマ忍法刀の連続攻撃が炸裂した！

エグゼイドZERO「ぐは！」

このまま終わりにする！お父さん！思い出して！

ゼロ「絆の力で今！終わらせる！」

『ネオヒッツサツブレイク！』

ジードライザーを読み込ませてジャンプをする！

ゼロ「お父さん！目を覚まして！」

『ドラゴンウォータームーン！』

青色の光がエグゼイドZEROを包み込んでいき、そのままエグゼイドZEROから変身を解除される。

『ガツシューーン！』

その反動でマイティアアクションZEROガシヤットは壊れていた。

祥平「こんな所でやられてたまるか！」

まだ立ち上がるのか！

セレナ「もう止めて祥平！」

祥平「貴様ら人間が破壊兵器の俺にたてつくんじゃねえ！」

破壊兵器の力が祥平をこんな風に……

セレナ「もう終わらせる………」

4つの紋章が光始めオーブカリバーを上へ上げ回しそしてそのまま振り下ろす。

セレナ「オーブスプリームカリバー！」

虹色の光線が祥平を狙い放つがそれをシールドを張って抑えていた！

祥平「ふざけるな！こんな所で俺が人間ごときに！」

凄い力で塞がれてるけど絶対に破壊なんてこれ以上させない！

く研究所く

クロスデイケイド「く！こいつはめんどくさいな……ならこいつか」

腰のホルダーからカード一枚を取り出してドライバーに入れる！

『クロスライド！ウルトラマンゼロ！』

クロスデイケイドドライバーからゼロスラッガーが現れクロスデイケイドの姿からウルトラマンゼロに変わった！

ゼノン「別の者になっただと？」

まあ、デイケイドは仮面ライダーだったからな、俺のクロスデイケイドはちよつと特殊なんでな

クロスデイケイド「行くぜ！」

ゼロスラッガーを頭から取り、両手で持ちながらゼノンに攻撃を始める！

ゼノン「来い！クロスデイケイドよ！」

ゼロスラッガーの攻撃を防ぎ蹴りでクロスデイケイドを飛ばすがゼロスラッガーをゼノンに向け投げる！

クロスデイケイド「流石に強いな！でも負けねえぜ！」

ゼノン「お前が勝てると思うな！」

な！異空間の穴に入りやがった！

クロスデイケイド「待ちやがれ！」

そのままそれを追い掛けていったがそこにはとんでもないのがいた。

くセレナ達のいる場所く

セレナ「はあああああ！」

祥平「ぐ！こんな物で！」

セレナの技が押ししてる！これなら！

翼「空に穴が！」

そこから出て来たのは仮面ライダーゼノンであった！

クリス「あれって！仮面ライダーゼノン！何で竜也が！」

翼、クリス、響は驚いていた。竜也のガシヤットはあの時にもう失くなっていったと思っていた物が再び出て来るとはびっくりして

いた。

ゼノン「破壊兵器の祥平よ！何をしている！そんな屑どもに負けるとは貴様はそれでも破壊兵器か！」

マスター……そうだ、俺はこんな奴らに負ける訳には！

翼「そんなの勝手に言うな！」

マリア「そうよ！無理矢理に破壊兵器を起動しといて！祥平は私達の大切な人よ！」

人間が俺をだど？ふざけんじや……

祥平「ふざけんじやねえええええ！俺はお前らを壊す！」

空にもう1つの穴からゼロの姿のクロスデイケイドも来ていた。

クロスデイケイド「カイト博士よ！逃がさねえぜ！」

え？ゼロさん？でもデイケイドのドライバー？

クロスデイケイド「俺は仮面ライダークロスデイケイドだ。まあ訳あつてカイト博士を捕まえに来たんだ。」

ビルド「それなら協力をお願いします。あの人は大切な人なんです、だから」

成る程、ここではもう本当に幸せだったのがあんな風に……

クロスデイケイド「ならカイト博士は任せろ！君達は大切な人を取り戻すんだ！」

クロスデイケイドはゼロのポーズを構えてゼノンに立ち向かう！

ゼノン「奴らでは破壊兵器を元には戻せん！」

クロスデイケイド「やってみなきやわかんねえだろ！」

パンチや蹴りのラッシュは止まらず、セレナ達は破壊兵器の祥平との戦闘はまだ長く続いていた！

マリア「フレイム！」

翼「アクア！」

2人『ハイブリッドシュート！』

炎と水のアームドギアから放つ！

祥平「そんなんでやられるか！」

な！素手で！

調「それなら！」

『ボルケニックアタック！アチャー！』

マグマナツクルで追い討ちをかけ吹き飛ばす！

祥平「く！調子に乗るな！」

ゼロ「甘いよ！お父さん！」

ゼロスラッガー4本が祥平を切り裂く！

祥平「が！」

破壊兵器の機能を完全に停止させるしかない……それなら！

『ヒツサツブレイク！』

ゼロ「これ以上お父さんを苦しめるのは許さない！」

『マキシマムウオーターキック！』

走りながらライダーキックを祥平に向かってやるのだが

ゼロ「素手で止めるなんて強すぎる、でも！負けない！」

両手で防いでるが跳ね返せない状態だった！

祥平「お前もつもらん！が！ぐ！力が！」

祥平の後ろにはエグゼイドマキシマムゲーマーがリプログラミングを射っていた！

ジオウ「もう終わりにしよう」

ビルド「父さん……」

マキシマムウオーターキックとリプログラミングの力で祥平の動きが少しずつ止まっていく。

祥平「俺は！俺は！……！ぐ！ああああああ！」

2人の技を諸に浴びた祥平からもう1人の祥平が出て来たが元々の方は黒くなっていた。

祥平（黒）「お前達覚悟は出来てるかああああ！」

黒い威圧感が祥平（黒）の方に向く。

セレナ「何なのあれは祥平なの……」

祥平（黒）「死ねえええ！」

黒い破壊玉がセレナ達に何個も射っていたが全て撃ち落とされていった。

切歌「あ！あ！あれは祥平さんデスカ！」

そこには銀髪の祥平が立っていた。

祥平「悪い皆……待たせたな」

冷静な顔で私達の方に向いてこつちに来た。

セレナ「祥平……本当に祥平なの」

セレナは不安そうな顔で俺に聞く。

祥平「本当に俺だ……心配させて悪かったと……」

セレナ「本当に良かった……戻って来てくれて！」

セレナや皆に迷惑かけちゃったんだ。

祥平（黒）「貴様！何で記憶が！」

俺も驚いてるが多分奇跡何だろうな

祥平「俺も分からない……でも奇跡ってあると思えた！あの時に記憶が消されてもう駄目かと思った！心の中に記憶が瞬時に移動してたんだ。だから心の奥中で悔しかった……セレナ達を傷付けた事が俺は許せなかった！だから！ここでお前を止める！」

ふざけやがって！ならもう一度取り込んでやる！

クロスデイケイド「よつと……なら一緒にやるぞ」

祥平「……」

俺は静かに頷きあつちに向き直す。

ゼノン「完璧な破壊兵器の力を手放すとは勿体無いではないか！今！貴様がやってる事は何んでもない事なんだぞ！」

勿体無い？こいつはそんな風に思ってたんだな、それならもうセレナ達を苦しめるのはこれで本当に最後だ。

祥平「そんなのもう終わりにする……俺の中にある破壊兵器を完全に消し去る！」

……この世界の俺はこんな運命だったのか、それで未来から来たあの2人はそろそろ時間切れだな。

ビルド「後は皆さんの結果次第です」

ジオウ「皆さん……祥平を頼みます」

2人はタイムマシーンに乗り元の未来に戻った。

ゼノン「出て来いショットカードも！」

ショットカードまで現れるか。

祥平（黒）「てめえはただ心の中に戻れば良いんだよ！」

黒い縄が祥平を縛ろうとしたが衝撃波でそれを打ち消した……

祥平「いいや……戻らない、それに那奈達がお前ごときに負けねえよ？」

お父さん……

祥平(黒)「そんな女に負けるとでも言うのか？はははは！馬鹿にしすぎだろ！」

確かに私はお父さんの分身とも言える黒い方を倒せるとは私は思えない。

祥平「俺は信じる。自分の娘が負けない事を！そして！那奈達なら出来る！」

祥平(黒)「ならその信じてる物がやられればお前は俺の中に戻れ！」

え！そんな事！

祥平「分かった……」

ゼロ「お父さん……」

俺はゼロビブロストになっている那奈の近くに寄る。

祥平「那奈……自分を信じろ」

お父さん……うん

ゼロ「私は私の全力で戦う！そして守る！」

那奈、お前はもう俺から何も言わなくても大丈夫だ。だから負けるな。

セイヤ「大丈夫なのか？あいつに任せて」

祥平「那奈は俺とセレナの子だ、この状況を引っくり返すかもしれないんだ」

この状況をか？何の事だ？

ミラアルク「それより回りの敵はどうするぜ？」

だな、いつの間にか囲まれてたな

『スキヤニングチャージ！』

『バンバンクリティカルストライク！』

2人『はあああああ！』

ショツカー達を吹っ飛ばしたのはオーズタトバコンボとスナイプ

レベル2のキックで吹っ飛ばしたのはあの2人しかない！

祥平「利奈姉！玲奈さん！」

オーズ「心配して全速力で駆け付けたけど無事そうね？」

心配されるとは俺も情けなくなるな

スナイプ「それよりこの数のショットカーは何？」

祥平「あのカイト博士って奴の手下っばい」

……はあ！

スナイプ「待ちなさい！今カイト博士って言った！言ったわよね！」

スナイプから変身解除した玲奈は祥平の肩を両手で掴みブンブン振り回して聞く。

祥平「そうだよ、あいつが俺の破壊兵器を完全に起動させたんだ。」  
成る程ねえ……絶対つぶす！

『バンバンシュミレーション！』

玲奈「第50戦術！変身！」

『デュアルガシャット！ガチャーン！デュアルアップ！スクランブルだー！出撃発進！バンバンシミュレーション！発進！』

スナイプ「手加減無用！全段発射！」

相変わらずの火力だなあ……あれ？利奈姉？

オーズ「そっかあ、祥平に手を出したんだね？」

あー、これはガチギレだわ、声のトーンがめっちゃ低いって事は……

オーズ「私を怒らせると怖いって教えて上げるよ……」

ホルダーから紫のメダルを取り出したけどあんなの持ってたの？

オーズ「はっ！」

『プテラー・トリケラー・ティラノ！プートティラーノザウルスー！』  
姉さんは紫のコンボプトティラコンボにフォームチェンジをした

祥平（黒）「絶望にそまって貰うぞお！」

ゼロ「絶望なんかさせない！全てを希望にするんだ！」

これが俺達の最後の戦いだ。

祥平「皆！やるぞ！」

それぞれ回復が終わりドライバーやベルトを壊されたのも直し終わりそれぞれ最強形態になり構える！

エグゼイド「ノーコンティニューで平和を取り戻して見せる！」

See you Next Game



## 最終回 いつもの日常そしてさようなら

こいつら……なめやがって！

エグゼイド「行くぞ皆！」

その合図で走ってショットカー達に攻撃を始める！

オーズ「はあ！」

メダガブリューを振り回しショットカー達を吹き飛ばす！

鎧武「そこです！」

カチドキアームズの旗でショットカー達を中に浮かせそのまま走って倒していく！

エグゼイド「はあ！」

『ズキユキキューン！』

エグゼイド「喰らえ！」

ショットカー『イー！』

ガシヤコンキースラッシャーで乱れ射ちゼノンに攻撃を仕掛ける！

ゼノン「ムテキゲーマーは厄介だがそんなので倒せないぞ！」

エグゼイド「だろうな！だが俺は1人じゃない！」

そんなの無駄に決まっている！

クロスデイケイド「俺もいるんだよ！」

ゼロスラッガーでゼノンの武器を吹き飛ばす！

エグゼイド「ゼロさんの姿ってちよつと違和感あるな」

クロスデイケイド「でも色んなのあるぜ？」

そう言っカードを取り出してドライバーを開く。

『クロスライド！グレンモルト！』

姿はデュエルマスターズのドラグナークリーチャー龍覇グレンモルトであった！

エグゼイド「ええええええ！何それ！」

クロスデイケイド「ちよつとな、んじや行くぞ！」

そのままゼノンに向かって攻撃を始める！

ゼノン「そんな紛い物で倒せると思うな！」

ちっ！避けるか！

クロスデイクライド「果たしてそう言い切れるかな！」

後ろからエグゼイドの蹴りが諸に入り吹っ飛ぶゼノン  
は立ち直る。

ゼノン「甘いぞ？そんな生ぬるい攻撃で倒せると  
思うなよ？」

ムテキゲーマーの蹴りでも何も効かないのかよ。

クロスデイクライド「それならこっちは戻るか」

『クロスライド！クロスデイクライド！』

元のクロスデイクライドに戻ってライドブツガー  
ソードモードを手  
に持ってエグゼイドの隣に立つ。

ゼロ「ガンガンセイバー！ドラゴンシールド！」

ゴーストの武器とフィスの盾を持って祥平（黒）  
の攻撃を防ぎなが  
ら攻撃をする！

祥平（黒）「お前に合わせてやるよ！」

そう言い黒いゼロアイを取り出す。

祥平（黒）「はあ！」

それを目に着けて黒いウルトラマンゼロに変わった！

ゼロ「あれって……ゼロさんの姿……」

ゼロ『あれはゼロダークネスだ。那奈此処からはビルドで行け！』  
分かりました……

『紅のスピーディージャンパー！ラビットラビット！ヤベーイ！ハ  
エーイ！』

ビルド「好き勝手にはこれ以上させない！」

くっくっくっ！

ゼロダークネス「お前ごときじや闇の力と破壊の力には勝てないぜ  
？」

闇と破壊の力……でも！

ビルド「私はそんな簡単に負けない！絶対に闇と破壊に何か屈しな  
い！」

ゼロダークネス「ならやってみろ！」

ゼロスラッガーを飛ばして来たけど私はフルボトルバスターで弾  
き落とす。

ゼロダークネス「な！速いだと！」

ビルド「そつちこそ甘く見たら痛い目にあうよ！」

ぐ！このガキ……

ゼロダークネス「なめるな！」

ゼロスラッガーはまだ止まらないの！

ビルド「うぐ！」

しかも速い……このままじゃ！

ゼロダークネス「終わりだ！」

ゼロスラッガーをカラータイマーの所に両方着けて放とうとした時にゼロが出て来た！

ゼロ「ウルトラゼロキック！」

炎のキックでゼロダークネスを吹っ飛ばす。

ゼロダークネス「うごあ！」

ゼロ「は！ゼロダークネスでそんな意気がってんじゃねえよ！」

この糞ウルトラマンが！俺の邪魔をしやがって！

ゼロダークネス「消えろ！ダークネスツインシュート！」

！、不味い！

ゼロ「ウルティメイトイージス！」

ウルティメイトイージスでダークネスツインシュートを防ぐがあまりにも強すぎる力であったがそのダークネスツインシュートには恐ろしい力があつた。

セレナ「何これ！いきなり強くなってる！きやー！」

マリア「セレナ！ぐううう！」

セレナ達シンフォギア装者はショットカー達の圧倒的に押され始めていた。

オーズ「何でいきなり！」

そう言っていたら手足が掴まってしまう！

スナイプ「流石に不味い！この！」

倒しても再生があつて完全にピンチね……

エグゼイド「ぐ！」

クロスディケイド「く！」

さつきより力が上がってるだと……こんなんじや俺達はやられる！

ゼロ「ぐ！一体何が起きてんだ！」

ゼロダークネス「俺のダークネスツインシユートは破壊の力をカイト博士やシヨツカー達に与えたんだよ？」

それは厄介だな……だがな、お前達は分かかってないんだよ、例え闇と破壊があったとしてもこいつらはそれを乗り越えていったんだ！

ビルド「私達は負けない、必ず平和な日常を取り戻す！」

ゼロダークネス「無駄だよ！高田祥平の破壊兵器がある限り平和なんてないんだよ！」

ゼロダークネスはそう言いきつてゼロスラッガーを飛ばす！

ビルド「きやあああああ！」

ゼロスラッガーを諸に喰らい変身解除され追い詰められてしまった。

ゼロ「那奈！ぐ！」

ゼロさんはもう一度来るゼロスラッガーを受け止めそのダメージが大きいのかすぐにウルティメイトブレスになり私の左腕に戻る！

ゼロダークネス「俺の勝ちのようだな？」

ゼロダークネスから変身を解いてお父さんの方に向いていた。

祥平（黒）「高田祥平！俺はお前の娘に勝ったぞ！約束だ！」

何!? 那奈！

クロスデイケイド「があ！」

な！しまった！

エグゼイド「うわああああ！」

そのまま変身解除してしまい倒れてしまう。

祥平「く！くそ！」

祥平（黒）「約束だ！てめえは俺の中に戻れ！」

……約束だ、後はセレナ達に任せる……

セレナ「祥平……駄目！戻ったら駄目！」

セレナ……

マリア「私達は祥平がいないと辛いのもうそんな自分を犠牲にす

るのは止めなさい！」

マリア……

祥平「……………」

俺はどうすれば！セレナ達を救う方法なんて！でも……

サンジェルマン「祥平！貴方は私達の大切な人よ！こんな所で諦めるなんて言わないわよね！」

サンジェルマン「いつの間にも！」

キャロル「お前は1人じゃない！俺達がいる！」

キャロル……

プレラーティ「私達はそんな弱い祥平に惚れた訳じゃない！」

プレラーティ……

ミラアルク「祥平ならこんな逆境引っくり返すんだぜ！」

そうだよな！こんな逆境はいつもの事だ！

祥平「俺は高田祥平！見せてやるよ！家族の絆を！」

ん？未来……

未来「祥平……もう自分を傷付けないで」

祥平「分かった……」

『マイティアクションX！』

祥平「変身！」

『ガシャット！ガチャーン！レベルアップ！マイティジャンプ！マイティキック！マイティ・マイティアクションX！』

何？レベル2だと？

祥平（黒）「約束破る気か?!」

エグゼイド「俺だって約束は破るつもりはない、でも！セレナ達をもう悲しませるのはこれで最後だ……お前を完全破壊してやるよ！」

完全破壊ってこいつ分かってるのか！

祥平（黒）「それがどれだけの事だと思ってる！」

祥平（黒）は焦っていた。

エグゼイド「分かってるさ！だからだよ！もう破壊兵器として狙われてセレナ達を悲しませるぐらいなら！そうした方がマシだ！」

こいつうー！そんな勝手な事をさせると思うんじゃないやねえ！

エグゼイド「行くぞ！」

祥平（黒）はエグゼイドZEROになりエグゼイドとのぶつかりあいが始まる！

エグゼイド「は！」

エグゼイドZERO「そんなんじゃないやねえよ！」

同時に蹴りで吹っ飛ぶがエグゼイドはガシヤットを取り出す！

『アガートラームセレナー！ガシヤット！』

エグゼイド「大変身！」

『ガチャーン！レベルアップ！マイティアクションX！アツガツチャ！全てを切り裂けー！アガートラームセレナー！』

あれは祥平に昔に渡したガシヤット……まだ大切にしてたんだ。

エグゼイド「遅い！」

アガートラームの剣でエグゼイドZEROを連続で斬って蹴り飛ばす！

エグゼイドZERO「が！調子に乗るなよ！」

流石に硬いな……でも負けねえよ！

エグゼイド「これならどうだ！」

『マッスル化！高速化！透明化！』

な！あれはめんどくさい組み合わせだ！

エグゼイドZERO「ぐ！ちっ！」

避けるのは無理だが防ぐのも結構来るな……

エグゼイド「はあああああ！」

エグゼイドはガシヤコンブレイカーを持ちながらエグゼイドZEROを斬ろうと向かう！

エグゼイドZERO「うおおおおお！」

エグゼイドZEROも同じ武器で立ち向かってエグゼイドを斬ろうと向かう！

2人『でりやあああああああ！』

お父さん達のぶつかり合いは激しくて近付けない……でも何か……

那奈「悲しいよ」

2人は本気で戦っている用にしてるが那奈からは悲しいと思ってる。

エグゼイドZERO「お前にはまだ足りないようだな！」

エグゼイド「何がだ！」

1度後ろに俺は下がって聞く。

エグゼイドZERO「俺を倒す力だよ！」

………ばれたか、やっぱり本体だもんな、ぐ！

エグゼイドZERO「お前は完全破壊すると言っていたがそんなじゃ壊されないぜ！」

「さつきより力が上がってるのか！」

エグゼイド「ぐ！」

エグゼイドZERO「どうした？どうした！そんな物かお前の力つてのよ！」

攻撃を防いでいたのだがガシャコンブレイカーが弾かれてしまった！

エグゼイドZERO「終わりだ……はあああああ！」

『タイムブ레이크！』

エグゼイドZEROをタイムブ레이크で吹っ飛ばされてしまう。

エグゼイド「未来……」

ジオウから変身を解除した未来がしやがんで何かを言うつもりだ。

未来「後は任せて……」

『ガッシュー！』

俺はゲーマドライブバー閉じてガシャットを抜く。

祥平「分かった……」

そのままエグゼイドZEROの方に向き直す

エグゼイドZERO「この野郎！2度もこうなるとは破壊してやる！」

もう2度と……

未来「もう遅れをとらない！」

何だあのウオッチ？

『ジオウⅡ！』

未来「私とシエムハさんの力を1つにしたウオッチ……」

『ジオウ！』

ウオッチの横のハンドルを回転させたら中央のジオウの顔が横にずれ、引つ張り外しドライバーに入れる。

未来「変身！」

『ライダータイム！仮面ライダー！ライダー！ジオウ！ジオウ！ジオウⅡ！』

いつもと違う姿のジオウに変身した……

ジオウ「行くよ」

エグゼイドZERO「そんなこけおどしが通じるとでも思うな！」  
ガシャコンブレイカーでジオウを刺そうとしたがすんなり避けられた。

エグゼイドZERO「な！ぐは！」

未来の攻撃は効いてるのか！

ジオウ「私は貴方達を許さない、祥平を狙って、祥平の思いも知らないで無理矢理破壊兵器を起動させて！苦しめる！そんな貴方達は私がこの手で止める！」

エグゼイドZERO「うが！」

馬鹿な！ただの人間が俺にダメージを！

エグゼイドZERO「人間ごときに俺が！うおおあああ！」

え？あの鏡での攻撃って！まさか！

ジオウ「人間だったら無理かも知れないが私もいると言う事だ」

シエムハ……あの時に完全に消えたと思っただけどあのジオウⅡライドウオッチにいつの間にか入ってたって事なのか？

ジオウ「破壊兵器とはこんなに弱かったのか？もつと強い心だと思っていたが？」

ガレキから出てこれたけどもうこの勝負は見えたぞ。

エグゼイドZERO「そうだ！俺は破壊兵器最強何だぞ！それをわからんとはな！」

ジオウ「でしゃばるな偽者よ！」



偽者？俺がか？

ジオウ「貴様が本当に破壊兵器最強と言うならこやつらはもう死んでいる！それでよくも言えた物だな！破壊兵器の偽者よ！」

俺が偽者だと？……

エグゼイドZERO「ふざけるなああああ！」

『ジオウサイキョー！』

ジオウ「我が破壊兵器と呼ばれていた男はもつと強くて優しい奴だった。」

そう、そこにいる高田祥平本人は一人しかいない……

『霸王斬り！』

ジオウ「これで消えろ！偽者風情が！」

サイキョーギレードが大きくなりそのままエグゼイドZEROを貫いた！

エグゼイドZERO「が！あ！ば！馬鹿な……うわあああああ！」

そのままエグゼイドZEROは完全に爆発し壊れた。

ゼノン「そんな！私の最高な奴を！」

クロスデイケイド「いいや、あんたのじゃない！」

『ファイナルアタックライド！デイデイデイケイド！』

ライドブッガーソードでゼノンのドライバーとガシャットを破壊しカイト博士は気絶をし、ショッカー達は逃げて撤退をした。

祥平「……………」

これで終わった……これが俺の最後の役目だ。

セレナ「祥平？」

祥平は少し無理矢理な感じの笑顔でこっちを向いた。

祥平「セレナ…皆……今まで本当にありがとな」

マリア「何を改まって、私達はこれからも」

マリアは喋るのを止めた。それは祥平の身体が光り始めていた。

祥平「もう無理なのは最初から知ってたんだ。」

翼「何を言っている？それに今のお前は どうして そんな冷静なんだ！」

普通は確かに必死になって思うが俺は最初から助からないと分かってた。

祥平「実はもうこうなるって分かってたんだ。父さんから聞いてたんだ、もし破壊兵器をもう1度、無理矢理に起動したら……俺に関わって来た奴等の記憶は完全に消える。そしてもう2度と俺はこの世界にいれない……」

それって私達が祥平との思い出が……

那奈「何で……お父さん！どうにかならないの！ねえ！」

俺は首を横に降った。もうどうにもならない。

那奈「消えて欲しくないよ……お母さんと皆そしてお父さんがいるの日常なんだよ！嫌だよ！消えないでよ！」

皆は悔しくて泣くのを止められなかった。でも時間は待たない……最後に一言を言ってだな……

祥平「皆……ありがとう、こんな破壊兵器だった俺と最後までいてくれて、それに楽しかった。俺は皆の事が好きだ！だから……」

もう時間だ……皆……さようなら

セレナ「祥平……嫌だよ……」

もうそこには祥平はいなくなってしまう。そして皆の記憶から高田祥平と言う生命体との思い出は完全に消えてしまう。

く???  
く???  
く

俺は消えて別の場所に移動しただけであった。

祥平「……眠ってた？それに今まで何してたっけ？」

……まあ、いいや……それより早くしないと怒られるな、あいつはいつも怒るからな。

祥平「ふう……ただいま」

そう確かに高田祥平との関わって来た奴等の記憶は消えた。でもそんなんでも奇跡はある。

???「今何時だと思ってますか？」

笑顔だけどやっぱりこえく

祥平「まあ、ほら折角の飯が冷めちゃうよ！」

もうこの人はいつもそうやって……それでも楽しいから良いんで

すけどね

???「あれ？お父さん帰ってたんだ？」

祥平「その言い方酷くないか？那奈！」

例えその時の記憶が消えたとしても彼らには運命と奇跡を起こしていた者達であるからして高田祥平と言う生命体との過ごした記憶は消えたが人間としての高田祥平との記憶は何処かにあったのだ。

那奈「だつてお父さんいつも永夢先生と患者さんの事になると必死でしょ？」

そうなんだよなあ、たまに早く帰ったら驚くから泣きそう

祥平「ま、それより食べますか。セレナ大丈夫か？」

俺はセレナのおでこをくつつけて熱いか確かめる……

セレナ「だ！大丈夫だよ！そ！それより食べよう！」

そうして飯を食い終えて俺は庭の方で横になっていた。

祥平「……」

ここはやつぱり落ち着くな……ん？セレナだ？

祥平「どうした？」

セレナ「ちよつと聞きたい事があつて」

セレナは少し真面目な顔をしていた。どうしたんだ？

祥平「答えられる範囲なら」

セレナ「祥平は破壊兵器だった？」

!？、何でそれを知ってる！この世界では知らない筈！

祥平「そんな訳」

セレナ「嘘つかないで……」

この顔……まさか！

祥平「もしかしてお前……生命体での高田祥平を」

セレナ「知ってる！」

祥平「それじゃ俺がエグゼイドだった事も？」

セレナ「知ってる！……やつぱりあの祥平だ」

まさかそんな奇跡があるのか……

セレナ「大丈夫？」

俺は力が抜けて立てなかった。

祥平「大丈夫だよ、それに何で覚えてんだ？」

セレナ「多分なんだけど想いだと思ってるよ、私」

想いか……

祥平「そう考えると俺達は離れられない運命なんだろうな」

セレナ「そうかも知れないね♪」

セレナの笑顔は今まで見た中でも凄く可愛かった……

祥平「それならこの世界での皆は？」

セレナ「皆さんの記憶は残念ながら……」

そうか……それでも俺は忘れない……翼達もこの世界で頑張ってるなら……

祥平「ん？永夢さんだ？はい……分かりました！今向かいます！」

俺は立ち上がって電話を切る。

祥平「永夢さんからゲーム病だつての連絡だから行ってくる！」

セレナ「それなら気をつけて行ってきてね」

俺はそのまま走って行く。これからはセレナと那奈を大切にしてい  
いく。

祥平「これからは大変だけど頑張るぞ！」

END